

ViewLight®

ビューライト

LT380J/LT280J

取扱説明書

本機を安全にお使いいただくために
ご使用前に必ずお読みください



- 1. 添付品や名称を 確認する 1
- 2. 設置と接続 2
- 3. 映像を投写する (基本操作) 3
- 4. 便利な機能 4
- 5. ビューワを使う 5
- 6. オンスクリーン メニュー 6
- 7. 本体のお手入れ／ ランプの交換 7
- 8. 付録 8

はじめに

このたびは、NECデータプロジェクターLT380J/LT280J(以降「LT380J/LT280J本体」を「本機」と呼びます)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品は、パソコンやDVDプレーヤなどに接続して、文字や映像をスクリーンに鮮明に投写するプロジェクターです。

本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用の前に、この取扱説明書(本書)をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや不具合が生じたときにお読みください。

本書は、LT380J/LT280J共通の取扱説明書です。LT380Jを主にして説明しています。

本製品には「保証書」を添付しています。保証書は、お買い上げの販売店から必ずお受け取りのうえ、取扱説明書とともに、大切に保存してください。

本機は、日本国内向けモデルです。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。

この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ・ ViewLight、ビューライト、AccuBlend、SQUARE SHOTは、NECディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。
- ・ IBM、PC/ATは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- ・ Macintosh、PowerBookは、米国Apple Computer, Inc.の商標です。
- ・ Microsoft、Windows、PowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Ulead Systems、Photo Explorerは、Ulead Systems社の登録商標または商標です。
- ・ その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。



ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では(3)項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。




本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例

	▲記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘記号はしてはいけないことを表しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号はしなければならないことを表しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告

本機は日本国内専用です



国内では交流100ボルト以外使用禁止

- 日本国内で使用する場合は交流100ボルトで使用してください。
添付の電源コードは国内使用専用です。
日本国外で本機を使用する場合は、電源コードの仕様を確認してください。使用する国の規格・電源電圧に適合した電源コードを使用すれば、海外でも使用可能です。電源コードは必ず使用する国の規格・電源電圧に適合したものを使ってください。
詳細に関してはNECプロジェクター・カスタマサポートセンターまでお問い合わせください。

電源コードの取り扱いは大切に



- 電源コードは大切に取り扱ってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
 - ・ 添付されているもの以外の電源コードは使用しない
 - ・ コードの上に重い物をのせない
 - ・ コードをプロジェクターの下敷きにしない
 - ・ コードの上を敷物などで覆わない
 - ・ コードを傷つけない、加工しない
 - ・ コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
 - ・ コードを加熱しない電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。

故障したときは電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なおいや音がする場合やプロジェクターを落したり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。販売店へ修理をご依頼ください。

水場や水にぬれるような所には置かない



水ぬれ禁止

- 次のような水にぬれるようなおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・ 雨天や降雪中、海岸や水辺で使用しない
 - ・ 風呂やシャワー室で使用しない
 - ・ プロジェクターの上に花びん、植木鉢を置かない
 - ・ プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない万一プロジェクターの内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

次のような所では使用しない



- 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・ ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
 - ・ 暖房の近くや振動の多い所
 - ・ 湿気やほこりの多い場所
 - ・ 油煙や湯気の当たるような場所
 - ・ 調理台や加湿器のそば

警告

内部に物を入れない



異物挿入禁止

- プロジェクターの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

キャビネットは絶対にあけない



分解禁止

- プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。また改造しないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご相談ください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。

プロジェクターのレンズをのぞかない



レンズをのぞかない

- プロジェクターのレンズをのぞかないでください。動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。

ランプ交換は電源を切ってから



電源プラグをコンセントから抜く

- ランプの交換は、電源を切りしばらく待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、約60分おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となります。詳細は [136ページ](#) をご覧ください。

天吊りの設置について



- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置については販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。

無線LANカードの使用について



- 無線LANカードは、医療機器、原子力設備／機器、航空宇宙機器、輸送設備／機器など人命に関する設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだ使用は意図されていませんので、使用しないでください。
- 心臓ペースメーカーを使用している人の近くで無線LANカードを使用しないでください。
- 医療機器の近くで無線LANカードを使用しないでください。医療機器に電磁障害を及ぼし生命の危険があります。

注意

ぬれた手で電源プラグに触れない



ぬれた手は危険

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない



- プロジェクターの通風孔をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などのやわらかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。プロジェクターを設置する場所は周囲から適当な空間（目安として10cm以上）あけてください。

動作中にレンズにふたをしない



- 動作中にレンズにふたをしないでください。ふたの部分が高温になり変形することがあります。
- 動作中にレンズの前に物を置かないでください。物が高温になり、破損や火災の原因となることがあります。

移動するときは電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 移動させる場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認のうえ、行ってください。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 長期間、プロジェクターをご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

投写中および投写終了直後は排気口を触らない



- 投写中および投写終了直後は、排気口付近を触らないでください。排気口付近が高温になる場合があります。やけどの原因となることがあります。

過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない



- 本機のLANポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。LANポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。

注意

ソフトケースの取り扱いについて



無理な扱いはしない

- プロジェクターを入れて振り回さないでください。また、本機および本機の添付品以外は入れないでください。プロジェクターやソフトケースが落下して、けがの原因となることがあります。

レーザーポインタのレーザー光源をのぞかない



レーザー光源をのぞかない

- レーザーポインタのレーザー光源をのぞき込まないでください。また、レーザー光を人に向けしないでください。レーザー光が目にあたると目を痛める原因となることがあります。お子様には使用させないでください。

電池の取り扱いについて



- 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 - ・ 電池をショート、分解、火に入れたりしない
 - ・ 指定以外の電池は使用しない
 - ・ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
 - ・ 電池を入れるときは、極性(+と-の向き)に注意し、表示通りに入れる
- 電池を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

電源コードはコンセントに接続する



- プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。直接電灯線に接続することは危険ですので行わないでください。また、電源プラグを抜き差しできるように手の届くコンセントをご使用ください。

点検・工事について



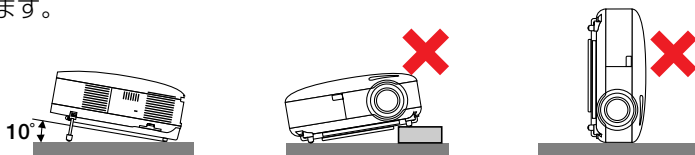
内部の掃除を販売店で

- 1年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の掃除費用につきましては販売店などにご相談ください。

お願い

性能確保のため、次の点にご留意ください

- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。
動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。
高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
- 本機を傾けて使用する場合は、チルトフットの傾き範囲以内(0~10°)にしてください。チルトフットの範囲を超えて傾けたり、左右に傾けたりすると、故障の原因となります。



- たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用
 - ・たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して(5時間/日または260日/年を超えて)使用する場合は、あらかじめ当社にご相談ください。
 - ・本機を長時間にわたり連続して使用される場合は、「ファンモード」を「高速」にしてください。(▶ 128ページ)
 - ・パソコンなどで同じ絵柄の静止画を長時間投写すると、その絵柄が画面に若干残りますが、しばらくすると消えます。これは液晶パネルの特性上発生するもので、故障ではありません。パソコン側でスクリーンセーバーをお使いになることをおすすめします。
- スクリーンへの外光対策をしてください。
スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。
外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて
ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。
スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- 持ち運びについて
 - ・添付のソフトケースに収納して運んでください。
 - ・本体はキャリングハンドルを持って移動してください。
 - ・レンズに傷が付かないように必ずレンズキャップを取り付けてください。
 - ・振り回したりして、プロジェクター本体に強い衝撃を与えないでください。
 - ・ソフトケースに収納した状態で、宅配便や貨物輸送はしないでください。プロジェクターの故障の原因となります。
- 投写レンズ面は素手で触らないでください。
投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、レンズ面には手を触れないでください。
また、本機を使用されないときは、添付のレンズキャップをかぶせておいてください。

● 廃棄について

本体を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

ランプ取り扱い上の注意

● プロジェクターの光源には、高輝度化を目的とした内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。このランプは、ご使用時間とともに輝度が徐々に低下する特性があります。また、電源の入/切の繰り返しも、輝度低下を早めます。

● ランプは、衝撃や傷、使用時間の経過による劣化などにより、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となることがあります。また、ランプが破裂や不点灯に至るまでの時間、条件には、ランプの個体差や使用条件によって差があり、本取扱説明書に記載してある指定の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。

なお、指定の使用時間を超えてお使いになった場合は、ランプが破裂する可能性が高くなりますので、ランプ交換の指示が出た場合には、すみやかに新しいランプに交換してください。

● ランプ破裂時には、ランプハウス内にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部に含まれるガスがプロジェクターの通風孔から排出されることがあります。ランプ内部に使用されているガスには水銀が含まれていますので、破裂した場合は窓や扉をあけるなど十分に換気を行ってください。ガスを吸い込んだり、目に入った場合には、すみやかに医師にご相談ください。

● ランプが破裂した場合には、プロジェクター内部にガラスの破片が散乱している可能性があります。プロジェクター内部の清掃、ランプの交換その他の修理について、必ずNECプロジェクター・カスタマサポートセンターまたは販売店に依頼し、お客様ご自身でプロジェクター内部の清掃、ランプ交換を行わないでください。

電源プラグを抜く際の注意

以下のような場合は電源プラグをコンセントから絶対に抜かないでください。

機器が故障するおそれがあります。

● ランプの点灯中

● 電源を切ったあとのファンの回転中（ファンは約30秒間回転します）

● PCカードアクセスインジケータ、またはUSBメモリのアクセスインジケータが点灯しているとき（ビューワ使用中）

フラッシュメモリカード、またはUSBメモリが壊れるおそれがあります。

電波に関する注意

● 添付の無線LANカード（以降「本カード」と省略します）は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって、本カードを使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本カードは、日本国内でのみ使用できます。

● 本カードは、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

・ 分解/改造すること。

・ 本カードに貼ってある証明ラベルをはがすこと。

● IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時は、2.4GHz帯の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を

要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

- 本カードを使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - 万一本カードと「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、すみやかに本カードの使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
 - その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、NECプロジェクト・カスタマサポートセンター（[👉裏表紙](#)）にお問い合わせください。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式および、OF-DM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。



- 2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線設備を示す。
- DS-OF : DS-SS方式およびOF-DM方式を示す。
- 4 : 想定される与干渉距離が40m以下であることを示す。
- : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関する注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
 - 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
 - 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
 - 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
 - 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
 - コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
 - などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

目次

はじめに	2
本機を安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください	3
お願い	8
目次	11
本書の表記について	13

1. 添付品や名称を確認する 14

1-1. 添付品の確認	14
1-2. 特長	16
1-3. 本体各部の名称	17
1-4. リモコン各部の名称	22

2. 設置と接続 25

2-1. 設置と接続の流れ	25
2-2. スクリーンとプロジェクターを設置する	26
2-3. パソコンと接続する	27
2-4. RGBモニタと接続する	29
2-5. DVDプレーヤなどのAV機器と接続する	31
2-6. 書画カメラと接続する	33
2-7. LANと接続する	34
2-8. 無線LANカードやフラッシュメモリカードを本機にセットする	37
2-9. 電源コードを接続する	39

3. 映像を投写する(基本操作) 40

3-1. 映像を投写する流れ	40
3-2. 本機の電源を入れる	41
3-3. 入力信号を選択する	43
3-4. 投写画面の位置と大きさを調整する	46
3-5. 台形歪みを調整する	49
3-6. 映像を自動調整する	51
3-7. 本機の音量を調整する	52
3-8. レーザーポインタを使う	53
3-9. 本機の電源を切る	54
3-10. あとかたづけ	55

4. 便利な機能 56

4-1. 映像と音声を消去する	56
4-2. 動画を静止画にする	56
4-3. 映像を拡大する	57
4-4. ランプモードを切り替える	57
4-5. 本機の操作説明を投写する	58
4-6. 市販のUSBマウスを使って操作する	59
4-7. 本機のリモコンでパソコンのマウス操作を行う	60

4-8. 台形歪みを調整する(4点補正)	62
4-9. 投写画面に文字や図形を描く(チョークボード)	64
4-10. セキュリティを設定して無断使用を防止する	67
4-11. HTTPを使用したブラウザによる操作	72
4-12. ネットワーク接続されたパソコンを本機を使って操作する (Desktop Control Utility 1.0)	75

5. ビューワを使う 80

5-1. ビューワでできること	80
5-2. フラッシュメモリカードやUSBメモリデータを保存する	81
5-3. フラッシュメモリカードやUSBメモリのデータを映す(ビューワ)	82

6. オンスクリーンメニュー 88

6-1. オンスクリーンメニューの基本操作	88
6-2. オンスクリーンメニュー一覧	95
6-3. 入力端子	98
6-4. 調整	102
6-5. セットアップ	110
6-6. 情報	130
6-7. リセット	132

7. 本体のお手入れ／ランプの交換 133

7-1. フィルタの清掃	133
7-2. レンズの清掃	134
7-3. キャビネットの清掃	135
7-4. ランプとフィルタの交換	136

8. 付録 142

故障かな?と思ったら	142
インジケータ表示一覧	146
投写距離とスクリーンサイズ	148
対応解像度一覧	151
外観図	152
関連商品一覧	153
コンピュータ1, 2映像入力端子のピン配列と信号名	153
仕様	154
保証と修理サービス(必ずお読みください)	156
トラブルチェックシート	157
海外でご使用になる場合: トラベルケアのご紹介	159
索引	167
NECプロジェクター・カスタマサポートセンターとビューライトクラブのご案内	裏表紙

本書の表記について

マークの意味

	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
	注意や制限事項を表しています。
	補足説明や役立つ情報を表しています。
	本書内の参照ページを表しています。
	特定の機種についての説明を表しています。

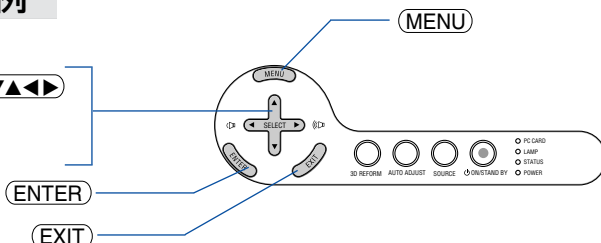
操作ボタンの表記例

●本体の操作ボタン

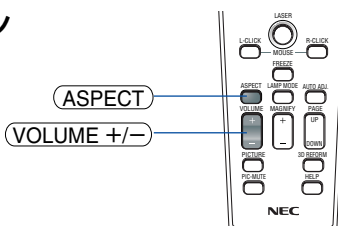
上下左右の場合： SELECT SELECT

左右の場合： SELECT SELECT

下の場合： SELECT SELECT

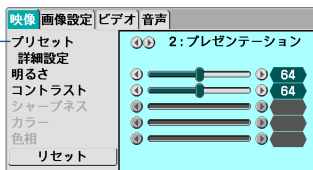


●リモコンの操作ボタン



メニュー項目の表記例

[プリセット]



参考

●本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

1. 添付品や名称を確認する

1-1. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。

	<p>プロジェクター（本機） パソコンやDVDプレーヤなどを接続して、画面や映像を大きなスクリーンに映す機器です。</p> <p>レンズキャップ（024F41091） 本機のレンズに装着し、移動時や保管時にレンズを保護します。</p>
	<p>リモコン（07N900691） 本機の電源の入/切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。 ご購入後はじめて使用するときは、添付の単3乾電池2本をセットしてください。（▶24ページ）</p> <p>単3乾電池（リモコン用）2本 添付のリモコンにセットします。</p>
	<p>電源コード（07N080115） AC100Vのコンセントに本機を接続します。 日本国内用です。</p>
	<p>RGB信号ケーブル（ミニD-Sub 15ピン）（07N520054） パソコンの画面をスクリーンに投写する場合に使用します。（▶27ページ）</p>
	<p>マウスレシーバ（07N900721） パソコンのUSBポートに接続すると、本機のリモコンでパソコンのマウス操作が行えます。（▶60ページ）</p>

次ページに続く

	<p>無線LANカード (01161091) 本機のPCカードスロットにセットすると、無線LAN環境で使用することができます。(▶37ページ)</p>
	<p>PCカードロック (ネジ付き) (PCカードロック: 024F41391、ネジ: 024V00281) 無線LANカードやフラッシュメモ리카ードを本機のPCカードスロットにセットしているときに、それらのカードを簡単に取り外されないようにします。(▶38ページ)</p>
	<p>ソフトケース (024BS7561) 本機や添付品を収納します。</p>
	<p>CD-ROM 2枚</p> <p>User Supportware 3 CD-ROM (07N950783) ユーティリティソフトを収録しています。内容については「ネットワーク設定ガイド」をご覧ください。</p> <p>User's Manual CD-ROM (07N950773) 取扱説明書(本書)がPDF (Portable Document Format) 形式で収録されています。</p>
<p>クイックスタートガイド (07N8P6272) 機器の接続、電源「ON」、投写画面の調整など、基本的な操作方法をコンパクトにまとめて説明しています。</p> <p>補足説明書 (07N8P6282) 安全のために守っていただきたいこと、保証とサービスなどについて記載しています。</p> <p>ネットワーク設定ガイド (07N8P6292) 本機を有線LANまたは無線LANに接続して使用方法について説明しています。</p> <p>保証書 プロジェクターの保証内容・条件を記載しています。</p> <p>ビューライトクラブ申込書 ビューライトクラブに入会していただくと、会員ならではのサービスが受けられます。 入会金・会費は無料です。</p>	

参考

- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

1-2. 特長

●液晶方式の高輝度プロジェクター

液晶方式を採用し、高輝度を実現しました。

●アドバンスド・アキュブレンド機能によりU-XGAまでの解像度に対応

XGA (1024×768ドット)にリアル対応、NEC独自のアドバンスド・アキュブレンド機能によりU-XGA (1600×1200ドット)の入力信号までカバー。

●自動台形補正とスクエアショットにより、プロジェクターの設置範囲が拡大

本機の上下方向の傾きを感知し、投写した画面が台形に歪むのを自動的に補正します(自動台形補正)。さらに、斜め横から投写したときの台形歪みも補正(スクエアショット)でき、プロジェクターの設置範囲が拡大します。

●壁色補正

投写している壁面の色に応じて、見やすい色合いにワンタッチで補正することができます(壁色補正機能)。

これにより、スクリーンが設置されていないところでも、見やすい映像を投写することができます。

●特定色を調整&記憶できる、プリセット機能

プレゼンテーションや映画など、映像ソースに応じた映像補正機能を搭載。6つの映像モードから選択できます。また、お客様が設定した状態を本体内のメモリに6つまで記憶できます。

●セキュリティやパスワードを設定して、他人の無断使用を防止

フラッシュメモリカードやUSBメモリをプロテクトキーにして、無断で本機を使用できないようにすることができます。

また、パスワードを設定することにより、無断でバックグラウンドロゴやメニュー設定を変更できないようにすることができます。

●LANポートを標準装備、さらに無線LANカードとUser Supportware 3 CD-ROMを標準添付

本機はLANポート(RJ-45)を標準装備しています。本機をLANに接続すると、LAN環境を利用してパソコンから本機を制御したり、パソコンの画像データを本機へ送信してスクリーンに投写することができます。

さらに、標準添付している無線LANカードを本機のPCカードスロットにセットすると、無線LANを利用することができます。

また、本機はUser Supportware 3 CD-ROMを標準添付しています。このCD-ROMに収録しているユーティリティソフトを使用すると、本機をより便利に活用していただけます。

1-3. 本体各部の名称

本体前面

ズームレバー

投写した画面の大きさを調整します。
(☞ 48ページ)

フォーカスリング

映像のフォーカスを合わせます。
(☞ 48ページ)

リモコン受光部

リモコンの信号を受ける部分です。(☞ 24ページ)
本体の前面と背面の2箇所にあります。

キャリングハンドル

本機を移動するときに取り出して持ちます。

レンズ

ここから映像が投写されます。

レンズキャップ

レンズを保護します。

本体操作部

本機の電源の入/切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。(☞ 19ページ)

吸気口/フィルタ

内部にほこりやゴミが入るのを防止します。
(☞ 133ページ,140ページ)

盗難防止用ロック

盗難防止のためワイヤーケーブルを付ける際に使用します。詳しくは **参考** をご覧ください。

吸気口

チルトレバー (左・右)

チルトレバーを上方に押しとチルトフットを伸縮できます。本機の投写角度を固定したいところで、チルトレバーから指を離します。(☞ 47ページ)

チルトフット (左・右)

チルトレバーを押しと上下に伸縮できます。チルトフットを使って投写角度を調整します。(☞ 47ページ)

参考

- 本機を移動するときは、図のように本体を立ててからキャリングハンドルを引き出し、キャリングハンドルを持って運びます。

注意

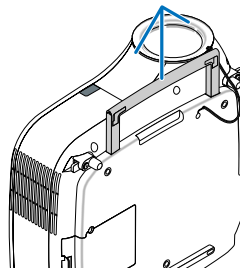
- 運ぶときはレンズ保護のためレンズキャップを付けてください。
- 本体を立てるときは、本体を持って立ててください。引き出した状態でキャリングハンドルに強い力を加えると破損の原因となります。

●



盗難防止用ロックについて
盗難防止用ロックは、キーケーブルロックなどのセキュリティワイヤーに対応しています。製品についてのお問い合わせ先は、以下のとおりです。

日本ポラデジタル株式会社 第3営業部
〒104-0032 東京都中央区八丁堀1丁目5番2号 はごろもビル
Tel : 03-3537-1070 Fax : 03-3537-1071



本体背面

スピーカ (モノラル)

コンポーネント/S-ビデオ/ビデオ音声入力端子およびコンピュータ音声入力端子から入力された音声を出します。(➡ 52ページ)

PCカードロック取り付けネジ穴 (➡ 38ページ)

接続端子部

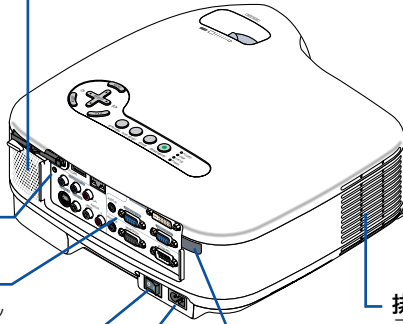
各種映像信号や音声信号のケーブルを接続します。(➡ 20ページ)

主電源スイッチ

主電源スイッチを「I (入)」にすると、スタンバイ状態になります。(➡ 41ページ)

AC IN 端子

添付の電源コードを接続します。(➡ 39ページ)



排気口

ランプの熱を排気します。

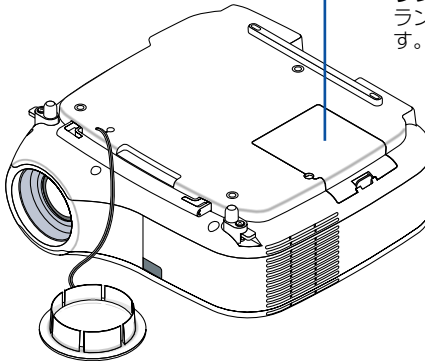
リモコン受光部

リモコンの信号を受ける部分です。(➡ 24ページ)
本体の前面と背面の2箇所にあります。

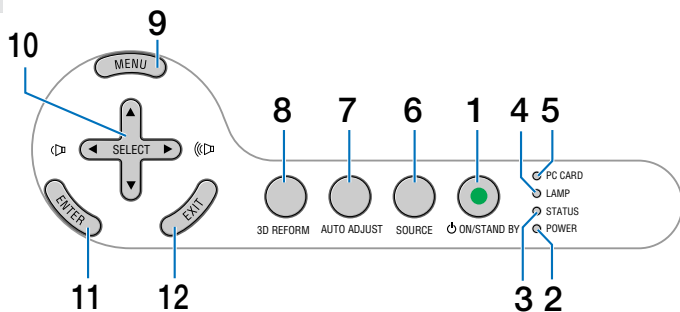
本体底面

ランプカバー

ランプ交換のときカバーを外します。(➡ 136ページ)



本体操作部



1 POWER (ON/STAND BY) ボタン

本機の電源を入/切(スタンバイ状態)します。電源を入れるときは、2秒以上押します。電源を切るときは、一度押すと画面に確認メッセージが表示されるので、続いてもう一度POWER (ON/STAND BY) ボタンを押します。

2 POWERインジケータ

電源が入っているときは緑色に点灯します。(▶42ページ)
電源が切れている(スタンバイ状態)ときはオレンジ色に点灯します。

3 STATUSインジケータ

本体キーロック中に操作ボタンを押したときや、本機に異常が発生したときに、点灯/点滅します。詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。(▶146ページ)

4 LAMPインジケータ

ランプの交換時期がきたことやランプモードの状態(エコモード)をお知らせします。(▶147ページ)

5 PCカードアクセスインジケータ

PCカードへのアクセス(データの読み込み/書き込み)中に点灯します。(▶38ページ)

6 (SOURCE) ボタン

コンピュータ1、コンピュータ2、コンピュータ3、コンポーネント、ビデオ、Sビデオ、ビューフ、LANの入力を切り替えます。

短く押すと「信号選択画面」を表示します。また、1秒以上押し続けると次のように切り替わります。

→コンピュータ1 → コンピュータ2 →
コンピュータ3 → コンポーネント → ビ
デオ → S-ビデオ → ビューフ

入力されていない信号は飛び越します(「コンピュータ3」はLT380Jのみ)。

(▶43ページ)

7 (AUTO ADJUST) ボタン

コンピュータ1またはコンピュータ2のパンコン画面を投写しているときに、最適な状態で自動調整します。(▶51ページ)

8 (3D REFORM) ボタン

上下左右方向の歪みを調整します。(▶49ページ、62ページ)

9 (MENU) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。(▶88ページ)

10 (SELECT) ボタン(音量調整ボタンを兼用)

- ・オンスクリーンメニューを表示しているときに(SELECT)ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。(▶89ページ)
- ・(MAGNIFY+)ボタンを使った画面拡大の表示位置の調整に使用できます。(▶57ページ)
- ・オンスクリーンメニューや画面拡大などを表示していないときは、(SELECT)ボタンで音量の調整ができます。(▶52ページ)
- ・ビューフ表示中は、(SELECT)ボタンでスライドを切り替えたりできます。(▶85ページ)

11 (ENTER) ボタン

オンスクリーンメニューを表示しているときに(ENTER)ボタンを押すと、項目を決定します。(▶88ページ~90ページ)

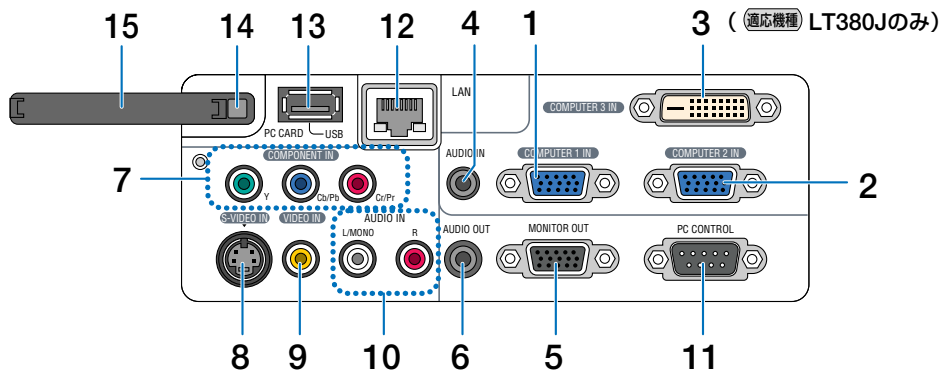
12 (EXIT) ボタン

オンスクリーンメニューを表示しているときに(EXIT)ボタンを押すと、メニューを閉じます。

1

添付品や名称を確認する

接続端子部



(注) 接続端子部のイラストが実物と多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

- 1 コンピュータ1映像入力端子 (COMPUTER 1 IN) (ミニD-Sub 15ピン)**
パソコンのディスプレイ出力端子と接続します。(▶27ページ, 33ページ)
- 2 コンピュータ2映像入力端子 (COMPUTER 2 IN) (ミニD-Sub 15ピン)**
パソコンのディスプレイ出力端子と接続します。(▶27ページ, 33ページ)
- 3 コンピュータ3映像入力端子 (COMPUTER 3 IN) (DVI-D 24ピン)**
(**適応機種** LT380Jのみ)
パソコンのDVI出力端子と接続します。(▶27ページ)
- 4 コンピュータ音声入力端子 (AUDIO IN) (ステレオ・ミニ)**
パソコンやDVDプレーヤなどの音声出力端子と接続すると、本機のスピーカから音が出せます。
本機のスピーカから出力される音声はモノラルのみです。
- 5 モニタ出力端子 (MONITOR OUT) (ミニD-Sub 15ピン)**
コンピュータ1映像入力端子(COMPUTER1 IN)とコンピュータ2映像入力端子(COMPUTER 2 IN)のうち、投映されているほうの映像信号を出力します。(▶29ページ)
- 6 音声出力端子 (AUDIO OUT) (ステレオ・ミニ)**
・本機から投写されている映像の音声信号を出力します。
・音声出力端子に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカから音が出なくなります。
- 7 コンポーネント映像入力端子 (COMPONENT) (RCA-フォノ)**
・DVDプレーヤなどのコンポーネント映像出力端子などと接続します。(▶32ページ)
・Y端子にはビデオ映像が入力できます。
- 8 S-ビデオ映像入力端子 (S-VIDEO IN) (ミニDIN-4ピン)**
ビデオデッキやDVDプレーヤなどのS映像出力端子と接続します。(▶31ページ, 33ページ)
- 9 ビデオ映像入力端子 (VIDEO IN) (RCA-フォノ)**
ビデオデッキやDVDプレーヤなどの映像出力端子と接続します。(▶31ページ, 33ページ)
- 10 コンポーネント/S-ビデオ/ビデオ音声入力端子 (AUDIO IN) (RCA-フォノ)**
ビデオデッキやDVDプレーヤなどの音声出力端子と接続します。
本機のスピーカから出力される音声はモノラルのみです。

11 PCコントロール端子 (PC CONTROL) (D-Sub 9ピン)

添付のUser Supportware 3 CD-ROMに収録しているPC Control Utility 3.0を使用すると、パソコンから本機を操作することができます。

12 LANポート (LAN) (RJ-45)

- ・本機をLANに接続すると、本機のHTTPサーバ機能を利用し、パソコンでWebブラウザを使用して本機を制御することができます。
([34ページ](#), [72ページ](#))
- ・添付のUser Supportware 3 CD-ROMに収録しているImage Express Utility 2.0を使用すると、LANを経由してパソコンの画面をプロジェクターへ送信することができます。
([34ページ](#))

13 USBポート (USB) (タイプA)

- ・市販のUSBマウスを使って、本機のメニュー操作をするときに接続します。
([59ページ](#))
- ・USBメモリを接続できます。
([80ページ](#))

14 PCカード取り出しボタン

PCカードスロットに挿入した無線LANカードやフラッシュメモ리카ードを取り出すときに押します。
([38ページ](#))

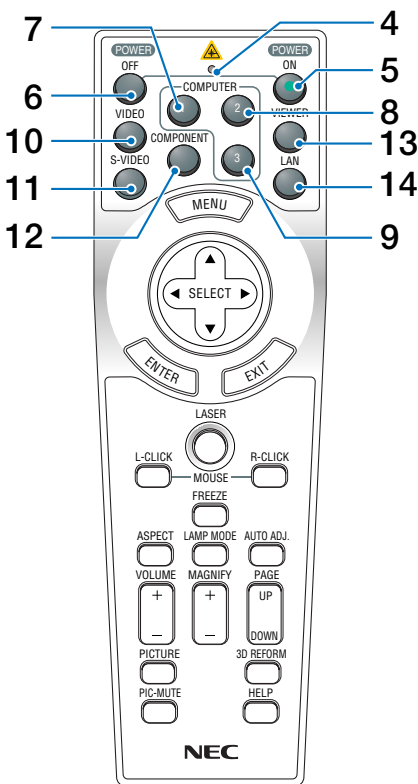
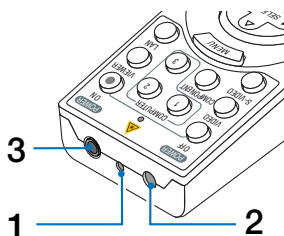
15 PCカードスロット (PC CARD)

添付の無線LANカードや市販のフラッシュメモ리카ードを挿入します。
([37ページ](#))

注意

- 本機の工場出荷時は、PCカードスロットにダミーカードがセットされています。本機をご購入後、はじめて無線LANカードやフラッシュメモ리카ードをセットする際は、まずダミーカードを取り出してください。

1-4. リモコン各部の名称



1 レーザー発光部

(LASER) ボタンを押すとレーザーポインタの光を発射します。

⚠ 警告

レーザー光は人に向けないでください。
目を痛める原因となります。

2 リモコン送信部

(LASER) ボタン以外のボタンを押すと赤外線によるリモコン信号が送信されます。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

3 リモコンケーブル接続端子

本機では使用しません。

4 リモコン送信中インジケータ

赤外線送信中およびレーザーポインタ発光中は赤く点灯します。

5 POWER (ON) ボタン

2秒以上押して、スタンバイ時 (POWERインジケータがオレンジ色に点灯) に本機の電源を入れます。

6 POWER (OFF) ボタン

一度押すと画面に確認メッセージが表示されます。続いてもう一度POWER (OFF) ボタンを押すと、本機の電源が切れます (スタンバイ状態)。

7 (COMPUTER 1) ボタン

コンピュータ1入力を選択します。

8 (COMPUTER 2) ボタン

コンピュータ2入力を選択します。

9 (COMPUTER 3) ボタン (対応機種 LT380J)

コンピュータ3入力を選択します。
(LT280Jは使用できません。)

10 (VIDEO) ボタン

ビデオ入力を選択します。

11 (S-VIDEO) ボタン

S-ビデオ入力を選択します。

12 (COMONENT) ボタン

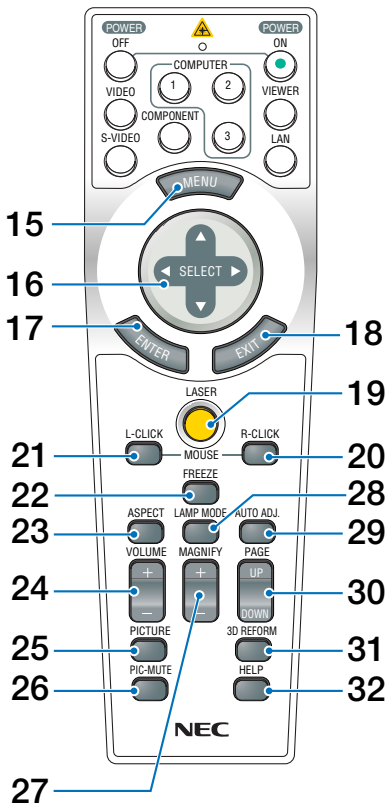
コンポーネント入力を選択します。

13 (VIEWER) ボタン

ビューワを表示します。(82ページ)

14 (LAN) ボタン

LAN入力を選択します。

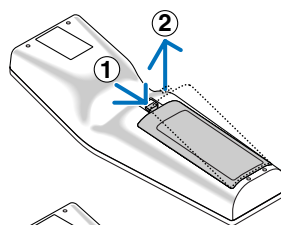


- 15 (MENU) ボタン**
各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。
- 16 (SELECT) ボタン**
オンスクリーンメニュー操作や (MAGNIFY +/-) ボタンを使った画面拡大時の表示位置調整に使用します。
また、添付のマウスレシーバをパソコンに接続しているときは、パソコンのマウスとして動作します。(●61ページ)
- 17 (ENTER) ボタン**
オンスクリーンメニューを表示中は、次の階層のメニューに進みます。
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。
- 18 (EXIT) ボタン**
オンスクリーンメニューを表示中は、前の階層のメニューに戻ります。
メニューバーにカーソルがあるときは、オンスクリーンメニューを閉じます。
確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

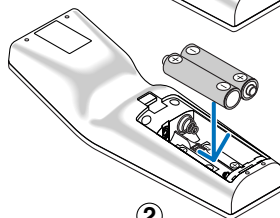
- 19 (LASER) ボタン**
レーザーポインタが発光します。
- 20 (R-CCLICK) ボタン**
添付のマウスレシーバをパソコンに接続しているときに、パソコンを操作するボタンです。
マウスの右ボタンの動作をします。
- 21 (L-CCLICK) ボタン**
添付のマウスレシーバをパソコンに接続しているときに、パソコンを操作するボタンです。
マウスの左ボタンの動作をします。
- 22 (FREEZE) ボタン**
表示されている画像が静止画となります。もう一度押すと戻ります。(●56ページ)
- 23 (ASPECT) ボタン**
アスペクト調整項目を表示します。(●106ページ)
- 24 (VOLUME +/-) ボタン**
内蔵スピーカの音量と音声出力端子 (AUDIO OUT) の音量を調整します。(●52ページ)
- 25 (PICTURE) ボタン**
(PICTURE) ボタンを押すごとに、プリセット → 明るさ → コントラスト → カラー → 色相 → シャープネスの各調整画面が順番に表示されます。(●102ページ, 104ページ)
- 26 (PIC-MUTE) ボタン**
映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。(●56ページ)
- 27 (MAGNIFY +/-) ボタン**
画面の拡大・縮小(もとに戻す)をします。(●57ページ)
- 28 (LAMP MODE) ボタン**
ランプモードを切り替えます。(●57ページ)
- 29 (AUTO ADJ.) ボタン**
コンピュータ1またはコンピュータ2の画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。(●51ページ)
- 30 (PAGE UP/DOWN) ボタン**
ビューワのスライド画面の切り替えや、サムネイル画面でのカーソル送りに使います。(●61ページ)
添付のマウスレシーバをパソコンに接続しているときは、画面のスクロールや、PowerPointの画面切り替えなどに使用します。(●61ページ)
- 31 (3D REFORM) ボタン**
上下左右方向の台形歪みを調整します。(●49ページ, 62ページ)
- 32 (HELP) ボタン**
ヘルプ画面を表示します。(●58ページ)

●電池の入れかた

1 リモコン裏面の電池ケースのふたをあける。



2 ケース内部に印刷されている+、-の向きに合わせて単3乾電池をセットする。

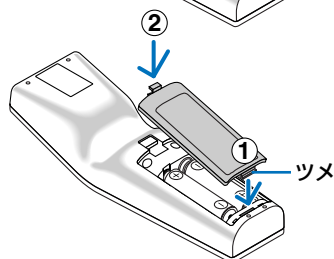


3 もとどおりにふたをする。

ふたのツメをケースのみぞに入れてからふたをしめます。

注意

- 乾電池を交換するときは、2本とも同じ種類の単3アルカリ乾電池をお買い求めください。

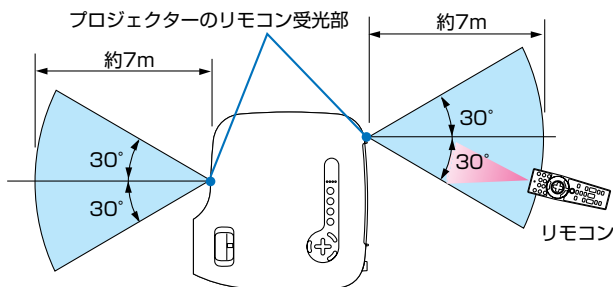


●リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。


リモコン信号をスクリーンに反射させて本体前面のリモコン受光部で受信することもできます。

【水平方向の受光範囲】



(注) 有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

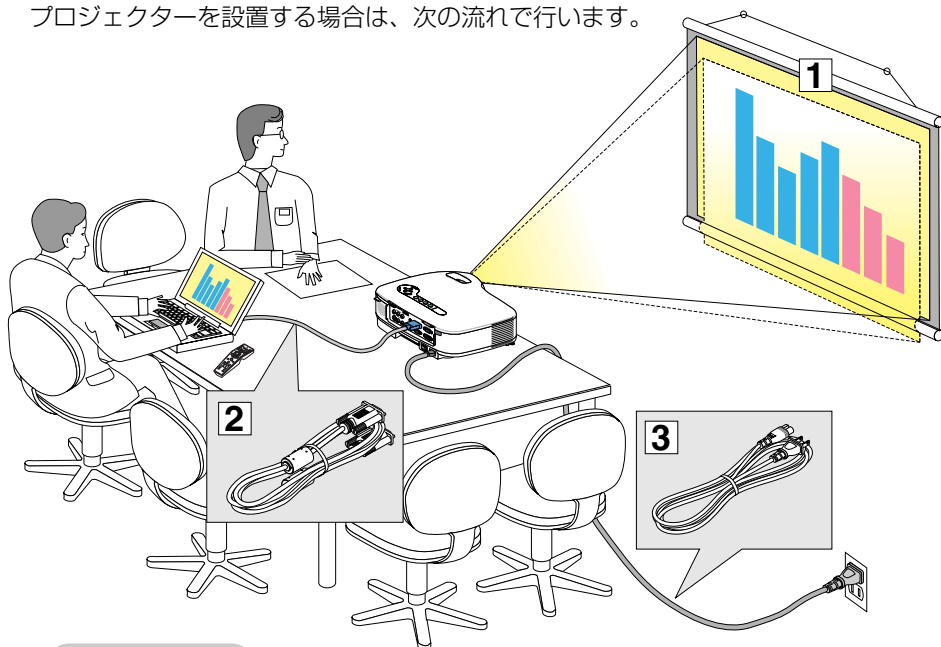
●リモコンの使用上の注意

- ・ 本機のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中に障害物があると信号がさざぎられていると動作しません。
- ・ 本体から約7m以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- ・ リモコンを落したり、誤った取り扱いはしないでください。
- ・ リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- ・ できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- ・ 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- ・ レーザーポインタの使用上のご注意については、「3-8. レーザーポインタを使う」( 53ページ) をご覧ください。

2. 設置と接続

2-1. 設置と接続の流れ

プロジェクターを設置する場合は、次の流れで行います。



1

添付品や名称を確認する

ステップ 1

スクリーンとプロジェクターを設置する (▶次ページ)

ステップ 2

パソコンやビデオデッキなどをプロジェクターに接続する

- ・パソコンと接続する場合 (▶27ページ)
- ・RGBモニタと接続する場合 (▶29ページ)
- ・DVDプレーヤやビデオデッキなどのAV機器と接続する場合 (▶31ページ, 32ページ)
- ・書画カメラと接続する場合 (▶33ページ)
- ・有線LANと接続する場合 (▶35ページ)
- ・無線LANと接続する場合 (▶35ページ, 36ページ)

ステップ 3

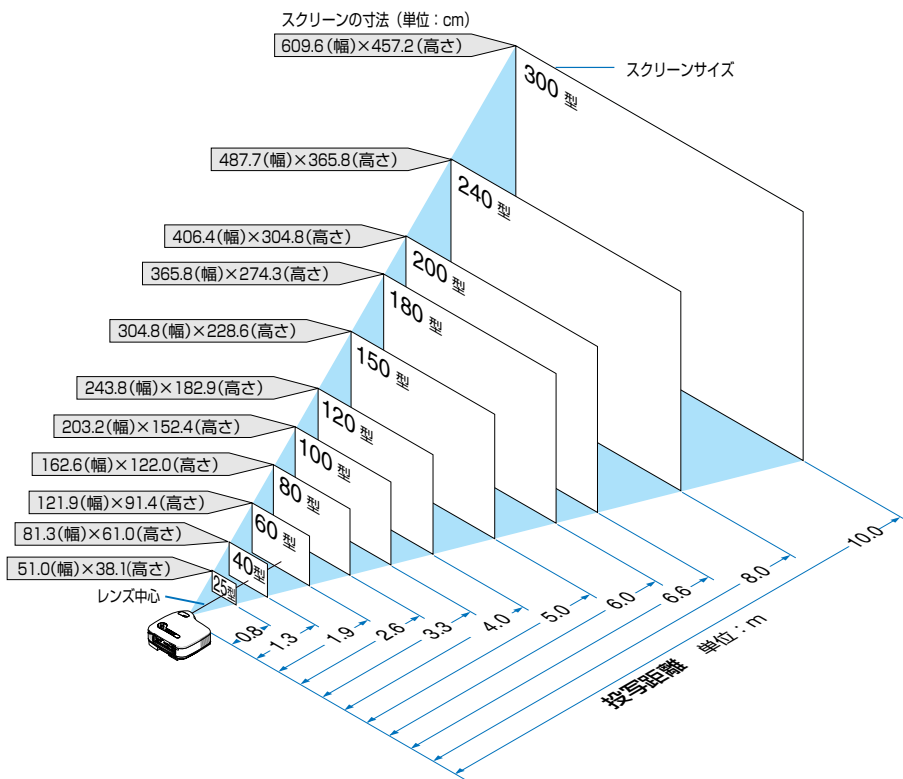
電源コードを接続する (▶39ページ)

2-2. スクリーンとプロジェクターを設置する

下図を参照して、適切な画面サイズとなる位置にプロジェクターを設置してください。

例1：100型のスクリーンに投写する場合は、下図より3.3m 離して設置します。

例2：スクリーンから5m 離してプロジェクターを設置すると、下図より約150型の画面となります。



参考

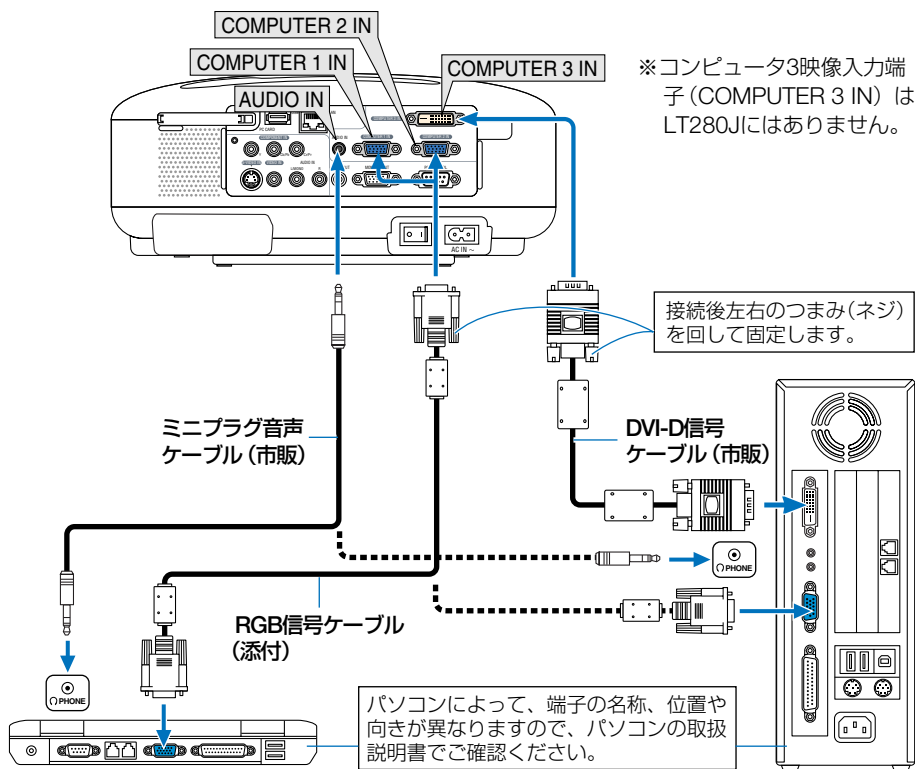
- この図のスクリーン寸法は、ズームレバーのテレ(投写面積が最小)側とワイド(投写面積が最大)側の間の値です。
ズームレバーを操作すると、画面のサイズを約±10%の範囲で変更することができます。
なお、図の各寸法は、設計値のため実際の寸法と多少の誤差がありますので目安としてください。
- 投写距離と画面サイズについては、付録の「投写距離とスクリーンサイズ」([▶ 148ページ](#)) をご覧ください。

2-3. パソコンと接続する

パソコン側のディスプレイ出力端子(ミニD-Sub15ピン)と、本機のコンピュータ1映像入力端子(COMPUTER 1 IN)またはコンピュータ2映像入力端子(COMPUTER 2 IN)を、添付のRGB信号ケーブルで接続します。

LT380Jには、DVI-D入力端子を装備しています。

パソコン側がDVI出力端子の場合は、市販のDVI-D信号ケーブルで本機のコンピュータ3映像入力端子(COMPUTER 3 IN)に接続します(デジタル信号のみ入力できます)。



注意

- パソコンや本機の電源を切ってから接続してください。
- 音声ケーブルをヘッドホン端子と接続する場合、接続する前にパソコンの音量を低めに調整してください。そして、パソコンと本機を接続して使用する際に、本機の音量とパソコンの音量を相互に調整し、適切な音量にしてください。
- パソコンにミニジャックタイプの音声出力端子がある場合は、その端子に音声ケーブルを接続することをおすすめします。
- 当社製のビデオユニット(形名ISS-6020J)のビデオデコード出力には対応していません。
- スキャンコンバータなどを介してビデオデッキを接続した場合、早送り・巻き戻し再生時に正常に表示できない場合があります。

● DVI (デジタル) 入力時の注意事項 (**対応機種**) **LT380J**)

- DVI-D信号ケーブルは、DDWG Revision1.0に準拠した5m以内のものを使用してください。
- DVI信号ケーブルは、シングル/デュアルのどちらのタイプも使用できます。
- DVI-D信号ケーブルを接続するときは、本機とパソコンの電源が切れた状態で行ってください。
- DVI (デジタル) 信号を投写する際は、ケーブル接続後、まず本機の電源を入れ、コンピュータ3入力を選択します。最後にパソコンを起動してください。
上記の手順通りに操作しないと、映像が投写されないことがあります。映像が投写されない場合はパソコンを再起動してください。
- パソコンのグラフィックカードによっては、アナログRGB (D-Sub) とDVI (またはDFP) の両端子を有するものがあります。この場合、D-Sub端子にRGB信号ケーブルを接続していると、DVIデジタル信号が出力されないものがあります。
- 本機の電源が入っているときにDVI-D信号ケーブルを抜かないでください。
一度抜いて、再度接続した場合、映像が正常に投写されないことがあります。その場合はパソコンを再起動してください。
- 本機のコンピュータ3映像入力 (COMPUTER 3 IN) は、VGA (640×480)、SVGA (800×600)、XGA (1024×768)、1152×864、およびSXGA (1280×1024/垂直走査周波数60Hzまで) に対応しています。

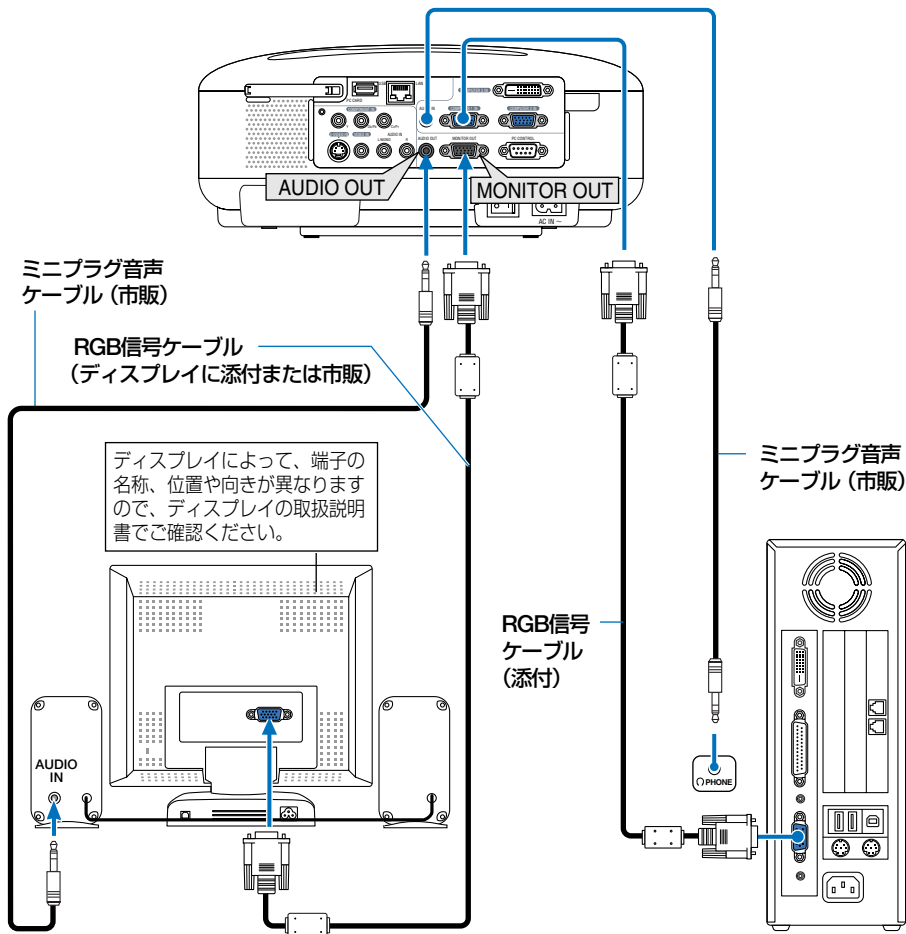
▲ **参考**

- コンピュータ1映像入力端子 (COMPUTER 1 IN) は、Windowsのプラグ・アンド・プレイに対応しています (DDC2対応)。
- Macintoshとの接続では、Macintosh用信号アダプタ (市販品) が必要になる場合があります。

2-4. RGBモニタと接続する

図のように、デスクトップパソコンと本機を接続したときなど、本機で投写している画面と同じ画面を、手元のディスプレイにも表示 (モニタ) して確認できます。

本機のモニタ出力端子 (MONITOR OUT) は、コンピュータ1映像入力端子 (COMPUTER 1 IN) とコンピュータ2映像入力端子 (COMPUTER 2 IN) のうち、投写されているほうの映像信号を出力します。



注意

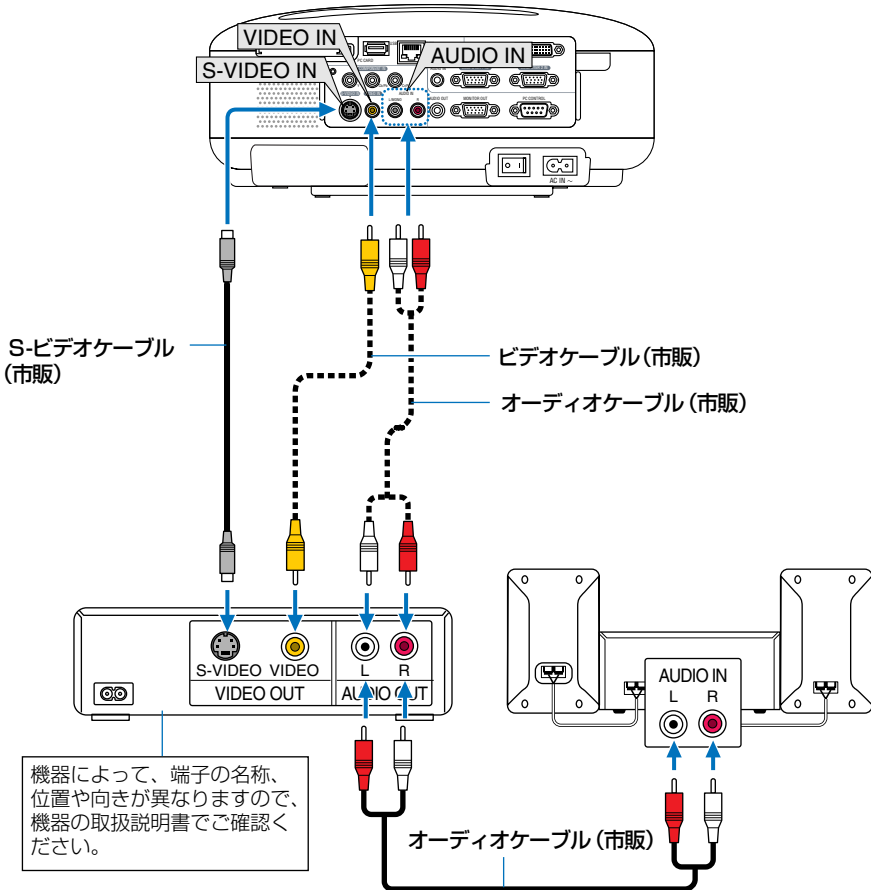
- 本機のモニタ出力端子 (MONITOR OUT) は、1 台のディスプレイへ映像信号を出力するためのものです。
複数のディスプレイやプロジェクターを連続してつなぐような使いかたはできません。
- 本機の音声出力端子 (AUDIO OUT) に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカから音声がなくなります。
- 本機の [スタンバイモード] を「省電力」に切り替えると、本機の電源が入っていないとき (POWERインジケータがオレンジ色で点灯し、STATUSインジケータが消灯しているとき) にモニタ出力端子 (MONITOR OUT) から映像信号が出力されなくなります。([126ページ](#))
- 本機がスタンバイ状態のときは音声出力端子 (AUDIO OUT) から音声信号が出力されません。
- コンピュータ3映像入力端子 (COMPUTER 3 IN) に入力されている映像信号 (デジタル信号) は出力しません。(LT380Jのみ)

2-5. DVDプレーヤなどのAV機器と接続する

ビデオ信号／S-ビデオ信号の接続

ビデオデッキ、テレビチューナなどのビデオ機器の映像を映す場合は、市販のケーブルを使用してください。

ビデオ機器の音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



参考

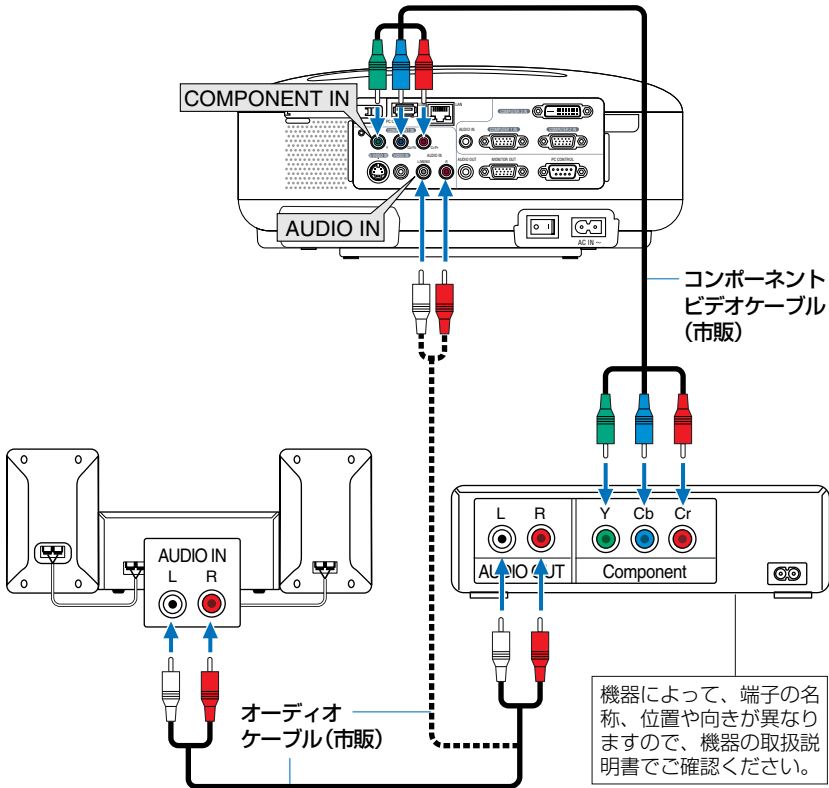
- コンポーネント映像入力端子 (COMPONENT IN) の「Y」端子にビデオケーブルを接続することができます。

上記のように「Y」端子に接続した場合は、オンスクリーンメニューの [セットアップ] → [オプション] → [信号選択] でコンポーネント信号を「ビデオ」に設定してください。(▶128ページ)

コンポーネント信号の接続

DVDプレーヤの色差出力端子(DVD映像出力)やハイビジョンビデオなどのYPbPr出力端子(HD映像出力)を使って本機で映すことができます。

DVDプレーヤの音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



参考

- 市販のコンポーネントビデオケーブルを使って延長し、コンピュータ1映像入力端子(COMPUTER 1 IN)またはコンピュータ2映像入力端子(COMPUTER 2 IN)に接続する場合は、別売のコンポーネントビデオ変換アダプタ(形名ADP-CV1E)をお使いください。

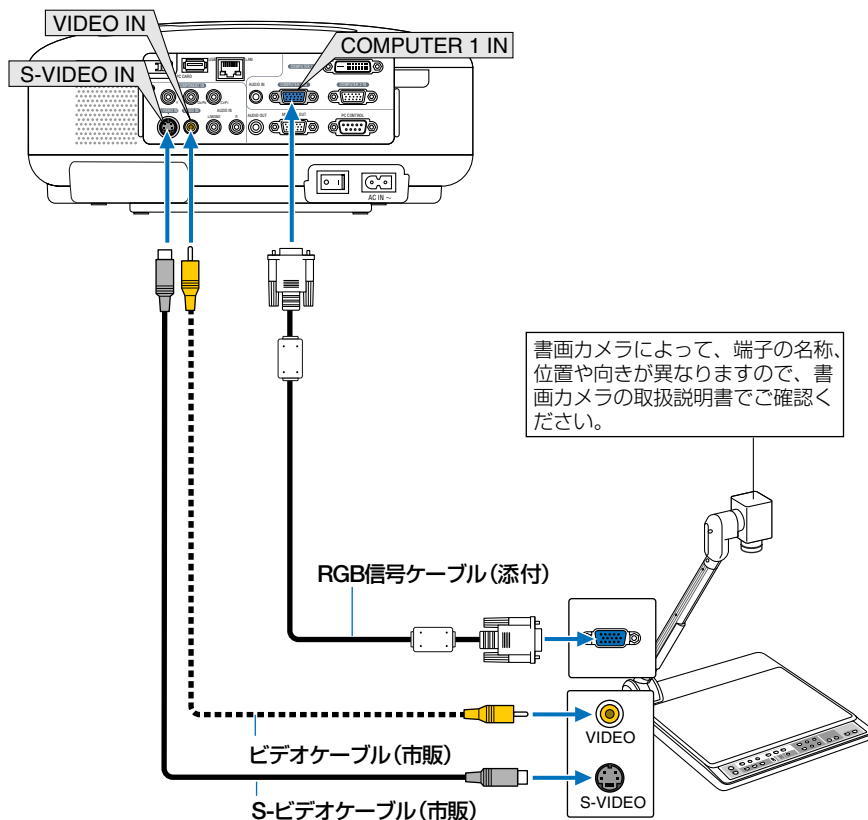
通常は自動でコンピュータ信号とコンポーネントビデオ信号を判別して切り替えますが、判別できない場合は、オンスクリーンメニューの[セットアップ]→[オプション]→[信号選択]でコンピュータ信号を「コンポーネント」に設定してください。

([128ページ](#))

- D端子付きの映像機器と接続する場合は、別売のD端子変換アダプタ(形名ADP-DT1E)をお使いください。

2-6. 書画カメラと接続する

本機に市販の書画カメラを接続すると、印刷された資料や立体をスクリーンに投写することができます。



2-7. LANと接続する

本機にはLANポート (RJ-45) が標準装備されており、LANケーブルを接続するとLAN環境を利用することができます。また、添付の無線LANカード (形名NWL-100E) を本機のPCカードスロットに挿入すると、無線LAN環境を利用することができます。本機をLAN環境および無線LAN環境で使用する場合は、本機にIPアドレスなどを設定する必要があります。本機へのLANの設定について詳しくは、本書のオンスクリーンメニュー→[セットアップ]→[設置]→[LANモード] (🔗 119ページ) をご覧ください。

LAN環境を利用してできること

LAN環境および無線LAN環境では、本機の「プロジェクターコントロール機能」と「画像送信機能」が使用できます。

● プロジェクターコントロール機能

- LANおよび無線LANに接続したパソコンから、プロジェクターの電源の入/切や信号切り替えなどの制御ができます。次の2つの方法があります。
 - 本機のHTTPサーバ機能を使用する。(🔗 72ページ)
 - 添付のUser Supportware 3 CD-ROMに収録しているPC Control Utility 3.0を使用する。

● 画像送信機能

- LANおよび無線LANに接続したパソコンの画面やパソコンで選択した画像ファイルを、プロジェクターへ送信してスクリーンに投写することができます。次の2つの方法があります。
 - 添付のUser Supportware 3 CD-ROMに収録しているImage Express Utility 2.0を使用する。
 - 添付のUser Supportware 3 CD-ROMに収録しているUlead Photo Explorer 8.0を使用する。
- LANおよび無線LANに接続したパソコンのデスクトップ画面 (Windows) を、本機に接続した市販のUSBマウスで操作することができます。
 - 添付のUser Supportware 3 CD-ROMに収録しているDesktop Control Utility 1.0を使用する。

注意 ● パソコン側の無線LANカードは、Wi-Fi規格のものを使用してください。

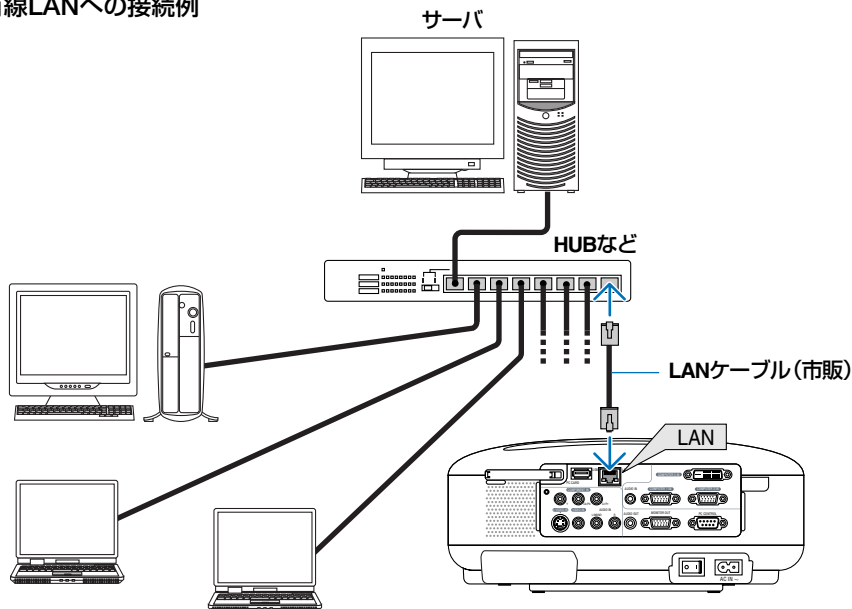
参考 ● User Supportware 3 CD-ROMに収録している各ソフトウェアの操作方法は、同じCD-ROMに収録している「基本操作ガイド」(PDF) をご覧ください。

【User Supportware 3 CD-ROMに収録しているソフトウェア】

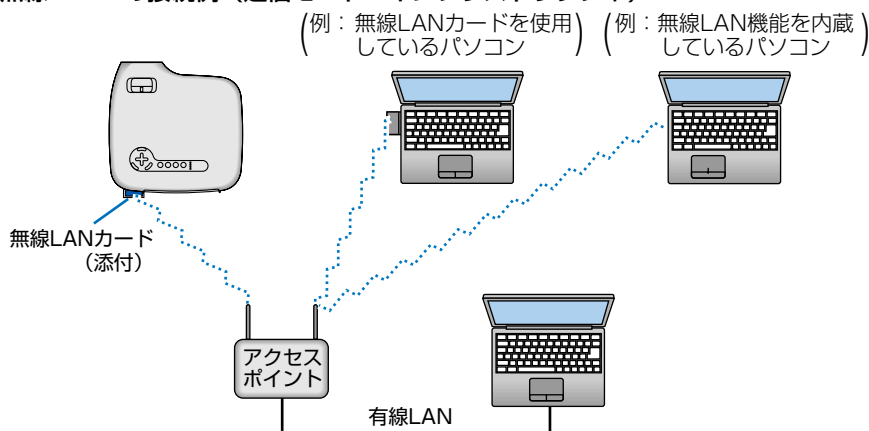
- Windows XP/Windows 2000 用
 - Image Express Utility 2.0
 - Desktop Control Utility 1.0
 - Ulead Photo Explorer 8.0 SE Basic
 - Viewer PPT Converter 3.0
 - PC Control Utility 3.0
- Mac OS X 用
 - Image Express Utility 2 for Mac OS

接続例

(A) 有線LANへの接続例



(B) 無線LANへの接続例 (通信モード：インフラストラクチャ)

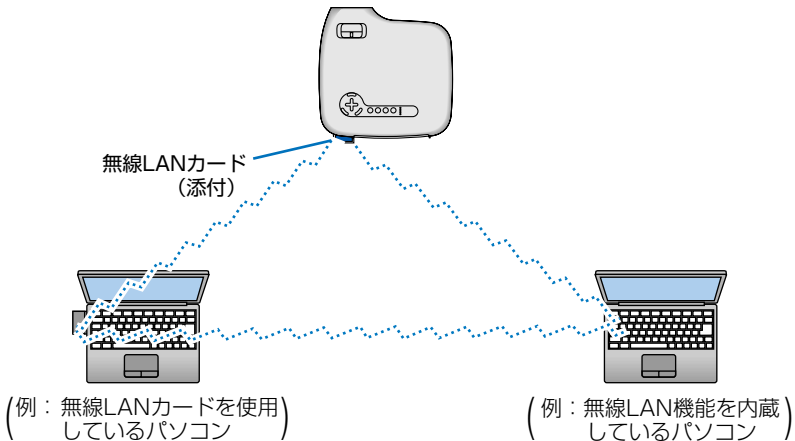


アクセスポイントを介して有線LANと接続する場合は、通信モードを「インフラストラクチャ」に設定します。

オンスクリーンメニューの[セットアップ]→[設置]→[LANモード]で設定します。

[LANモード]画面では、[PCカード]のページ内にある[詳細設定]を選択し[詳細設定]画面を表示します。続いて、[詳細設定]画面内の[通信モード]のページで[通信モード]→[インフラストラクチャ]を選択します。

(C) 無線LANへの接続例（通信モード：802.11アドホック）



パソコンと本機をピアツーピア (peer to peer) で通信する場合は、通信モードを「802.11 アドホック」に設定します。

オンスクリーンメニューの [セットアップ] → [設置] → [LANモード] で設定します。

[LANモード] 画面では、[PCカード] のページ内にある [詳細設定] を選択し [詳細設定] 画面を表示します。続いて、[詳細設定] 画面内の [通信モード] のページで [通信モード] → 「802.11 アドホック」を選択します。

- 参考**
- 通信モードを「802.11アドホック」にした接続の場合は、IEEE 802.11b (最大速度11Mbps) 動作になります。

2-8. 無線LANカードやフラッシュメモリカードを本機にセットする



- 無線LANカードやフラッシュメモリカードには表と裏があり、PCカードスロットに挿入する向きが決まっています。逆に挿入しようとしてもできないようになっていますが、無理に押し込もうとすると本体内のピンが折れて、PCカードスロットが壊れてしまいます。必ずラベル面を上に向けて挿入してください。
- 誤った操作を行うと、PCカードスロットにセットしているカードが破損するおそれがあります。重要なデータは、パソコンなどにバックアップをとっておいてください。
- 静電気による破損を防ぐため、無線LANカードに触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

準備

本機の工場出荷時は、PCカードスロットに“ダミーカード”がセットされています。本機をご購入後、はじめて無線LANカードやフラッシュメモリカードをセットする際は、まずダミーカードを取り出してください（次ページ「PCカードスロットからの取り出し」）。

PCカードスロットを使用しないときは、ダミーカードをセットしておくことをおすすめします。PCカードスロット内にほこりや異物が入り込むのを防止することができます。

2

設置と接続

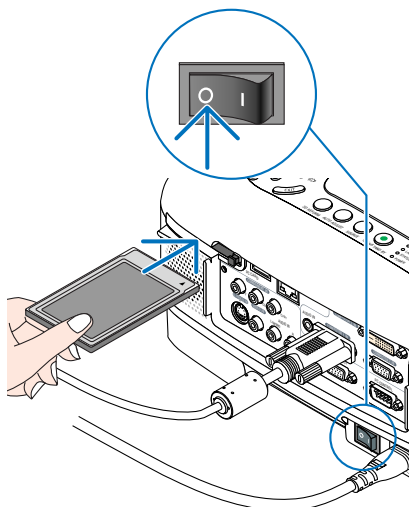
PCカードスロットへのセット

1 無線LANカードをセットする場合は、本機の主電源スイッチを「○(切)」にする。

2 ラベル面を上にして水平にゆっくりと差し込む。



- 挿入しづらい場合は、無理に押し込まないでください。



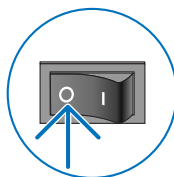
PCカードスロットからの取り出し

- 1 フラッシュメモリカードを取り出す場合は、PCカードアクセスインジケータが消灯していることを確認する。

注意

- フラッシュメモリカードをセットしている場合、PCカードアクセスインジケータが点灯しているとき(カード内のデータを読み書きしているとき)は取り出さないでください。カードが破損します。

- 2 無線LANカードを取り出す場合は、POWER (ON/STAND BY) ボタンを押して本機をスタンバイ状態にし、主電源スイッチを「○ (切)」にする。



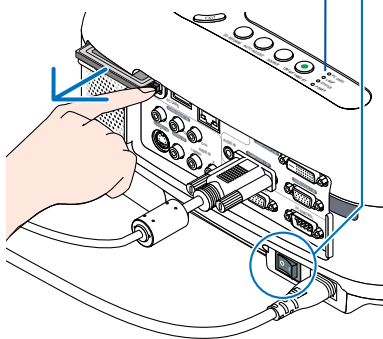
PCカードアクセスインジケータ

- 3 PCカード取り出しボタンをゆっくりと押す。

PCカード取り出しボタンが少し手前に出てきます。

- 4 もう一度PCカード取り出しボタンをゆっくりと押す。

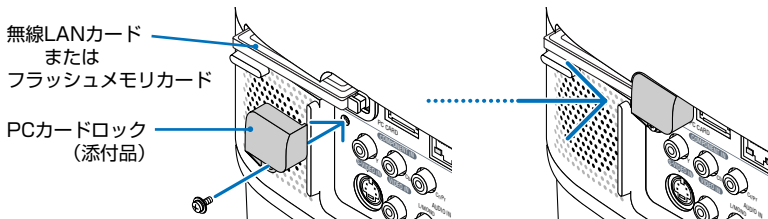
セットしているカードが少し手前に出てきます。



- 5 カードをゆっくりと引き出す。

参考

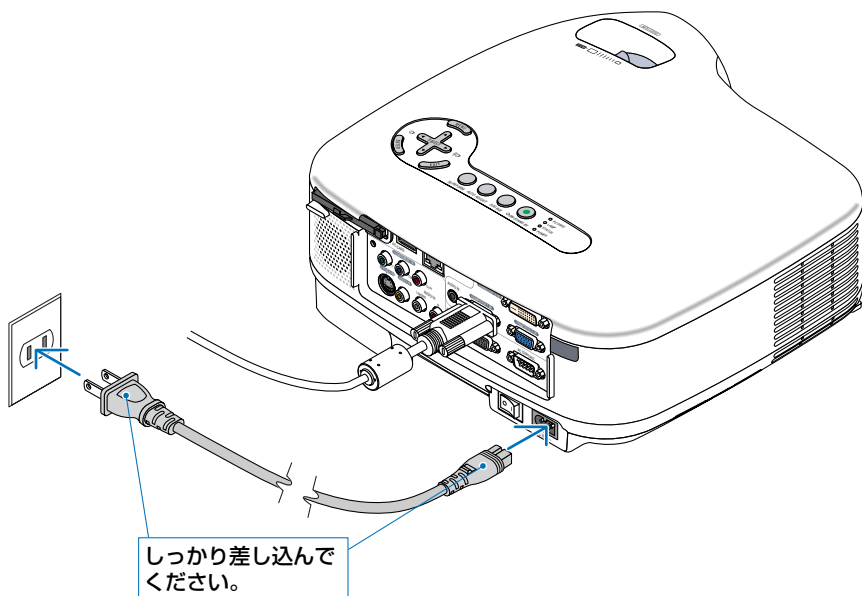
- PCカードロックの取り付けかた
無線LANカードやフラッシュメモリカードを簡単に取り外されないようにする場合は、添付のPCカードロックを本体にネジ止めします。



(注) 特殊な形状のPCカードをセットした場合、PCカードロックを取り付けることができないことがあります。

2-9. 電源コードを接続する

本機のAC IN端子とAC100Vのコンセントを、添付の電源コードで接続します。



注意

- 次のような場合は、電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
 - ・ ランプの点灯中
 - ・ 電源を切ったあとのファンの回転中（ファンは約30秒間回転します）
 - ・ PCカードアクセスインジケータ、またはUSBメモリのアクセスインジケータが点灯しているとき（ビューワ使用中）
フラッシュメモリカード、またはUSBメモリが壊れるおそれがあります。

3. 映像を投写する(基本操作)

3-1. 映像を投写する流れ

ステップ 1

本機の電源を入れる (▶41ページ)



ステップ 2

入力信号を選択する (▶43ページ)



ステップ 3

投写画面の位置と大きさを調整する (▶46ページ)
台形歪みを調整する (▶49ページ)



ステップ 4

映像や音声を調整する
・画質を調整する場合 (▶51ページ)
・本機の音量を調整する場合 (▶52ページ)



ステップ 5

プレゼンテーションを行う (▶53ページ)



ステップ 6

本機の電源を切る (▶54ページ)



ステップ 7

あとかたづけ (▶55ページ)

3-2. 本機の電源を入れる

準備：「2 設置と接続」(25ページ)を参照のうえ、機器の接続を行ってください。

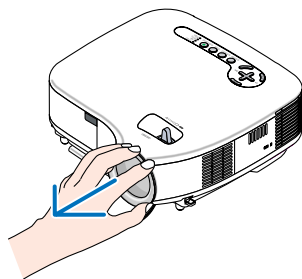
重要

- 本機の電源コードの取り付け、取り外しは、主電源スイッチが「○ (切)」の状態で行ってください。
主電源スイッチが「| (入)」の状態では電源コードの取り付け、取り外しを行うと、故障の原因となります。
- 本機の電源の入/切は、「主電源スイッチ」と「POWER (ON/STAND BY) ボタン (リモコンはPOWER (ON) (OFF) ボタン)」の2段階の操作で行います。
- 電源を入れる (このページ)
 - 1 「主電源スイッチ」を「| (入)」にする。
本機がスタンバイ状態になります。
 - 2 「POWER (ON/STAND BY) ボタン (リモコンはPOWER (ON) ボタン)」を2秒以上押す。
本機の電源が入ります。
- 電源を切る (54ページ)
 - 1 「POWER (ON/STAND BY) ボタン (リモコンはPOWER (OFF) ボタン)」を押す。
画面に確認メッセージが表示されます。
 - 2 もう一度「POWER (ON/STAND BY) ボタン (リモコンはPOWER (OFF) ボタン)」を押す。
本機がスタンバイ状態になります。
 - 3 ファンの回転が終わったら、「主電源スイッチ」を「○ (切)」にする。
本機の電源が切れます。

1 レンズからレンズキャップを取り外す。

注意

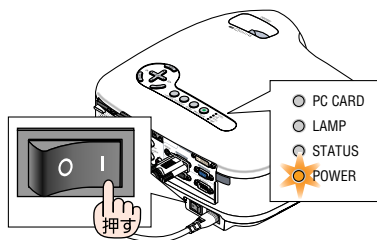
- ひもを持ってレンズキャップを引っ張らないでください。故障の原因となります。



2 主電源スイッチを「| (入)」にする。

本機のPOWERインジケータがオレンジ色で点灯します (スタンバイ状態または省電力状態)。

- 省電力状態のときは、さらにSTATUSインジケータが緑色で点灯します。



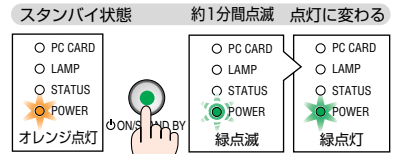
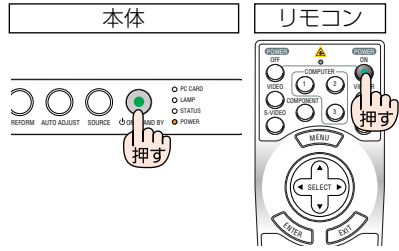
3 POWER (ON/STAND BY) ボタンを2秒以上押す。

以上押す。

本機の電源が入り、スクリーンに映像が表示され始めます。

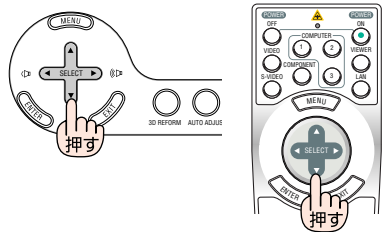
- ・リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを2秒以上押します。
- ・信号が入力されていないときは、青い画面(ブルーバック：工場出荷状態)が表示されます。
- ・ご購入後はじめて電源を入れたときは「Menu Language Select (言語選択)」画面が表示されます。次のように操作して「日本語」を選択してください。

なお、映像がぼやけている場合は、フォーカスリングを回して画面のフォーカスを合わせてください。(▶48ページ)

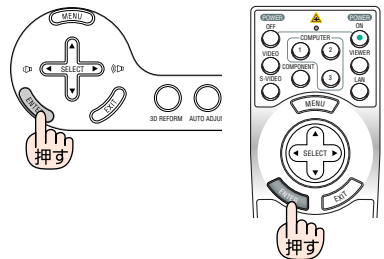


2秒以上押す

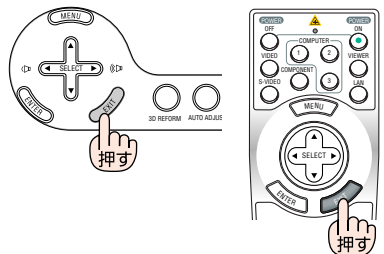
- 1 (SELECT ▼) ボタンを押して、青色のカーソルを「日本語」に合わせる。



- 2 (ENTER) ボタンを押す。
オンスクリーンメニューの表示が日本語に設定されます。



- 3 (EXIT) ボタンを押す。
オンスクリーンメニューが消えます。



注意

- 本機の電源が入っている間は、レンズからレンズキャップを外しておいてください。高温になりレンズキャップが変形する場合があります。
- 次のような場合は、POWER (ON/STAND BY) ボタンを押しても電源が入りません。
 - ・ 内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待って (内部の温度が下がって) から電源を入れてください。
 - ・ ランプ交換時間 (目安)*に達した場合は電源が入りません。ランプを交換してください。*保証時間ではありません。
 - ・ 電源を入れてもランプが点灯せず、STATUSインジケータが点滅 (6回周期の点滅) している場合は、1分以上待って再度電源を入れてください。
- 電源を入れた直後のランプの点灯準備中、およびその後のPOWERインジケータ点滅中 (約1分間) は電源を切ることができません。
- 電源を入れたとき、ランプが安定して点灯するまで (3~5分) 映像がちらつく場合があります。これはランプの特性上発生するもので故障ではありません。
- ランプの消灯直後や周囲の温度が高いときに電源を入れると、しばらくの間冷却ファンのみが回転し、そのあとスクリーンに映像が投写されます。

3-3. 入力信号を選択する

信号選択画面から選択する

1 本機に接続しているパソコンやビデオデッキなどの電源を入れる。

ビデオデッキなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

2 (SOURCE) ボタンを短く押す。

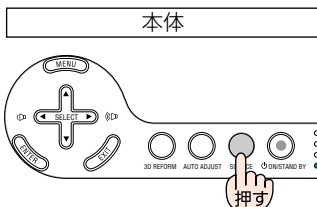
信号選択画面が表示されます。

3 (SOURCE) ボタンを数回短く押して、投写したい入力信号にカーソルを合わせる。

(SOURCE) ボタンを短く押すたびに、次の入力信号にカーソルが移動します。

4 (ENTER) ボタンを押す。

- ・ (ENTER) ボタンを押さずに約2秒経過すると、カーソルが合っている信号に自動的に切り替わります。



● コンピュータ1
コンピュータ2
コンピュータ3
コンポーネント
ビデオ
S-ビデオ
ビューワ
LAN

※LT380Jの画面です。

投写する入力信号を自動検出する

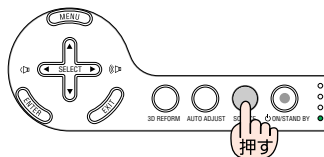
1 本機に接続しているパソコンやビデオデッキなどの電源を入れる。

ビデオデッキなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

2 (SOURCE) ボタンを1秒以上押す。

投写可能な信号を自動検出します。

- ・1秒以上 (SOURCE) ボタンを押すたびに、コンピュータ1→コンピュータ2→コンピュータ3→コンポーネント→ビデオ→S-ビデオ→ビューワ と映像(入力信号)が切り替わります。入力信号がないときは次の信号に移ります (「コンピュータ3」はLT380Jのみ)。



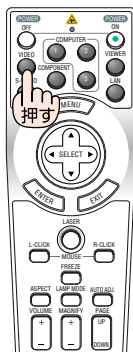
リモコンのダイレクトボタンを押して選択する

1 本機に接続しているパソコンやビデオデッキなどの電源を入れる。

ビデオデッキなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

2 リモコンの (VIDEO)、(S-VIDEO)、(COMONENT)、(COMPUTER 1)、(COMPUTER 2)、(COMPUTER 3)、(LAN)、(VIEWER) ボタンを押す。

※LT280Jの (COMPUTER 3) ボタンは使用できません。



参考

- 入力信号がないときは、青い画面 (ブルーバック : 工場出荷状態) が表示されます。ビデオデッキやDVDプレーヤなどは再生 (PLAY) 操作をしてください。
- ノートパソコンの画面がうまく投写できない場合
ノートパソコンの外部出力 (モニター出力) 設定を外部に切り替えてください。
- Windowsの場合はファンクションキーを使います。
[Fn] キーを押したまま (≡/□) などの絵表示や (LCD/VGA) の表示があるファンクションキーを押すと切り替わります。しばらく (プロジェクターが認識する時間) すると投写されます。

【パソコンメーカーとキー操作の例】

Fn + F3	NEC、Panasonic、GATEWAY、SOTEC
Fn + F4	HP
Fn + F5	TOSHIBA、SHARP、MITSUBISHI
Fn + F7	SONY、IBM、HITACHI
Fn + F8	DELL、EPSON
Fn + F10	FUJITSU

通常、キーを押すごとに「外部出力」→「パソコン画面と外部の同時出力」→「パソコン画面」…と繰り返します。

表に記載されていないメーカーのノートパソコンをお使いの場合は、ノートパソコンのヘルプ、または取扱説明書をご覧ください。

- Macintosh PowerBookは、ビデオミラーリングの設定を行います。
- それでも投写しない場合は本体の **(SOURCE)** ボタンを1秒以上押してください。

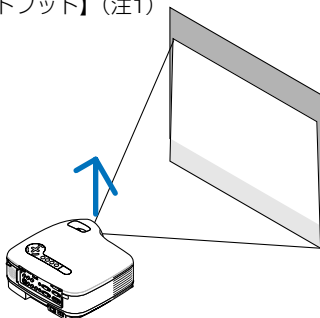
( [前ページ](#))



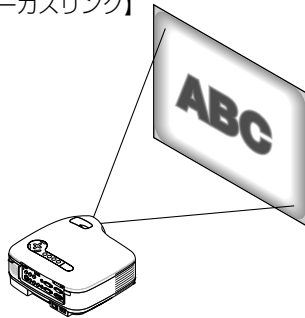
3-4. 投写画面の位置と大きさを調整する

チルトレバーやチルトフット、ズームレバー、フォーカスリングなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

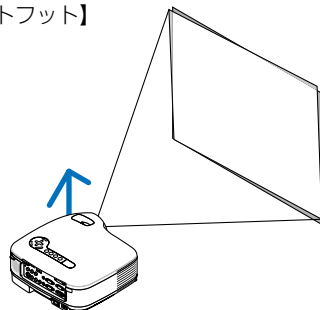
投写角度（投写画面の高低）の調整
【チルトフット】（注1）



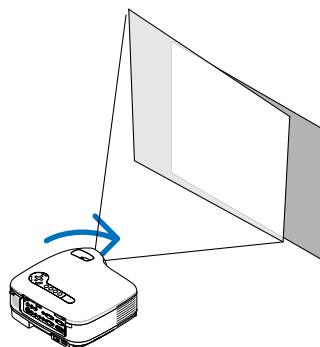
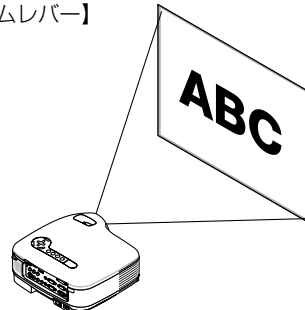
投写画面のフォーカス合わせ
【フォーカスリング】



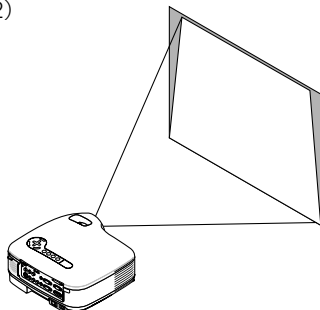
投写画面の左右の傾きの調整
【チルトフット】



投写画面の大きさの微調整
【ズームレバー】



投写画面の台形歪み補正【スクエアショット】
（注2）



（注1） オンスクリーンメニューの「台形補正」を「自動判別」に設定している場合は、本機の投写角度（投写画面の高低）を変更すると、自動台形補正機能が働き投写画面に「台形補正」画面が表示されます。

（注2） スクエアショットについては、「3-5.台形歪みを調整する」（[49ページ](#)）をご覧ください。

※ ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

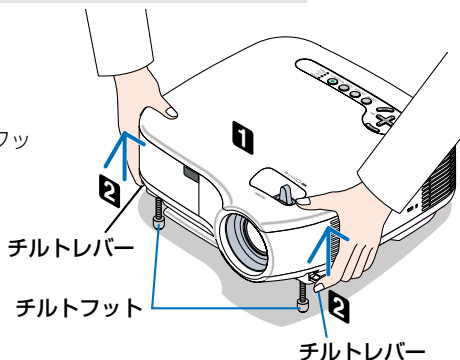
投写角度（投写画面の高低）と左右の傾きの調整 （チルトフット）

1 本機の前部を持ち上げる。

2 左右のチルトレバーを押し上げる。

チルトフットのロックが外れ、左右のチルトフットが伸縮します。

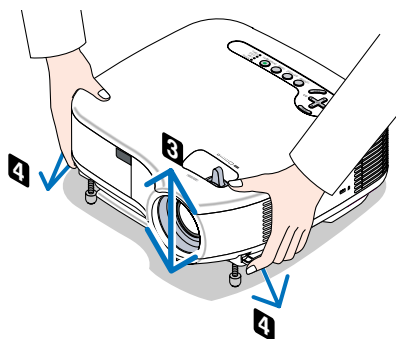
- 注意**
- 投写中は排気口付近が高温になる場合があります。
チルトフット調整の際はご注意ください。



3 チルトレバーを押したまま、本機の投写角度および左右の傾きを調整する。

4 角度を固定したいところでチルトレバーから指を離す。

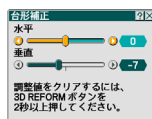
- チルトフットがロックされ、投写角度が固定されます。
- チルトフットにより、最大10°本機を傾けることができます。
- 投写画面が歪んでいるときは「3-5.台形歪みを調整する」(▶49ページ)をご覧ください。



- 注意**
- [台形補正]の調整値をクリアする（工場出荷時に戻す）場合は、(3D REFORM) ボタンを2秒以上押してください。
 - チルトフットは、本機の投写角度調整以外の用途には使用しないでください。チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。

参考

- オンスクリーンメニューの[台形補正]の工場出荷状態は「手動」に設定されています。「自動判別」に設定すると、本機の投写角度（投写画面の高低）を変更すると、自動台形補正機能が働き投写画面に[台形補正]画面が表示されます。[台形補正]画面の操作については「3-5.台形歪みを調整する」(▶49ページ)をご覧ください。

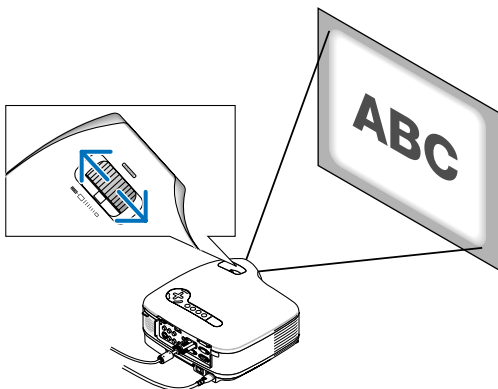


3

映像を投写する(基本操作)

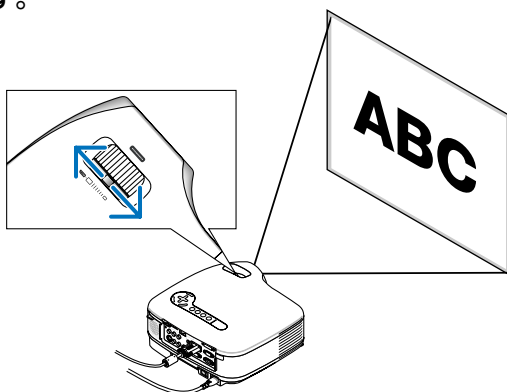
投写画面のフォーカス合わせ(フォーカスリング)

- 1 フォーカスリングを左右に回す。



投写画面の大きさの微調整(ズームレバー)

- 1 ズームレバーを左右に動かす。



3-5. 台形歪みを調整する

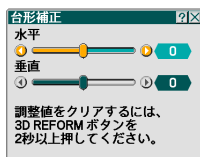
本機を正しい投写角度（投写画面の高低）に設置していないと投写画面が台形状に歪みます。この歪みを調整するのが台形補正です。ここでは[台形補正]画面を操作して、投写画面の台形歪みを調整する手順を説明します。

本機は、上下方向の傾きを感知して自動的に台形歪みを補正する自動台形補正機能があります。この機能を使うにはオンスクリーンメニューの[台形補正]を「自動判別」に設定してください。（▶110ページ）自動台形補正により、チルトフットを伸ばして投写画面の高低を変更した場合、投写画面の左右の辺は常にほぼ平行に補正されます。スクリーンに向かって斜め横から投写した場合は、投写画面の上下の辺が平行になるように、[台形補正]画面の[水平]で調整してください。

1 リモコンまたは本体の(3D REFORM) ボタンを押す。

投写画面に[台形補正]画面が表示されます。

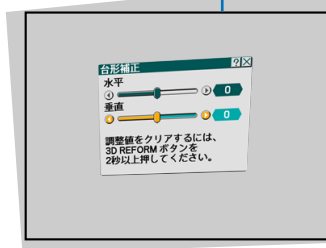
参考
オンスクリーンメニューの[台形補正]を「自動判別」に設定しているときは、手順**3**から行ってください。
.....



2 (SELECT ▼) ボタンを押して[垂直]にカーソルを合わせ、(SELECT ◀▶) ボタンを押して左右の辺を平行にする。

投写画面の台形歪み(垂直)を調整します。

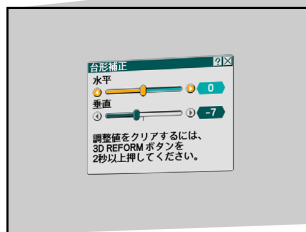
投写画面の外枠
スクリーンの外枠



3 スクリーンと投写画面の左辺または右辺を合わせる。

- ・投写画面の左辺と右辺を比べ、長さが短いほうの辺を合わせます。
- ・右の図のような台形歪みの場合は、左辺を合わせます。

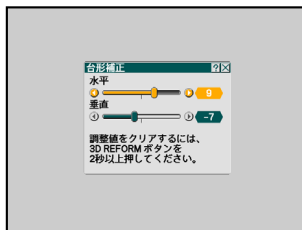
(左辺を合わせる)



4 (SELECT ▲) ボタンを押して [水平] にカーソルを合わせ、(SELECT ◀/▶) ボタンを押して上下の辺を平行にする。

投写画面の台形歪み (水平) を調整します。

- ・右の図のように左辺を合わせた場合は、(SELECT ▶) ボタンを押します。

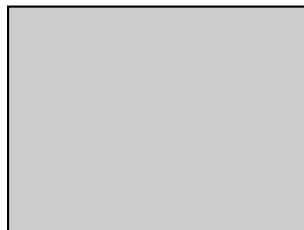


5 手順**2**～**4**を繰り返し、台形歪みを調整する。

6 台形歪みの調整が終わったら、(ENTER) ボタンを押す。

[台形補正] 画面が消え、台形補正が決定されます。

- ・再び台形歪みを調整する場合は、(3D REFORM) ボタンを押して [台形補正] 画面を表示し、上の手順**1**～**6**を行ってください。



注意

- 本機の電源を入れたとき、本機の傾きを変えても前回使用時の台形補正の調整値を保持しています。前回使用時から本機の傾きが変わっていると、自動的に台形歪みを補正するには、オンスクリーンメニューの [台形補正] を「自動判別」に設定してください。[自動判別] に設定すると、前回使用時の台形補正の調整値は一度クリア (工場出荷時に戻す) され、あらためて自動的に台形歪みを補正しなおします。本機の傾きが前回と同じであれば、台形補正の調整値は保持されます。(▶ 110ページ)
- オンスクリーンメニューの [台形補正] が「手動」の場合は、手順**2**において、投写画面の範囲内にスクリーンの外枠がすべて含まれるように、本機の設置位置を調整してください。
- 台形歪みの調整値をクリアする場合は、(3D REFORM) ボタンを2秒以上押してください。
- [台形補正] 画面が表示されているときに (3D REFORM) ボタンを押すと、[4点補正] 画面に切り替わります。また、[4点補正] 画面が表示されているときに (3D REFORM) ボタンを押すと、メニューが消えます。[4点補正] 画面の操作については、「4-8. 台形歪みを調整する (4点補正)」(▶ 62ページ) をご覧ください。
- [台形補正] 画面で調整していると、[4点補正] 画面は表示されません。[4点補正] を行う場合は、(3D REFORM) ボタンを2秒以上押して [台形補正] の調整値をクリアしてください。また、[4点補正] 画面で調整していると、[台形補正] 画面は灰色表示になり調整できません。[台形補正] を行う場合は、(3D REFORM) ボタンを2秒以上押して [4点補正] の調整値をクリアしてください。
- [台形補正] は電氣的な補正を行っているため、細かい文字が見えにくくなる場合があります。

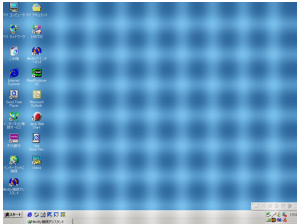
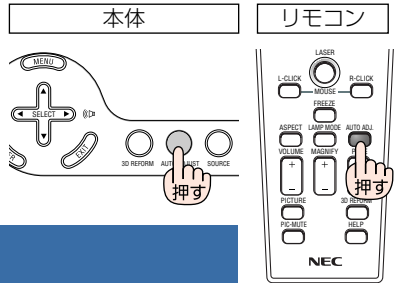
3-6. 映像を自動調整する

パソコンの画面を投写している場合、投写画面の端が切れていたり、映りが悪いときに、ワンタッチで画質を調整します。

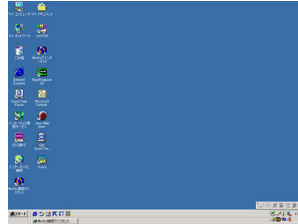
1 (AUTO ADJUST) ボタンを押す。

[砂時計] アイコンが表示され、しばらくすると投写画面の表示が自動調整されます。

- ・リモコンで操作する場合は、(AUTO ADJ.) ボタンを押します。



【映りが悪い画面の例】



【自動調整後の画面の例】

参考

- 自動調整を行っても表示位置がずれていたり、画面に縦縞が出たりして映りが悪い場合は、手動で画面の調整を行ってください。(▶ 104ページ)
- パソコンの画面がうまく投写できない場合は、144ページを参照してください。LT380Jのコンピュータ3入力映像端子 (COMPUTER 3 IN) からの入力信号は、RGBデジタルのため動きません。

3-7. 本機の音量を調整する

本機の内蔵スピーカの音量、および音声出力端子 (AUDIO OUT) から出力されている音声信号の音量を調整します。

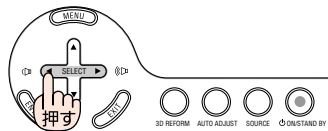
本体の操作ボタンで調整する

- 1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに、**(SELECT ◀▶)** ボタンを押す。

調整バーが表示されます。

◀側…音量が大きくなります。

▶側…音量が小さくなります。

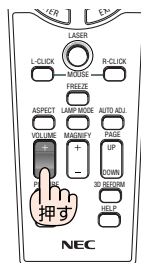


リモコンを使って調整する

- 1 リモコンの**(VOLUME +/-)** ボタンを押す。

+側…音量が大きくなります。

-側…音量が小さくなります。



参考

- 工場出荷時、音量は18に設定されています。

3-8. レーザーポインタを使う

レーザーポインタ機能を使って、効果的なプレゼンテーションが行えます。リモコンの先端からレーザー光（赤い光）を出し、説明したいところをピンポイントで指すことができます。



警告

レーザーポインタのレーザー光源をのぞかない

次の事項をお守りください。レーザー光が目にあると視力低下・視覚障害の原因となります。

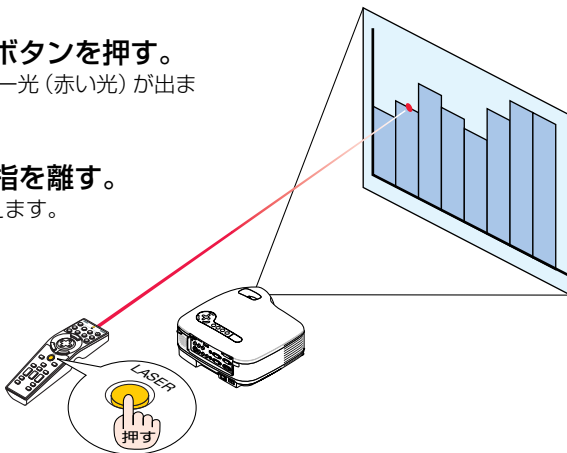
- ・レーザーポインタのレーザー光源をのぞき込まない。
- ・レーザー光を人に向けない。
- ・子供には使用させない。

1 リモコンの (LASER) ボタンを押す。

リモコンの先端からレーザー光（赤い光）が出ます。

2 (LASER) ボタンから指を離す。

レーザー光（赤い光）が消えます。



参考

- リモコン底面に次の内容が記載されています。

クラス2レーザー製品 最大出力：1.0mW

波長：650nm

JIS C 6802:1998

製造者：F & T



JQA

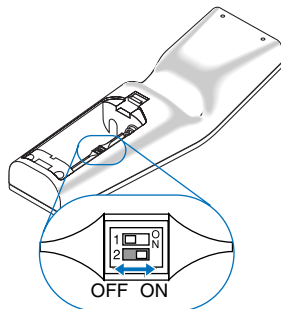
- レーザーの発光を禁止する場合は、電池ケースの中にあるレーザー光の有効／禁止スイッチを操作してください。

必要に応じて「スイッチ2」を細いボールペンの先などを使って設定してください。工場出荷状態は「有効」に設定されています。お子様が使用できる環境に置かれる場合は「禁止」に設定してください。

なお、「スイッチ1」は本機では使用していません。

ON側… 有効（LASER ボタンを押すとレーザーが発光します。）【工場出荷状態】

OFF側… 禁止（LASER ボタンを押してもレーザーは発光しません。）

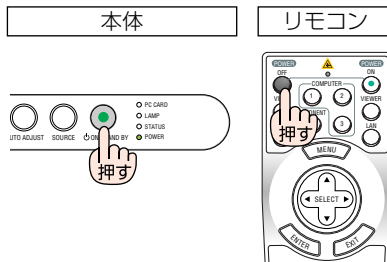


3-9. 本機の電源を切る

1 POWER (ON/STAND BY) ボタンを押す。

画面に確認メッセージが表示されます。

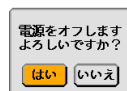
- ・リモコンで操作する場合は、POWER (OFF) ボタンを押します。



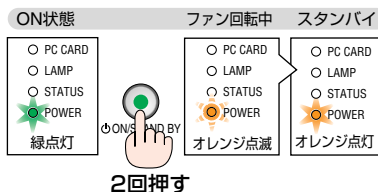
2 (ENTER) ボタンを押す。

電源が切れPOWERインジケータがオレンジ色に変わります (スタンバイ状態)。

- ・(ENTER) ボタンの代わりに、POWER (ON/STAND BY) ボタンまたはPOWER (OFF) ボタンを押しても、電源が切れます。
- ・電源を切らない場合は、(SELECT ◀▶) ボタンで「いいえ」を選んで(ENTER) ボタンを押します。

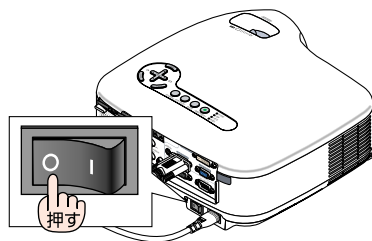


- 注意**
- 電源を入れた直後のランプの点灯準備中、およびその後のPOWERインジケータ点滅中 (約1分間) は電源を切ることができません。



3 主電源スイッチを「○ (切)」にする。

本機のPOWERインジケータが消え、主電源が切れます。



- 注意**
- 次のような場合は、主電源スイッチを切ったり電源プラグをコンセントから抜かないでください。
機器が故障するおそれがあります。
 - ・ランプの点灯中
 - ・電源を切ったあとのファンの回転中 (ファンは約30秒間回転します)
 - ・PCカードアクセスインジケータ、またはUSBメモリのアクセスインジケータが点灯しているとき (ビューワ使用中)
フラッシュメモ리카ード、またはUSBメモリが壊れるおそれがあります。

3-10. あとかたづけ

準備：本機の主電源スイッチが「○ (切)」になっていることを確認してください。

- 1 電源コードを取り外す。
- 2 各種信号ケーブルを取り外す。
- 3 チルトフットを伸ばしていたら、もとに戻す。
- 4 レンズにレンズキャップを取り付ける。
- 5 本機、および添付品を、ソフトケースに収納する。

注意

- 本機をソフトケースに収納するときは、次の点にご注意ください。
 - ・チルトフットを縮めてください。チルトフットが伸びた状態で収納すると、故障の原因となります。

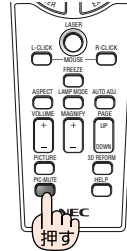
4. 便利な機能

4-1. 映像と音声を消去する

1 リモコンの (PIC-MUTE) ボタンを押す。

投写されている画像と、内蔵スピーカおよび音声出力端子 (AUDIO OUT) から出力されている音声が一時的に消えます。

- もう一度 (PIC-MUTE) ボタンを押すと、画像と音声が出ます。



参考

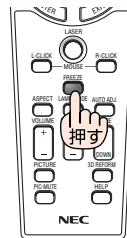
- 画像は消えますが、メニュー表示は消えません。

4-2. 動画を静止画にする

1 リモコンの (FREEZE) ボタンを押す。

ビデオの映像を投写しているときなど、動画が静止画になります。

- もう一度 (FREEZE) ボタンを押すと、動画に戻ります。



参考

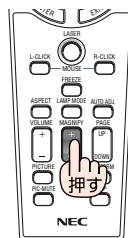
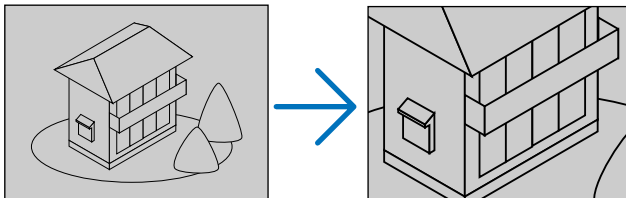
- (FREEZE) ボタンを押すと、押すときに投写されていた画像を静止画メモリに保存し、静止画メモリ内の画像 (静止画) を映します。静止画表示中、ビデオなどの映像再生は先に進行しています。

4-3. 映像を拡大する

1 リモコンの (MAGNIFY+) ボタンを押す。

押すごとに画像が拡大します。

- ・最大4倍まで拡大できます。



2 (SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押す。

拡大した画像の表示領域が移動します。

3 (MAGNIFY-) ボタンを押す。

押すごとに画像が縮小します。

- ・もとのサイズに戻ると、それ以上押しでも縮小されません。

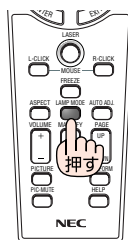
参考

- 拡大および縮小は、画面を中心にして拡大および縮小します。

4-4. ランプモードを切り替える

1 リモコンの (LAMP MODE) ボタンを押す。

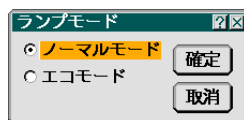
ランプモード選択画面が表示されます。



2 (SELECT ▼/▲) ボタンでランプモードを選択し、(ENTER) ボタンを押す。

ランプモードが切り替わります。

- ・ランプモードをもとに戻す場合は、手順 **1 2** を繰り返します。

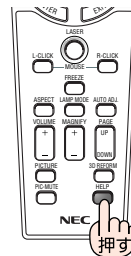


ノーマルモード	ランプの輝度が100%になります。明るい画面になります。
エコモード	ランプの輝度が約80%になります。ランプ交換時間(目安)*が延びます。 ランプの輝度がさがるのと連動し、冷却ファンの回転数もさがりません。

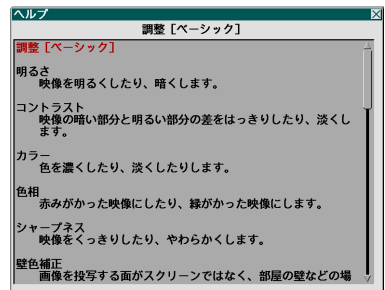
※保証時間ではありません。

4-5. 本機の操作説明を投写する

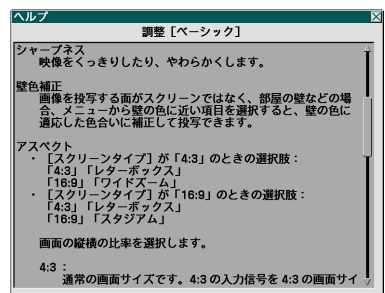
1 リモコンの (HELP) ボタンを押す。



- ・メニューが表示されていないときは、「ヘルプの使いかた」画面が表示されます。
- ・メニューが表示されているときは、カーソルが合っている機能の説明画面が表示されます。



2 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して、説明画面をスクロールする。



3 (EXIT) ボタンを押す。 ヘルプ画面が閉じます。

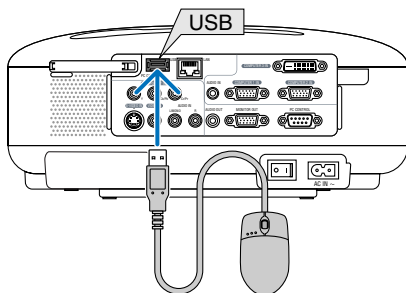
4-6. 市販のUSBマウスを使って操作する

市販のUSBマウスを本機に接続すると、USBマウスを使って、オンスクリーンメニューなどを操作することができます。

USBマウスの接続

1 USBマウスの平形プラグを、本機のUSBポートに差し込む。

- USBマウスを接続すると、画面にマウスポインタが表示されます。
- 約10秒間マウス操作を行わないと、マウスポインタは消えます。
- 再びマウス操作を行うと、マウスポインタが表示されます。



USBマウスでの操作

1 USBマウスで左クリックする。

オンスクリーンメニューが表示されます。

- オンスクリーンメニューが表示されているときに、メニュー画面以外のところをクリックすると、メニューが消えます。



2 選択したい項目にマウスポインタを移動し、左クリックする。

項目が選択されます。

【操作例】



- 調整は [◀] [▶] を左クリックします。
調整バーをクリックしたまま、左右にドラッグ (移動) して調整することもできます。
- 調整を確定する場合は、[X] を左クリックします。
- [?] を左クリックすると、その項目の [ヘルプ] を表示します。
- メニュー画面 (調整ウインドウ) のタイトルバー部分を左クリックしたままドラッグすると、メニュー画面の表示位置を移動できます。

注意

- USBマウスによっては、本機で使用できないものがあります。
使用可能なUSBマウスについては、当社ホームページ (http://www.nec-display.com/support/projector/move_check.html) をご覧ください。
- USBマウスの平形プラグを誤ってLANポート (LAN) に挿入しないように注意してください。LANポートのコネクタが破損することがあります。

参考

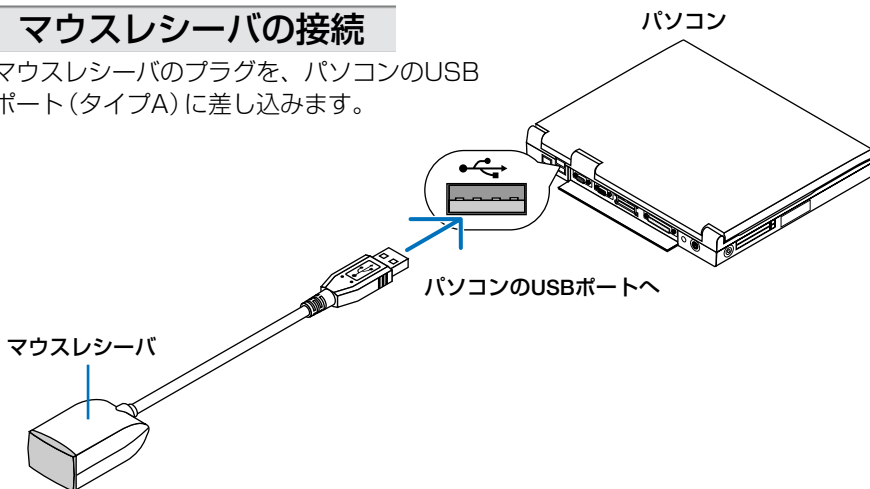
- マウスポインタの形状（デザイン）は変更することができます。 オンスクリーンメニューの [セットアップ] → [ツール] の [マウス設定] ([▶ 129ページ](#)) で選択します。
- “スクロールボタン” または “スクロールホイール” 付きのUSBマウスの場合は、次の操作が行えます。
 - ・ [ヘルプ] などスクロールバーが表示されているメニュー上で、“スクロールボタン” または “スクロールホイール” を使ってスクロールすることができます。
 - ・ 各種調整メニュー上で、“スクロールボタン” または “スクロールホイール” を使って調整バーを動かすことができます。
 - ・ メニュー表示以外の部分にマウスポインタを動かして “スクロールボタン” または “スクロールホイール” をクリックすると、チョークボードツールバーの表示／消去ができます。

4-7. 本機のリモコンでパソコンのマウス操作を行う

マウスレシーバをパソコンに接続すると、本機のリモコンでパソコンのマウス操作を行うことができます。

マウスレシーバの接続

マウスレシーバのプラグを、パソコンのUSBポート（タイプA）に差し込みます。



注意

- マウスレシーバは、次のOSにおいて使用できます。
 - Windows XP/Windows 2000/Windows Me/Windows 98
 - Mac OS X10.0.0以降また、Windows XPのSP2より前のバージョンで使用する場合は、「マウスのプロパティ」内の「ポインタオプション」タブの「ポインタの精度を高める」のチェックボックスをオフに設定してください。
- パソコンのUSBポートからマウスレシーバのプラグを抜いて、再び差し込む場合は、抜いたあと5秒以上おいてから差し込んでください。瞬間的なプラグの抜き差しを行うと、パソコンが本機を正しく認識できないことがあります。

リモコンを使ったパソコンのマウス操作

リモコンで以下のマウス操作ができます。

- (PAGE UP/DOWN) ボタン …画面を上下にスクロールしたり、PowerPointの画面を切り替えます。
- (SELECT ▼▲◀▶) ボタン……マウスポインタを移動します。
- (L-CLICK) ボタン……………マウスの左クリックの働きをします。
- (R-CLICK) ボタン ……………マウスの右クリックの働きをします。

注意

- 本機のオンスクリーンメニューを表示しているときに (SELECT ▼▲◀▶) ボタンでパソコンのマウス操作を行うと、メニューとマウスポインタの両方が動作します。オンスクリーンメニューを消した状態でマウス操作を行ってください。

参考

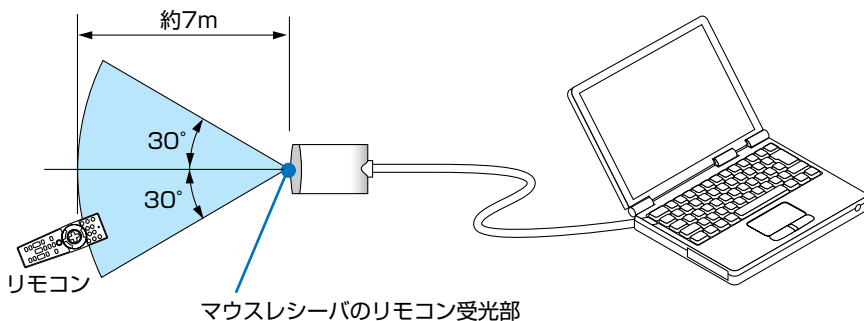
- マウスポインタの動く速さは、Windowsの「マウスのプロパティ」で調節することができます。詳しくは、パソコンのオンラインヘルプが取扱説明書をご覧ください。
- 本機のリモコンでドラッグ・アンド・ドロップを行えます。
 - ① マウスポインタでアイコンを選択する。
 - ② (L-CLICK) (または (R-CLICK)) ボタンを2秒以上押し続けて離す。ドラッグモードになります。
 - ③ (SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押す。選択したアイコンが移動します。
 - ④ (L-CLICK) (または (R-CLICK)) ボタンを押す。アイコンがドラッグ・アンド・ドロップされます。
 - ・ドラッグモードを解除するには、(R-CLICK) (または (L-CLICK)) ボタンを押します。

4

便利な機能

リモコンの有効範囲

リモコン送信部をマウスレシーバのリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコン信号が受信できます。



4-8. 台形歪みを調整する(4点補正)

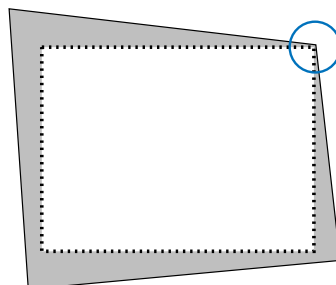
[4点補正] 画面を表示して、投写画面の台形歪みを調整します。

1 **(3D REFORM)** ボタンを2秒以上押す。

[台形補正] または [4点補正] の調整値がクリアされます。

2 スクリーンがすべて含まれるように、投写画面の範囲を調整する。

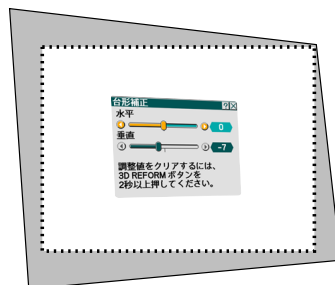
3 スクリーンと投写画面の角を合わせる(図は右上の角)。



4 **(3D REFORM)** ボタンを押す。

[台形補正] 画面が表示されます。

・ [台形補正] 画面の操作については、「3-5. 台形歪みを調整する」(49ページ)をご覧ください。



5 もう一度 **(3D REFORM)** ボタンを押す。

[4点補正] 画面に切り替わります。

注意

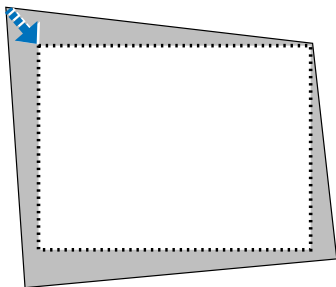
- すでに [台形補正] 画面で調整していると、[4点補正] 画面は表示されません。表示されない場合は、**(3D REFORM)** ボタンを2秒以上押して [台形補正] の調整値をクリアしてください。



6 **(SELECT ▼▲▶◀)** ボタンを押して、画面の外枠を動かしたい角の「▲」を選ぶ(図は左上の▼)。

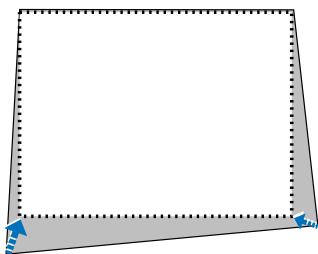
7 **(ENTER)** ボタンを押す。

8 **(SELECT ▼▲◀▶)** ボタンを押して、投写画面の角がスクリーンの角に近づくように動かす。



9 **(ENTER)** ボタンを押す。

10 **(SELECT ▼▲◀▶)** ボタンを押して、別の角の「▲」を選ぶ。

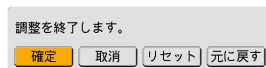


11 手順 **7** ~ **10** を繰り返し、台形歪みを調整する。



12 台形歪みの調整が終わったら、[4点補正] 画面で [終了] を選んで、**(ENTER)** ボタンを押す。

調整終了画面が表示されます。



13 **(SELECT ◀▶)** ボタンを押して [確定] にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。

4点補正の調整が確定されます。

- ・ [取消] を選択して **(ENTER)** ボタンを押すと、[4点補正] 画面に戻ります。

注意

- 本機の電源を入れたとき、本機の傾きを変えても前回使用時の台形補正の調整値を保持しています。前回使用時から本機の傾きが変わっているとき、自動的に台形歪みを補正するには、オンスクリーンメニューの [台形補正] を「自動判別」に設定してください。[自動判別] に設定すると、前回使用時の台形補正の調整値は一度クリア (工場出荷時に戻す) され、あらためて自動的に台形歪みを補正しなおします。本機の傾きが前回と同じであれば、台形補正の調整値は保持されます。(**110** ページ)
- 台形歪みの調整値をクリアする場合は、手順 **13** で [リセット] を選び、**(ENTER)** ボタンを押します。または、[4点補正] 画面で **(3D REFORM)** ボタンを2秒以上押します。
- [4点補正] は電気的な補正を行っているため、細かい文字が見えにくくなる場合があります。

参考

- 市販のUSBマウスを本機に接続すると、[4点補正]をUSBマウスで操作することができます。その場合、「4点補正」画面は表示されません。左クリックで4つの角の位置合わせを行い、右クリックで調整終了画面を表示します。USBマウスの接続については59ページをご覧ください。
- 4点補正および台形補正での調整範囲は次の通りです。

	水平方向	垂直方向
4点補正	最大 土約35度	最大 土約40度
台形補正	最大 土約27度	

※ 上記の最大調整範囲の条件（以下のすべてを満たす場合）

- ズームレバーをワイド側に最大にした場合。
- 入力信号がXGA信号の場合。
本機の表示画素数より上の解像度の信号を入力した場合は調整範囲が狭くなります。
- メニュー項目を次のように設定した場合。
[アスペクト][4 : 3]
[スクリーンタイプ] (スクリーン設定)[4 : 3]
上記以外の設定では調整範囲は狭くなります。
- 水平・垂直を各々単独で調整した場合。
水平・垂直を組み合わせて調整すると、調整範囲は狭くなります。

4-9. 投写画面に文字や図形を描く(チョークボード)

市販のUSBマウスを本機に接続すると、あたかも“ホワイトボードに図形を描く”ように、投写画面にフリーハンド(自由曲線)の図形を描くことができます。この機能を「チョークボード」と言います。

- 本体の(SOURCE) ボタンやリモコンの入力選択ボタンで入力信号が切り替えられたときは、チョークボードは終了します。

チョークボード画面を表示する

重要

- USBマウスに“スクロールボタン”または“スクロールホイール”が付いていない場合は、オンスクリーンメニューの[セットアップ]→[ツール]→[チョークボード]を選択してください。

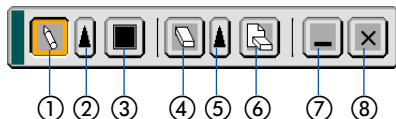
準備：本機に市販のUSBマウスを接続してください。(👉 59ページ)

1 USBマウスの“スクロールボタン”または“スクロールホイール”をクリックする。

画面の右下にチョークボードツールバーが表示されません。



チョークボードツールバー (各アイコンの働き)



- ① **ペン** 左クリックすると、マウスポインタがペンポインタに変わり、描画モードになります。
- ② **ペンの太さ** 左クリックして、ペンの太さを選択します。
- ③ **カラー** 左クリックして、ペンの色を選択します。
- ④ **消しゴム** 左クリックすると、マウスポインタが消しゴムポインタに変わり、消去モードになります。
- ⑤ **消しゴムの太さ** 左クリックして、消しゴムの太さを選択します。
- ⑥ **クリア** 左クリックすると、描画した絵柄がすべて消去されます。
- ⑦ **非表示** 左クリックすると、一時的にチョークボードツールバーを消します。画面上で右クリックすると、チョークボードツールバーが表示／非表示されます。
- ⑧ **終了** 左クリックすると、チョークボードを終了します。画面上に描画した絵柄は消えます。

線を引く

- 1** [ペンの太さ] アイコンを左クリックして、ペンの太さを左クリックで選択する。
- 2** [カラー] アイコンを左クリックして、線の色を左クリックで選択する。
- 3** [ペン] アイコンを左クリックする。
マウスポインタをチョークボードツールバーから離すと、マウスポインタがペンポインタに変わります。
- 4** 左クリックしたままマウスを移動する。
マウスの軌跡通りに線が描かれます。

線を消す

- 1 [消しゴムの太さ] アイコンを左クリックして、消しゴムの大きさを左クリックで選択する。
- 2 [消しゴム] アイコンを左クリックする。
マウスポインタをチョークボードツールバーから離すと、マウスポインタが消しゴムポインタに変わります。
- 3 左クリックしたままマウスを移動する。
マウスの軌跡通りに線が消えます。

画面全体を消去する

- 1 [クリア] アイコンを左クリックする。
描画した絵柄が消去されます。

チョークボードを終了する

- 1 [終了] アイコンを左クリックする。
チョークボード画面が閉じます。

参考

- USBマウスの“スクロールボタン”または“スクロールホイール”をクリックしても、チョークボードを終了できます。

4-10. セキュリティを設定して無断使用を防止する

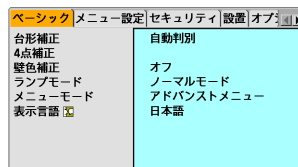
キーワードを設定することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

キーワードを入力し、セキュリティをオンにする

- 1 (MENU) ボタンを押す。
オンスクリーンメニューが表示されます。

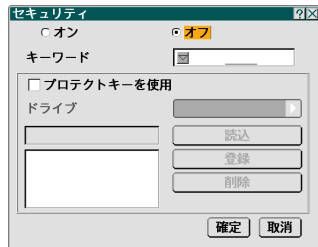


- 2 (SELECT ▶) ボタンを押して [セットアップ] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
[ベーシック] にカーソルが移動します。

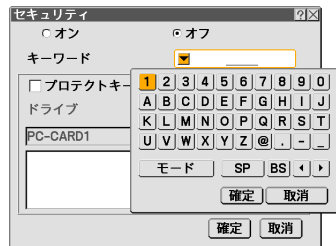


- 3 (SELECT ▶) ボタンを2回押して [セキュリティ] にカーソルを合わせる。

- 4 (SELECT ▼) ボタンを押して [セキュリティ] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
セキュリティ画面が表示されます。



- 5 (SELECT ▼) ボタンを1回押して [キーワード] 入力欄にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
文字入力画面が表示されます。



ここでは例として「1234」と入力してみます。

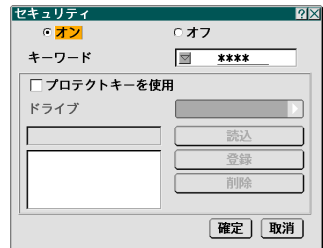


- キーワードは、忘れないようにメモしておいてください。
- キーワードにスペース (SP) を含めることはできません。

- ① [1]にカーソルが合っていることを確認し、(ENTER) ボタンを押す。
[キーワード] 入力欄に「*」と表示されます。
- ② (SELECT▶) ボタンを1回押して、[2] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
[キーワード] 入力欄の表示が「**」に変わります。
- ③ 手順②と同様に [3] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
[キーワード] 入力欄の表示が「***」に変わります。
- ④ 手順②と同様に [4] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
[キーワード] 入力欄の表示が「****」に変わります。
- ⑤ (SELECT▼) ボタンを押して [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
文字入力画面が消えます。

6 (SELECT▲) ボタンを1回押して「オフ」にカーソルを合わせ、(SELECT◀) ボタンを押す。

「オン」にカーソルが合います。



7 (SELECT▼) ボタンを押して [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

確認画面が表示されます。

8 メッセージを確認し、(SELECT◀/▶) ボタンで [はい] にカーソルを合わせ (ENTER) ボタンを押す。

[セキュリティ] が設定されました。

参考

- フラッシュメモリカードやUSBメモリをプロテクトキーとして登録することができます。(▶ 80ページ)
フラッシュメモリカードまたはUSBメモリをプロテクトキーとして登録しておく、本機の電源を入れる際に、そのフラッシュメモリカードまたはUSBメモリを挿入することによりキーワード入力操作を省略できます。(▶ 114ページ)

セキュリティを確認する

本機の電源をいったん切り、再び電源を入れてセキュリティの設定を確認します。

1 本機の電源を切るために、POWER (ON/STAND BY) ボタンを2回押す。

ランプが消灯し、POWERインジケータがオレンジ色で点滅します。

POWERインジケータがオレンジ色の点滅から点灯に変わるまで、しばらく待ちます。

2 POWERインジケータがオレンジ色の点灯に変わったら、主電源スイッチを「○(切)」にする。

本機の電源が切れます。

3 再度主電源スイッチを「I(入)」にする。

POWERインジケータがオレンジ色で点灯し、スタンバイ状態になります。

4 POWER (ON/STAND BY) ボタンを2秒以上押す。

本機の電源が入ります。

投写画面の下部に「セキュリティロック中です。キーワードを入力してください。」と表示されます。

5 (MENU) ボタンを押す。

キーワード入力画面が表示されます。

6 (ENTER) ボタンを押す。

文字入力画面が表示されます。

7 68ページの手順①～⑤を参照し、「1234」と入力する。

1文字入力するごとに「*」が表示されます。キーワード入力欄に実際の文字は表示されません。

8 文字入力が終わったら、キーワード入力画面で【確定】にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

キーワード入力画面が消え、本機が使用できるようになります。



セキュリティの設定をオフにする

1 (MENU) ボタンを押す。

オンスクリーンメニューが表示されます。



.....

- 本機の電源を入れた直後など、投写画面の下部に「セキュリティロック中です。」と表示されているときに (MENU) ボタンを押すと、キーワード入力画面が表示されます。

そのときは、もう一度 (MENU) ボタンを押すと、オンスクリーンメニューが表示されます。

.....

2 (SELECT ▶) ボタンを押して [セットアップ] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

[ベーシック] にカーソルが移動します。

3 (SELECT ▶) ボタンを2回押して、[セキュリティ] にカーソルを合わせる。

4 (SELECT ▼) ボタンを押して [セキュリティ] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

キーワード入力画面が表示されます。



5 (ENTER) ボタンを押す。

文字入力画面が表示されます。

6 68ページの手順①～⑤を参照し、「1234」と入力する。

1文字入力することに「*」が表示されます。キーワード入力欄に実際の文字は表示されません。

7 文字入力が終わったら、キーワード入力画面で [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

キーワード入力画面が消え、セキュリティ画面が表示されます。

8 [オン]にカーソルが合っていることを確認し、**(SELECT▶)** ボタンを押して [オフ]にカーソルを合わせる。

9 **(SELECT▼)** ボタンを押して [確定]にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。

[セキュリティ]が無効に設定されました。

注意

- キーワードを忘れてしまいセキュリティを解除できなくなった場合は、お客様お問い合わせ窓口 (NECプロジェクター・カスタマサポートセンター [▶ 裏表紙](#))にご連絡ください。

4-11. HTTPを使用したブラウザによる操作

概要

HTTPサーバ機能を使用することにより、Webブラウザから本機を操作することができます。なお、Webブラウザは「Microsoft Internet Explorer 4.x」以上を必ず使用してください。

本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能な設定をブラウザに対して行ってください。設定方法はバージョンにより異なりますので、それぞれのソフトにあるヘルプなどの説明を参照してください。

HTTPサーバ機能へのアクセスは、本機とネットワークで接続されたパソコンでWebブラウザを起動し、アドレスまたはURLの入力欄へ
http://〈本機のIPアドレス〉/index.html と指定することで行えます。

注意

- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
また続けてボタン操作を行うとプロジェクターが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作を行ってください。しばらく待っても応答がない場合は、本機の電源を入れなおしてください。
- HTTPサーバ機能と添付のUser Supportware 3 CD-ROMに収録されているPC Control Utility 3.0を同時に使用しないでください。接続できなかつたり、通信に時間がかかることがあります。

使用前の準備

ブラウザによる操作を行う前にあらかじめ本機に対して、ネットワークとの接続と設定を行ってください。(▶ 34ページ)

プロキシサーバの種類や設定方法によっては、プロキシサーバを経由したブラウザ操作ができないことがあります。プロキシサーバの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ブラウザから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。極力プロキシサーバは使用しないことを推奨します。

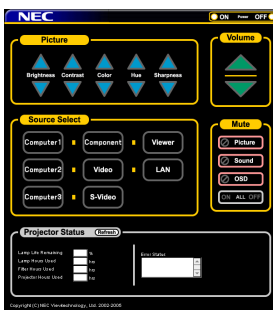
ブラウザによる操作のアドレスの扱い

ブラウザによる操作に際しアドレスまたはURL欄に入力する実際のアドレスについてネットワーク管理者によってドメインネームサーバへ本機のIPアドレスに対するホスト名が登録されている場合、もしくは使用しているコンピュータの「HOSTS」ファイルに本機のIPアドレスに対するホスト名が設定されている場合には、ホスト名がそのまま利用できます。

(例1) 本機のホスト名が「pj.nec.co.jp」と設定されている場合
 HTTPサーバ機能へのアクセスはアドレスまたはURLの入力欄へ
 http://pj.nec.co.jp/index.html と指定します。

(例2) 本機のIPアドレスが「192.168.73.1」の場合
 HTTPサーバ機能へのアクセスはアドレスまたはURLの入力欄へ
 http://192.168.73.1/index.html と指定します。

HTTPサーバの構成



Power	<p>本機の電源をオン/オフします。</p> <p>On 電源をオンにします。</p> <p>Off 電源をオフにします。</p>
Volume	<p>本機の音量をコントロールします。</p> <p>▲ 音量調整値をアップします。</p> <p>▼ 音量調整値をダウンします。</p>
Mute	<p>本機のMUTEをコントロールします。</p> <p>Picture <input checked="" type="checkbox"/> 映像をミュート（一時的に消去）します。</p> <p>Picture <input checked="" type="checkbox"/> 映像ミュートを解除します。</p> <p>Sound <input checked="" type="checkbox"/> 音声をミュート（一時的に消去）します。</p> <p>Sound <input checked="" type="checkbox"/> 音声ミュートを解除します。</p> <p>OSD <input checked="" type="checkbox"/> メニュー表示をミュート（一時的に消去）します。</p> <p>OSD <input checked="" type="checkbox"/> メニュー表示のミュートを解除します。</p> <p>ALL On 映像、音声、メニュー表示をすべてミュート（一時的に消去）します。</p> <p>ALL Off 映像、音声、メニュー表示のミュートをすべて解除します。</p>
Picture	<p>本機の映像調整をコントロールします。</p> <p>Brightness ▲ 明るさの調整値をアップします。</p> <p>Brightness ▼ 明るさの調整値をダウンします。</p> <p>Contrast ▲ コントラストの調整値をアップします。</p> <p>Contrast ▼ コントラストの調整値をダウンします。</p> <p>Color ▲ カラーの調整値をアップします。</p> <p>Color ▼ カラーの調整値をダウンします。</p> <p>Hue ▲ 色相の調整値をアップします。</p> <p>Hue ▼ 色相の調整値をダウンします。</p> <p>Sharpness ▲ シャープネスの調整値をアップします。</p> <p>Sharpness ▼ シャープネスの調整値をダウンします。</p>

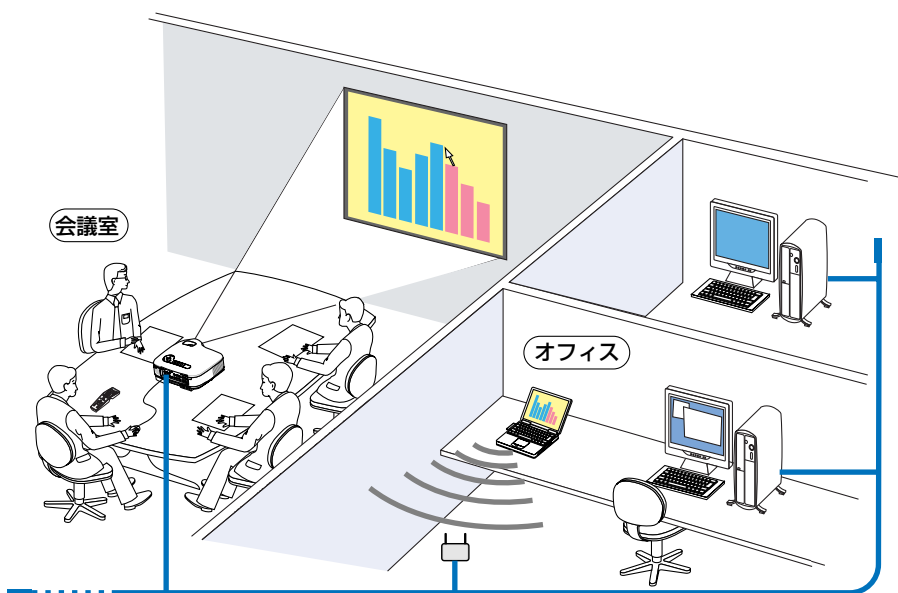
※ 本機に入力されている信号によって、コントロールできる機能が変わります。詳しくは「6-4 調整」
 (102ページ)をご覧ください。

Source Select	本機の入力端子を切り替えます。
Computer 1	コンピュータ1映像入力に切り替えます。
Computer 2	コンピュータ2映像入力に切り替えます。
Computer 3	コンピュータ3映像入力に切り替えます。(LT380Jのみ)
Component	コンポーネント映像入力に切り替えます。
Video	ビデオ映像入力に切り替えます。
S-Video	S-ビデオ映像入力に切り替えます。
Viewer	本機にセットしたフラッシュメモリカードおよびUSBメモリのデータ表示に切り替えます。
LAN	LANから送られてくるデータ表示に切り替えます。
Projector Status	本機の状態を表示します。
Refresh	状態表示を更新します。
Lamp Life Remaining	ランプの残り使用時間を%表示します。
Lamp Hours Used	ランプの使用時間を表示します。
Filter Hours Used	フィルタの使用時間を表示します。
Projector Hours Used	本機の使用時間を表示します。
Error Status	本機内部のエラー発生状況を表示します。

4-12. ネットワーク接続されたパソコンを本機を使って操作する (Desktop Control Utility 1.0)

添付のUser Supportware 3 CD-ROMに収録しているDesktop Control Utility 1.0をパソコンにインストールすると、ネットワークを介して、本機からそのパソコンを操作することができます。

たとえば、会議で発表するPowerPointファイルを事務所にあるパソコンに保存してあるとします。そこで会議の際に、事務所にあるパソコンと会議室にある本機がLANで接続されていれば、本機を操作することによって、事務所にあるパソコン（Windows 2000/XP）のデスクトップ画面を投写し、会議で発表するPowerPointファイルを表示することができます。つまり、事務所にあるパソコンを会議室へ持ち込む必要がありません。



4

便利な機能



- Desktop Control Utility 1.0では、離れた場所にあるパソコンをネットワーク経由で操作します。そのため、無断で第三者にパソコンの画面（重要な資料）を見られたり、ファイルをコピーされたり、パソコンの電源を切られたりしないように十分注意してください。

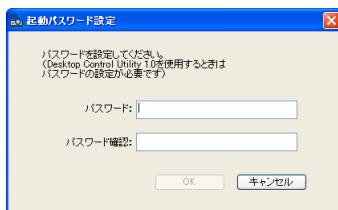
当社は、Desktop Control Utility 1.0使用中の機密漏洩、システム障害などに対して、いかなる責任も負いかねます。

- Windowsの[コントロールパネル] → [電源オプション]の設定で、[システム スタンバイ(T)]を「なし」に設定してください。Desktop Control Utility 1.0を使用中に、パソコンがスタンバイ状態になると、LANが切断されます。
- この操作を行うには、本機に市販のUSBマウスを接続しておく必要があります。

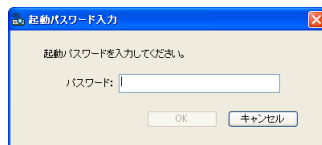
パソコン側の操作

- 1 パソコンをLANに接続し、必要な設定を行う。
- 2 パソコンにDesktop Control Utility 1.0をインストールする。
 - ・インストール操作については、添付の「ネットワーク設定ガイド」をご覧ください。
 - ・ソフトの操作方法については、Desktop Control Utility 1.0のヘルプをご覧ください。
- 3 会議で発表する資料を作成し、パソコンへ保存する。
- 4 Desktop Control Utility 1.0を起動する。
起動パスワード画面が表示されます。

はじめて起動したときの画面

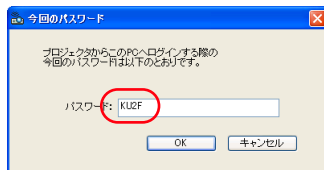


すでに起動パスワードを設定しているときの画面



- 起動パスワードは、Desktop Control Utility 1.0を起動するたびに入力が必要です。起動パスワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。
- 万一起動パスワードを忘れた場合は、Desktop Control Utility 1.0を再インストールしてください。

- 5 Desktop Control Utility 1.0の起動パスワードを入力し[OK]をクリックする。
今回のパスワード画面が表示されます。



- 6 パスワード欄に表示された文字列を紙にメモする。

- 7 [OK]をクリックする。
Desktop Control Utility 1.0がスタートします。

手順6でパスワードをメモした用紙を持って、本機が設置されている部屋へ移動してください。

本機側の操作 (パソコンと接続する)

1 本機のLANの設定を行う。

LANの設定は、オンスクリーンメニューの[セットアップ]→[設置]→[LANモード] (🔗 119ページ)で行います。

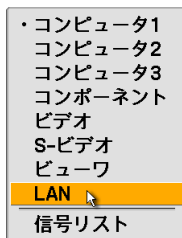
2 本機に市販のUSBマウスを接続する。 (🔗 59ページ)

3 USBマウスをクリックする。

オンスクリーンメニューが表示されます。

4 [入力端子] をクリックし、「LAN」をクリックする。

メッセージ画面が表示されます。
このメッセージは、Desktop Control用パスワードが登録されているときには表示されません。



5 メッセージに従って、プロジェクター本体またはリモコンの (MENU) ボタンを押す。

画面の左下に、接続バーが表示されます。

6 (パスワード入力アイコン) をクリックする。

パスワードの登録/削除画面が表示されます。



7 [登録] をクリックする。

パスワード入力画面が表示されます。



8 [] をクリックする。

文字入力画面が表示されます。(🔗 93ページ)

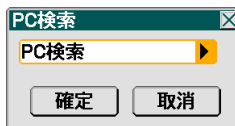
9 前記の「パソコン側の操作」の手順6においてメモしたパスワードを入力する。

10 パスワードを入力したら、パスワード入力画面の [確定] をクリックする。

パスワード入力画面が消えます。

11 (PC検索アイコン) をクリックする。

PC検索画面が表示されます。



12 [確定] をクリックする。

接続選択画面が表示されます。

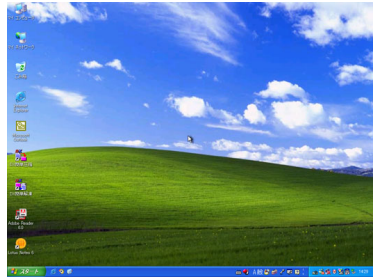
- PC検索で接続先が見つからなかった場合、または接続先のパソコンのIPアドレスを入力して検索する場合は、PC検索画面で [▶] をクリックし、「IPアドレス入力」をクリックして [確定] をクリックします。

13 接続先のパソコンをクリックし、[確定] をクリックする。

接続先のパソコンのデスクトップ画面が表示されます。

注意

- デスクトップ画面が表示されると、USBマウスをクリックしてもオンスクリーンメニューは表示されません。デスクトップ画面表示中にオンスクリーンメニューを表示する場合は、プロジェクター本体またはリモコンのボタンを押してください。

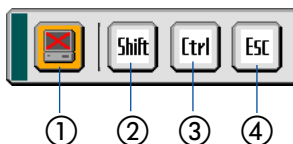






本機側の操作（デスクトップ画面を操作する）

本機に接続したUSBマウスを使って、表示されたデスクトップ画面を操作することができます。

デスクトップ画面を表示中に、プロジェクター本体またはリモコンの (MENU) ボタンを押すと、画面の左下に補助操作バーが表示されます。

補助操作バーの操作は、プロジェクター本体の操作ボタンまたはリモコンで操作してください。




- ①  (切断アイコン) ……パソコンとの通信を切断します。
- ②  (Shiftアイコン) ……カーソルを合わせ (ENTER) ボタンを押すと、シフトロックの状態になります。
もう1回カーソルを合わせ (ENTER) ボタンを押すと、シフトロックが解除されます。
- ③  (Ctrlアイコン) ……カーソルを合わせ (ENTER) ボタンを押すと、コントロールロックの状態になります。
もう1回カーソルを合わせ (ENTER) ボタンを押すと、コントロールロックが解除されます。
- ④  (Escアイコン) ……パソコンの [Esc] キーを押した動作になります。
たとえば、PowerPointのスライドショーを中止するときなどに使用します。

本機側の操作 (通信を切断する)


- 1 デスクトップ画面表示中に、プロジェクター本体またはリモコンの **(MENU)** ボタンを押す。

画面の左下に補助操作バーが表示されます。



- 2  (切断アイコン) にカーソルを合わせ **(ENTER)** ボタンを押す。

画面左下に接続バーが表示されます。

- 通信を再開する場合は、 (PC検索アイコン) をクリックする。



以降は前ページの手順12～の操作を行います。

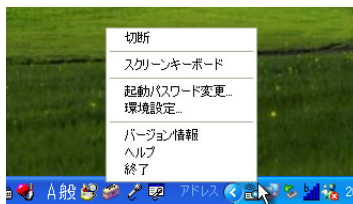
参考

- デスクトップ画面表示中に、タスクトレイのプロジェクターアイコンをクリックし、[切断] をクリックしても、通信を切断することができます。

本機側の操作 (Desktop Control Utility 1.0を終了する)

- 1 デスクトップ画面表示中に、タスクトレイのプロジェクターアイコンをクリックする。

ポップアップメニューが表示されます。



- 2 [終了] をクリックする。

Desktop Control Utility 1.0が終了します。

- 3 USBマウスを数回クリックする。

オンスクリーンメニューが表示されます。

- 4 [入力端子] をクリックし、「LAN」以外の端子をクリックする。

オンスクリーンメニューが消えます。

5. ビューワを使う

5-1. ビューワでできること

ビューワとは、本機のPCカードスロットにフラッシュメモリカードをセットしたり、本機のUSBポートにUSBメモリをセットして、フラッシュメモリカード内やUSBメモリ内のデータを投写する機能です。

ビューワには次のような特長があります。

- プレゼンテーションで使用する発表資料などを、あらかじめフラッシュメモリカードやUSBメモリに保存しておくこと、パソコンと本機を接続することなしに、発表資料をスクリーンに投写することができます。パソコンを持ち運ぶ必要がなく便利です。
- 本機を使って広告などを映す際、画像の自動切り替えができます。
- ビューワで表示している画像を本機のバックグラウンドロゴとして登録できます。
- デジタルカメラで撮影した画像などを投写できます（JPEG、BMP、PNG、GIF）。
- JPEG、BMP、PNG、GIF、Index*といった5種類のファイルを選択して投写できます。

* 添付のUser Supportware 3 CD-ROMに収録しているUlead Photo Explorer 8.0で作成したファイル形式。

注意

- フラッシュメモリカードやUSBメモリは、最寄りのパソコンショップなどでお買い求めください。
- 本機で使用できるフラッシュメモリカードは、PCMCIA-Type 2（ATA仕様）のフラッシュメモリカードです。
- コンパクトフラッシュ、SDカードなどをアダプタを用いて変換した場合、本機で使用できないことがあります。使用可能なカードやUSBメモリについては、当社ホームページ（http://www.nec-display.com/support/projector/move_check.html）をご覧ください。
- 本機は、NTFS形式でフォーマットされたフラッシュメモリカードやUSBメモリを認識できません。
本機にセットしたフラッシュメモリカードやUSBメモリが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。
本機のビューワやセキュリティで使用するフラッシュメモリカードやUSBメモリは、FAT32形式、FAT16形式またはFAT形式でフォーマットしてください。
フォーマット方法については、お使いのWindowsの取扱説明書またはヘルプファイルを参照してください。

5-2. フラッシュメモリカードやUSBメモリへデータを保存する

フラッシュメモリカードやUSBメモリにデータを保存するには、次の方法があります。

Ulead Photo Explorer 8.0 を使う

添付のUser Supportware 3 CD-ROMに収録しているUlead Photo Explorer 8.0をパソコンにインストールして、パソコンで作成したPowerPointファイルなどを、フラッシュメモリカードやUSBメモリに保存します。

Ulead Photo Explorer 8.0で作成したファイルは、Index形式になります。

Ulead Photo Explorer 8.0については、添付の「ネットワーク設定ガイド」およびUlead Photo Explorer 8.0のヘルプをご覧ください。

Windowsのエクスプローラなどを使って、ファイルをコピーする

ビューワを使って投写できるのは、JPEG、BMP、PNG、GIF、Indexなどの形式のファイルです。

5-3. フラッシュメモリカードやUSBメモリのデータを映す(ビューワ)

ビューワをスタートする

準備: 投写する画像を保存したフラッシュメモリカードを本機のPCカードスロットにセットしてください。USBメモリを使用する場合は、本機のUSBポート(タイプA)にセットしてください。

- 1 **(SOURCE)** ボタンを数回押して、「**ビューワ**」を選択する。(43ページ)
ビューワ画面が表示されます(本機の工場出荷状態は「スライド画面」が表示されます)。
 - ・ リモコンで操作する場合は、**(VIEWER)** ボタンを押してください。

ビューワ画面の操作

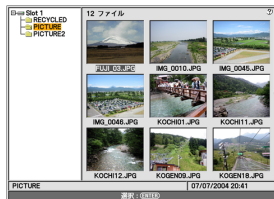
●スライド画面とサムネイル画面

- ビューワには「スライド画面」と「サムネイル画面」の2つの画面があります。

スライド画面



サムネイル画面

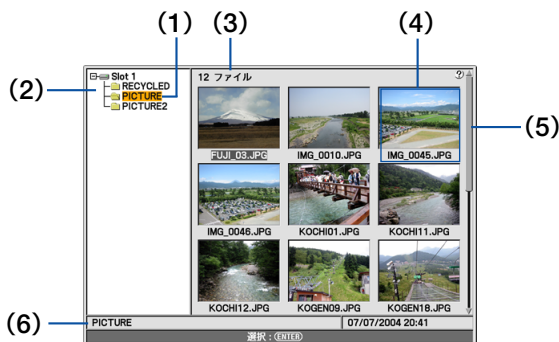


- 入力選択を[ビューワ]に切り替えた直後に「スライド画面」と「サムネイル画面」のどちらを表示するかは、ビューワメニューの[オプション]の[開始]で設定できます(本機の工場出荷状態は「スライド画面」に設定されています)。
- フラッシュメモリカードやUSBメモリ内にビューワで表示可能な画像ファイルがない場合は、サムネイル画面が表示されます。

●スライド画面をサムネイル画面に切り替える

- スライド画面からサムネイル画面に切り替えるには、スライド画面で**(MENU)** ボタンを押してビューワメニューを表示し、[サムネイル]にカーソルを合わせ**(ENTER)** ボタンを押します。

●サムネイル画面内の名称と操作



(1) カーソル

フォルダ名やファイル名がオレンジ色になっている部分をカーソルと呼びます。

(SELECT ▼▲▶◀) ボタン、(ENTER) ボタン、(EXIT) ボタンを押すとカーソルを移動できます。

(2) フォルダ一覧

- ・本機のPCカードスロットにセットしたフラッシュメモリーカード（「Slot 1」と表示されます）のフォルダ一覧を表示します。また、本機のUSBポートにUSBメモリをセットした場合は「USB1」と表示されます。
- ・(SELECT ▼▲▶◀) ボタンを押すと、フォルダ一覧内でカーソルが移動し、カーソルが合ったフォルダ内の画像ファイルが画面の右側にサムネイル表示されます。フォルダ一覧内をカーソルが移動するたびにサムネイル表示が切り替わります。
- ・各ボタンの動きは次の通りです。

(SELECT ▼/▲) ボタン	カーソルを上下のフォルダに移動できます。
(SELECT ▶) ボタン	下の階層のフォルダにカーソルが移動します。 [+]マークが付いたフォルダの場合、省略表示されている下の階層のフォルダが表示されます。そして[-]マークに変わります。
(SELECT ◀) ボタン	上の階層のフォルダにカーソルが移動します。 [-]マークが付いたフォルダの場合、下の階層のフォルダが省略されます。そして[+]マークに変わります。
(ENTER) ボタン	サムネイル／ファイル名にカーソルが移動します。
(MENU) ボタン	ビューワメニューを表示します。(▶ 85ページ)

(3) ファイル数

- ・フォルダ一覧で指定したフォルダ内において、ビューワで表示可能なファイル数を表示します。
- ・スライドとして認識するファイルの数は、1つのフォルダにつき約1000個までです。

(4) サムネイル／ファイル名

- ・フォルダ一覧で指定したフォルダ内の画像ファイルのイメージを縮小して表示します（サムネイル）。サムネイル／ファイル名は、1画面に9個まで表示できます。
- ・サムネイルの下にはファイル名が表示されます。ファイル名が長い場合は、途中までしか表示されません。

- ・ビューワメニューの[オプション]で、サムネイル表示を「オフ」(アイコン表示)にすると、画面の切り替えが早くなります。
- ・各ボタンの働きは次の通りです。

(SELECT ▼▲◀▶) ボタン	カーソルが上下左右のサムネイルに移動します。 ファイルが9個を超える場合、下段のサムネイルにカーソルがあるときに (SELECT ▼) ボタンを押すと次の画面に切り替わります。また、次の画面で上段のサムネイルにカーソルがあるときに (SELECT ▲) ボタンを押すと、前の画面に戻ります。 先頭の画面の上段のサムネイルにカーソルがあるときに (SELECT ▲) ボタンを押すと、最終画面に切り替わります。また、最終画面の下段のサムネイルにカーソルがあるときに (SELECT ▼) ボタンを押すと、先頭画面に切り替わります。
(ENTER) ボタン	カーソルが合っているサムネイルがスライド表示 (画面いっぱいには拡大表示) されます。
(EXIT) ボタン	フォルダ一覧にカーソルが移動します。
(MENU) ボタン	ビューワメニューを表示します。(▶次ページ)

(5) スクロールバー

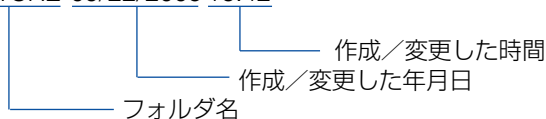
サムネイル表示が9個を超えると、画面の右側にスクロールバーが表示されます。

(6) 情報表示

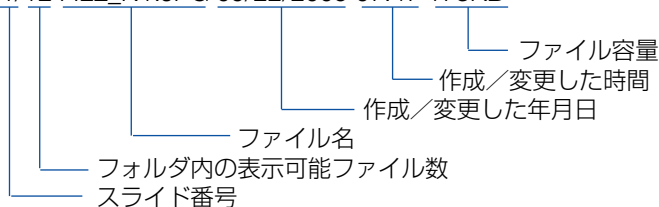
カーソルが合っているフォルダやファイルの情報を表示します。

【表示例】

フォルダの場合： PICTURE 09/22/2005 16:42



ファイルの場合： 1/12 FILE_N1.JPG 09/22/2005 07:47 173KB

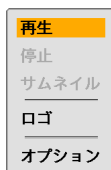


ビューワメニュー

1 スライド画面またはサムネイル画面で (MENU) ボタンを押す。

ビューワメニューが表示されます。

- 使用できない機能は灰色の文字で表示され選択できません。
- ビューワメニューを消す場合は (EXIT) ボタンを押します。



●スライドショーを開始する (再生)

- スライド画面に切り替え、ビューワメニューの [オプション] の設定に従ってスライドショーを開始します。
- [オプション] で「手動」を設定しているときは、(SELECT▶) ボタンを押して次のスライドを表示します。また、(SELECT◀) ボタンを押すと1画面前のスライドを表示します。
- [オプション] で「自動」を設定して再生したときに (SELECT◀▶) ボタンを押すと、自動再生は解除され手動再生になります。

●スライドショーを止める (停止)

- スライドショーを自動再生しているときに、スライドの切り替えを一時停止します。再開する場合は、ビューワメニューの [再生] にカーソルを合わせ (ENTER) ボタンを押します。

●スライド一覧画面を表示する (サムネイル)

- スライド画面をサムネイル画面に切り替えます。

●バックグラウンドロゴを登録する (ロゴ)

- カーソルが合っているファイル (画像) を、本機のバックグラウンドの絵柄として登録します。
- 画像ファイルの形式はJPEG、BMP、PNG、GIF のいずれかとし、ファイルサイズは256キロバイト以下にしてください。

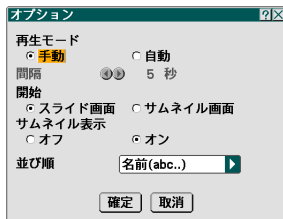
注意

- バックグラウンドロゴを変更すると、[リセット] を行っても工場出荷時のロゴ (NECロゴ) には戻りません。
バックグラウンドロゴを工場出荷時のNECロゴに戻すには、添付のUser Supportware 3 CD-ROMに収録されているNECロゴ (¥Logo¥nec_bb_x.jpg) をフラッシュメモリカードまたはUSBメモリにコピーしてください。そのフラッシュメモリカードまたはUSBメモリを本機のPCカードスロットにセットし、ビューワで「NEC_BB_X.JPG」を選択して、ビューワメニューの [ロゴ] で本機に登録しなおしてください。

参考

- バックグラウンドロゴにセキュリティを設定することができます。(▶113ページ)

●ビューワオプションを設定する（オプション）



再生モード

手動	ビューワメニューで [再生] を選択したあと、 (SELECT◀▶) ボタンを押してスライドを切り替えます。
自動	ビューワメニューで [再生] を選択すると、[間隔] で設定した時間ごとにスライドが自動的に切り替わります。

間隔

5~300秒	自動再生するときのスライドの切り替え間隔を設定します。
--------	-----------------------------

開始

スライド画面	信号選択で [ビューワ] に切り替えたときにスライド画面で表示します。
サムネイル画面	信号選択で [ビューワ] に切り替えたときにサムネイル画面で表示します。

サムネイル表示

オフ	サムネイル画面において、サムネイル表示をせずにアイコンで表示します。サムネイルを表示しないので、表示が早くなります。
オン	サムネイル画面において、サムネイル表示を行います。

並び順

スライド画面での画像の表示順、およびサムネイル画面での画像の並び順を変更します。名前(ファイル名)の昇順/降順、種類(拡張子)の昇順/降順、日付(ファイル作成日)の新/旧、サイズ(ファイル容量)の大/小で並び順を変更できます。

注意

- Ulead Photo Explorer 8.0の「ビューワ出力」機能およびViewer PPT Converter 3.0で作成したフォルダの [並び順] は変更できません。

ビューワを終了する

1 (SOURCE) ボタンを押して、[ビューワ] 以外の入力を選択する。

- リモコンで操作する場合は、(VIEWER) ボタン以外の (COMPUTER 1) ボタンや (VIDEO) ボタンを押してください。
- (MENU) ボタンを押してビューワメニューを表示し、もう一度 (MENU) ボタンを押すとオンスクリーンメニューが表示されます。オンスクリーンメニューの [入力端子] で、[ビューワ] 以外の入力を選択することによりビューワを終了することもできます。

6. オンスクリーンメニュー

6-1. オンスクリーンメニューの基本操作

オンスクリーンメニューの種類

本機で投写する画像の画質調整や、本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して行います。以降、「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

本機のメニューには「ベーシックメニュー」と「アドバンストメニュー」の2つがあります。

(1) アドバンストメニュー ……すべての項目を表示するメニューです。

(2) ベーシックメニュー ……基本的な項目に絞ったメニューです。

本機の工場出荷時は、「アドバンストメニュー」が表示されるように設定されています。

「アドバンストメニュー」と「ベーシックメニュー」の切り替えは、「メニューモード」(91ページ)で行います。

オンスクリーンメニュー画面の構成

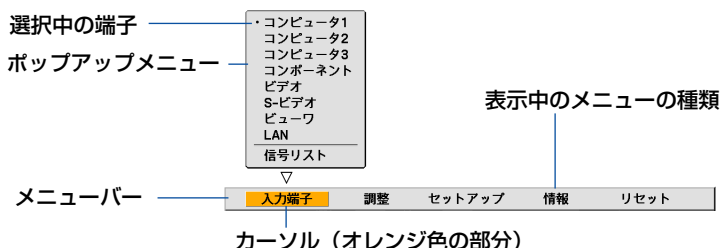
メニューを表示するには (MENU) ボタンを押します。また、メニューを消す場合は (EXIT) ボタンを押します。

ここでは、アドバンストメニューを操作しながら、メニュー画面の構成や各部の名称を説明します。

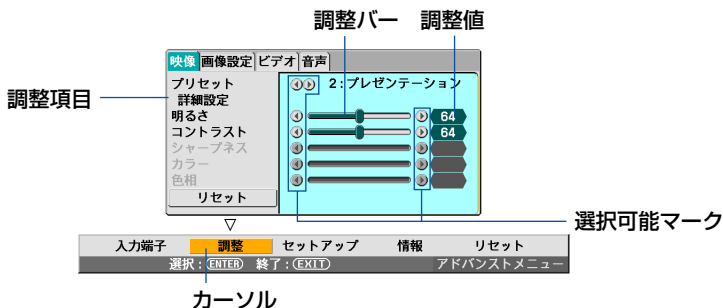
準備：本機の電源を入れて、スクリーンに画像を投写してください。

1 (MENU) ボタンを押す。

ご購入後、はじめて操作したときは [入力端子] のポップアップメニューが表示されます。



- 2 (SELECT▶) ボタンを1回押す。
カーソルが[調整]に移動し、[調整]のポップアップメニューが表示されます。

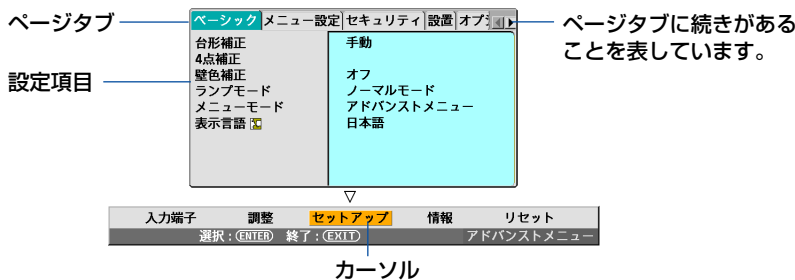


- 3 (SELECT▼/▲) ボタンを押す。
カーソルが上下に移動し、調整項目を選択することができます。
- 4 [明るさ]にカーソルを合わせ、(SELECT◀/▶) ボタンを押す。
画面の明るさが調整されます。

- ・「◀▶」(選択可能マーク)が付いている項目は (SELECT◀/▶) ボタンで設定を切り替えることができます。
- ・「◀▶」(選択可能マーク)が付いていない項目の設定を行う場合は、その項目にカーソルを合わせ (ENTER) ボタンを押します。
- ・ポップアップメニュー内の[リセット]にカーソルを合わせ (ENTER) ボタンを押すと、[映像]のすべての調整値を工場出荷状態に戻します。

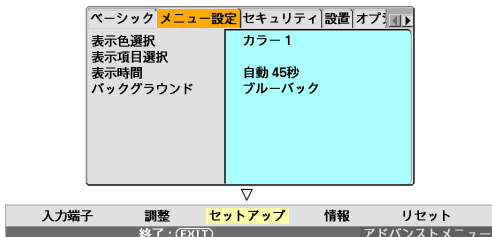
- 5 (EXIT) ボタンを1回押します。
カーソルがメニューバーの[調整]に移動します。

- 6 (SELECT▶) ボタンを1回押す。
カーソルが[セットアップ]に移動し、[セットアップ]のポップアップメニューが表示されます。

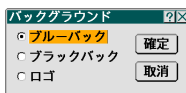


- 7 (ENTER) ボタンを押す。
[ベーシック]にカーソルが移動します。
- ・[セットアップ]には[ベーシック]、[メニュー設定]、[セキュリティ]、[設置]、[オプション]、[ツール]という6つのページがあり、ページタブを選択して切り替えます。

- 8 (SELECT▶) ボタンを1回押して [メニュー設定] にカーソルを合わせる。
[メニュー設定] ページの設定項目に切り替わります。



- 9 (SELECT▼) ボタンを4回押して [バックグラウンド] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
バックグラウンド選択画面が表示されます。
・「バックグラウンド」とは、無信号時に表示される画面のことです。



- 10 (SELECT▼/▲) ボタンを押して「ブルーバック」、「ブラックバック」、「ロゴ」のいずれかにカーソルを合わせる。

- 11 (SELECT▶) ボタンを押して [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
バックグラウンドが設定されます。
・ 選択したい項目 (ここでは「ブルーバック」、「ブラックバック」、「ロゴ」のいずれかに) カーソルが合っている状態で (ENTER) ボタンを押しても、項目を決定することができます。
・ 選択を取り消す場合は、[取消] にカーソルを合わせて (ENTER) ボタンを押すか、(EXIT) ボタンを押します。

- 12 (EXIT) ボタンを2回押す。
メニューが消えます。

注意 ● 入力信号や設定内容によっては、メニューの一部の情報が欠ける場合があります。

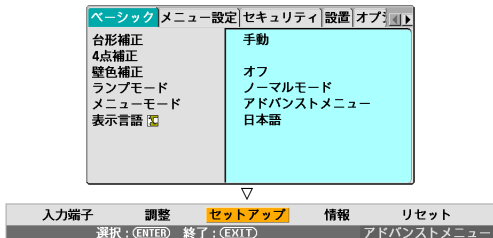
「アドバンスメニュー」と「ベーシックメニュー」の切り替え

アドバンスメニューからベーシックメニューへの切り替え（またはその逆）は、[メニューモード]で行います。

1 (MENU) ボタンを押す。

メニューが表示されます。

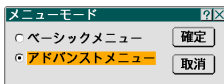
- ・メニューは、前回メニューを消したときのカーソルの位置を保持した状態で表示されます。ここでは[セットアップ]にカーソルが合った状態で表示されます。



2 (SELECT ▲) ボタンを2回押して [メニューモード] にカーソルを合わせる。

3 (ENTER) ボタンを押す。

メニューモード画面が表示されます。



4 (SELECT ▲) ボタンを1回押して、「ベーシックメニュー」にカーソルを合わせる。

5 (SELECT ►) ボタンを押して [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。 ベーシックメニューに切り替わります。



表示中のメニューの種類

6 (EXIT) ボタンを2回押す。

メニューが消えます。


- ・再びアドバンスメニューに戻す場合は、手順4で「アドバンスメニュー」を選択して (ENTER) ボタンを押します。

参考

- 「アドバンスメニュー」と「ベーシックメニュー」で表示される項目については、[95ページ](#)をご覧ください。

調整画面、設定画面の操作例

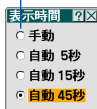
●ラジオボタンの選択



選択肢の中から1つ「」を選びます。

【例1】[表示時間]の選択

アドバンスメニューの[セットアップ] → [メニュー設定] → [表示時間]

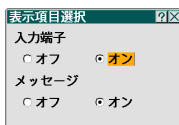
ラジオボタン





- 1 (SELECT ▼/▲) ボタンを押す。
選択されているマーク()が移動します。
- 2 選択する項目に「」を移動したら、(ENTER) ボタンを押す。

【例2】[表示項目選択]の選択

アドバンスメニューの[セットアップ] → [メニュー設定] → [表示項目選択]



- 1 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して、設定する項目にカーソルを合わせる。
この画面の場合は「入力端子」と「メッセージ」のどちらを設定するかを選びます。
- 2 (SELECT ◀▶) ボタンを押して、選択肢にカーソルを合わせる。
選択されているマーク()が移動します。
- 3 必要があれば手順1 2を繰り返す。
- 4 選択する項目に「」を移動したら、(ENTER) ボタンを押す。

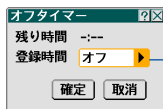
●プルダウンリストからの選択

リストの中から項目を選択します。

プルダウンリストには、項目名の右側に「▶」マークが付いています。

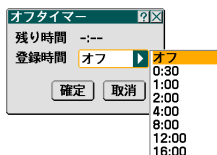
【例3】[オフタイマー]の選択

アドバンスメニューの[セットアップ] → [ツール] → [オフタイマー]

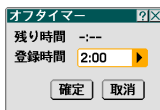


プルダウンリスト

- 1 選択する項目にカーソルを合わせ、(SELECT ▶) ボタンを押す。
プルダウンリストが表示されます。



- 2** (SELECT▼/▲) ボタンを押して項目にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
項目が選択されて、プルダウンリストが閉じます。
・再度プルダウンリストを表示する場合は、もう一度 (SELECT▶) ボタンを押してください。



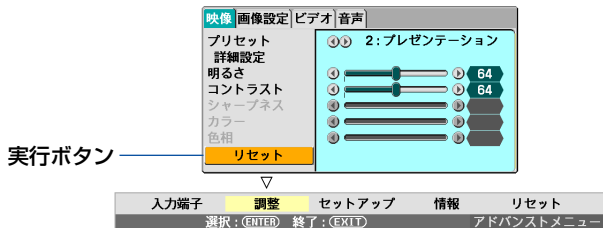
- 3** 項目を選択したら、(SELECT▼) ボタンを押して [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
選択した項目が決定されます。

●実行ボタン

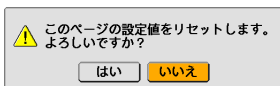
機能を実行します。

実行ボタンを選択して機能を実行すると、サブメニュー画面で (EXIT) ボタンを押しても実行を取り消すことができません。

【例4】【調整】の【リセット】



- 1** [リセット] (実行ボタン) にカーソルが合っていることを確認する。
2 (ENTER) ボタンを押す。
確認メッセージが表示されます。



- 3** 実行する場合は、(SELECT◀/▶) ボタンを押して [[はい]] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
機能が実行されます。
・機能を実行しない場合は、確認メッセージで [[いいえ]] を選択し、(ENTER) ボタンを押します。

●英数字の入力方法

[メニューロック] や [ロゴロック] および [セキュリティ] のキーワード入力などの項目には英数字を入力します。

- 1** 文字を入力する項目にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
文字入力画面が表示されます。
・USBマウスで操作している場合は、文字入力欄左側の▼を左クリックします。

【パスワード(ロゴ)のとき】



【セキュリティのとき】



2 (SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押して、文字などにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

文字が入力されます。

・文字以外の項目は、次のような働きをします。

- ・ [◀] [▶] ……英数字入力欄のカーソルを左右に移動します。
- ・ [モード] ……英大文字、英小文字、特殊文字の切り替えを行います。
- ・ [SP] ……スペースを入力します。
- ・ [BS] ……カーソルの左側にある1文字を消します。
- ・ [確定] ……入力した文字を確認して、文字入力画面を閉じます。
- ・ [取消] ……入力した文字を取り消して、文字入力画面を閉じます。

3 (SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押して、[確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

入力した文字が確定して、文字入力画面が閉じます。

6-2. オンスクリーンメニュー一覧

以下は、「アドバンストメニュー」の一覧です。「ベーシックメニュー」で表示される項目には「B」マークを付けています。

は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

メニューバー	ページタブ	ポップアップメニュー	サブメニュー-1	サブメニュー-2	参照ページ			
入力端子		コンピュータ1 B				98		
		コンピュータ2 B						
		コンピュータ3 B (LT280Jは表示されません。)						
		コンポーネント B						
		ビデオ B						
		S-ビデオ B						
		ビューワ B						
		LAN B						
調整	映像	信号リスト		呼出/登録/カット/コピー/貼付け/編集/全削除	99			
		プリセット		1.高輝度モード/2.プレゼンテーション/ 3.ビデオ/4.ムービー/5.グラフィック/6.sRGB		102		
		詳細設定	全般	参照	高輝度モード/プレゼンテーション/ ビデオ/ムービー/グラフィック/ sRGB		102	
				ガンマ補正	ダイナミック/ナチュラル/ ソフト			
				色温度	5000/6500/7800/8500/ 9300/10500			
			ホワイト バランス 色補正	明るさ赤/明るさ緑/明るさ青/ コントラスト赤/コントラスト緑/コントラスト青 赤/緑/青/イエロー/マゼンタ/シアン	103			
		明るさ B				104		
		コントラスト B		手動/自動判別				
		シャープネス B				104		
		カラー B						
		色相 B				104		
		リセット B						
		画像設定	クロック周波数				104	
			位相				105	
			表示位置 (水平)				105	
			表示位置 (垂直)				105	
			ブランキング		上端/下端/左端/右端		105	
			オーバースキャン		0%/5%/10%		106	
			アスペクト B		(スクリーンタイプ 4:3選択時) 4:3/レターボックス/16:9/ワイドズーム (スクリーンタイプ 16:9選択時) 4:3/レターボックス/16:9/スタジアム		106	
			ビデオ	3D Y/C分離		オフ/オン (静止画/ノーマル/ムービー)		107
				垂直輪郭補正		オフ/1/2/3		108
				デインターレース		オフ/オン (静止画/ノーマル/ムービー)		108
				テレシネモード		オフ/オン(2-2/2-3 自動/2-2オン/2-3オン)		108
音声	音量 B				108			
	低音							
	高音							
	バランス							
	3Dサラウンド		オフ/オン			109		

セットアップ	ベーシック	台形補正 B	垂直 自動判別(調整) / 手動(調整)	110
		4点補正 B		110
		壁色補正 B	オフ / 黒板 / 黒板(グレー) / ライトイエロー / ライトグリーン / ライトブルー / スカイブルー / ライトローズ / ピンク	110
		ランプモード B	ノーマルモード / エコモード	111
		メニューモード B	ベーシックメニュー / アドバンスドメニュー	111
		表示言語 B	English / Deutsch / Français / Italiano / Español / Svenska / 日本語 / Dansk / Português / Čeština / Magyar / Polski / Nederlands / Suomi / Norsk / Türkçe / Русский / العربية / Ελληνικά / 中文 / 한국어	111
メニュー設定	表示色選択	カラー1~カラー5 / モノクロ	111	
	表示項目選択	入力端子 オフ / オン メッセージ オフ / オン	112	
	表示時間	手動 / 自動 5 秒 / 自動 1 5 秒 / 自動 4 5 秒	112	
	バックグラウンド	ブルーバック / ブラックバック / ロゴ	112	
セキュリティ	本体キーロック	オフ / オン	113	
	メニューロック	オフ / オン	113	
	ロゴロック	オフ / オン	113	
	セキュリティ	オン / オフ キーワード プロテクトキーを使用 オフ / オン ドライブ / 読込 / 登録 / 削除 (フラッシュメモリーカードまたは USBメモリー使用時)	114	
	設置	投写方法	デスク / フロント / 天吊り / リア / デスク / リア / 天吊り / フロント	118
	スクリーン設定	スクリーンタイプ 4 : 3 / 16 : 9 表示位置 -64 ↔ 64 (スクリーンタイプで 16 : 9 を選択時に有効)	119	
	LANモード	内蔵 プロファイル プロファイル1 / プロファイル2 DHCP オン / オフ IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイ DNS設定 再接続	121	
		PCカード プロファイル かんたん接続 / プロファイル1 / プロファイル2 DHCP オン / オフ IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイ DNS設定	121	
		詳細設定 通信モード サイトサーベイ SSID 通信モード チャンネル WEP WEP キーインデックス キー1~キー4	122	
		再接続	122	
		ドメイン ホスト名 ドメイン名	125	

		メール	メール通知 オン/オフ 差出人アドレス SMTPサーバ名 宛先アドレス1 宛先アドレス2 宛先アドレス3 送信テスト	125
		プロジェクト名		126
		通信速度	4800bps/9600bps/19200bps/38400bps	126
		スタンバイモード	ノーマル/省電力	126
オプション		自動調整	オフ/ノーマル/ファイン	127
		オートスタート	オフ/オン	127
		パワーマネージメント	オフ/0:05/0:10/0:20/0:30	127
		ファンモード	自動/高速	128
		初期入力選択	ラスト/自動/選択 (コンピュータ1/コンピュータ2/ コンピュータ3*/コンポーネント/ビデオ/S-ビデオ/ ビューワ/LAN) ※LT280Jは表示されません。	128
		信号選択	コンピュータ1 RGB/コンポーネント/RGB/ コンポーネント/Scart コンピュータ2 RGB/コンポーネント/RGB/ コンポーネント コンポーネント コンポーネント/ビデオ	128
		カラー方式	コンポーネント(ビデオ) 自動判別/NTSC3.58/ NTSC4.43/PAL/PAL-M/ PAL-N/PAL60/SECAM ビデオ 自動判別/NTSC3.58/ NTSC4.43/PAL/PAL-M/ PAL-N/PAL60/SECAM S-ビデオ 自動判別/NTSC3.58/ NTSC4.43/PAL/PAL-M/ PAL-N/PAL60/SECAM	128
		S-ビデオモード	オフ/S2	128
		モニタ出力	ラスト/コンピュータ1/コンピュータ2/ コンポーネント	129
	ツール	チョークボード B	ペン/カラー/消しゴム/クリア/非表示/終了	
オフタイマー B		残り時間		129
		登録時間	オフ/0:30/1:00/2:00/ 4:00/8:00/12:00/16:00	
マウス設定 B		マウスポインタ	ポインタ1/.../ポインタ9	129
		ボタン設定	右手用/左手用	
		スピード設定	高速/標準/低速	
情報	使用時間 B	ランプ残量(%) / ランプ使用時間 / フィルタ使用時間 / 機器使用時間		130
	信号ページ1 B	入力端子 / 信号形式 / ビデオ標準 / 信号名 / 登録番号		
	信号ページ2 B	水平同期周波数 / 垂直同期周波数 / 同期形態 / 同期極性 / 走査方式		
	LAN 内蔵	IPアドレス / サブネットマスク / ゲートウェイ / MACアドレス		
	LAN PCカード	IPアドレス / サブネットマスク / ゲートウェイ / MACアドレス		
	LAN 無線	SSID / 通信モード / WEP / チャンネル / 信号レベル		
	Version B	Firmware / Data		
リセット		表示中の信号		132
		全データ		
		全データ (信号リストを含む)		
		ランプ時間クリア		
		フィルタ時間クリア		

6-3. 入力端子

・コンピュータ1
コンピュータ2
コンピュータ3
コンポーネント
ビデオ
S-ビデオ
ビューワ
LAN
信号リスト

入力端子を選択する

投写する入力端子を選択します。

現在選択されている入力端子には「●」（ドット）を表示します。

コンピュータ1	コンピュータ1映像入力端子 (COMPUTER 1 IN) に接続している機器の映像を映します。
コンピュータ2	コンピュータ2映像入力端子 (COMPUTER 2 IN) に接続している機器の映像を映します。
コンピュータ3 (<small>対応機種</small> LT380J)	コンピュータ3映像入力端子 (COMPUTER 3 IN) に接続している機器の映像を映します。
コンポーネント	コンポーネント映像入力端子 (COMPONENT IN) に接続している機器の映像を映します。
ビデオ	ビデオ映像入力端子 (VIDEO IN) に接続している機器の映像を映します。
S-ビデオ	S-ビデオ映像入力端子 (S-VIDEO IN) に接続している機器の映像を映します。
ビューワ	本機にセットしたフラッシュメモリカードやUSBメモリのデータを映します。
LAN	LANで接続されたパソコンから送られてくるデータを映します。
信号リスト	信号リストから選択して映像を映します。

参考

- コンポーネント入力信号をコンピュータ1およびコンピュータ2映像入力端子に接続している場合は、「コンピュータ1」および「コンピュータ2」を選択してください。
([▶ 32ページ](#))
- ビデオ入力信号をコンポーネント映像入力端子「Y」に接続している場合は、「コンポーネント」を選択してください。
([▶ 128ページ](#))

信号リストを利用する

画像設定を少しでも行うと、信号の調整値が本機の「信号リスト」に自動的に登録されます。登録された信号（の調整値）は、必要なときに信号リストから呼び出すことができます。

信号リストには100パターンまで登録できます。信号リストへの登録数が100パターンに達すると、それ以降メッセージを表示して登録できなくなります。必要なくなった信号（の調整値）は、信号リストから削除してください。

●信号リストを表示する

1 (MENU) ボタンを押す。

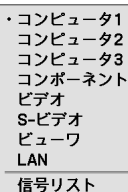
アドバンスメニューが表示されます。

・ベーシックメニューが表示される場合はアドバンスメニューに切り替えてください。

(▶91ページ)

2 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して [入力端子] にカーソルを合わせる。

信号選択のポップアップメニューが表示されます。



・コンピュータ1
コンピュータ2
コンピュータ3
コンポーネント
ビデオ
S-ビデオ
ビューワ
LAN
信号リスト

3 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して [信号リスト] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

信号リストが表示されます。



●投写している信号を登録する [登録]

1 信号リストで (SELECT ▼/▲) ボタンを押して登録する番号にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

信号編集コマンド画面が表示されます。



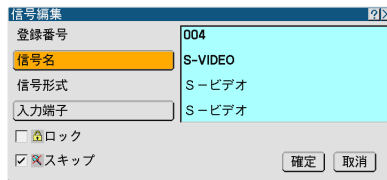
2 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して [登録] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

●信号リストから信号を選択する [呼出]

- 1 信号リストで(SELECT ▼/▲) ボタンを押して選択する信号にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。
- 2 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して [呼出] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

●信号リストの項目を編集する [編集]

- 1 信号リストで(SELECT ▼/▲) ボタンを押して編集する信号にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。
- 2 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して [編集] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集画面が表示されます。



信号名	最大英数18文字で、信号名を入力します。
入力端子	入力端子の変更ができます。RGB信号は、コンピュータ1/コンピュータ2の切り替えができます。 ビデオ、S-ビデオ信号は、ビデオ/S-ビデオ/コンポーネントの切り替えができます。 コンポーネント信号は、コンピュータ1/コンピュータ2/コンポーネントの切り替えができます。
ロック (🔒)	<input checked="" type="checkbox"/> (チェックマーク)を付けておくと、[全削除]を行ったときに残しておくことができます。 また、ロック後に調整を行った値は保存されません。
スキップ (🚫)	<input checked="" type="checkbox"/> (チェックマーク)を付けておくと、入力信号を自動検出するときにスキップすることができます。

- 3 各項目を設定し、[確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

注意 ● 現在投写中の信号を編集する場合、入力端子は変更できません。

●信号リストの項目を削除する [カット]

- 1 信号リストで(SELECT ▼/▲) ボタンを押して削除する信号にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。
- 2 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して [カット] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号リストから削除され、信号リストのいちばん下の「クリップボード」に、削除した信号が表示されます。

注意

- 現在投写中の信号を削除することはできません。
- 信号編集画面で「ロック」した信号を選択した場合は、[カット]は灰色の文字になり選択できません。

参考

- クリップボードの内容は、信号編集コマンドの [貼付け] で信号リストに貼り付ける (複製する) ことができます。
- クリップボードの内容は、信号リストを閉じて消えませんが、

● 信号リストの項目をコピーする [コピー] [貼付け]

- 1 信号リストで (SELECT ▼/▲) ボタンを押してコピーする信号にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。
- 2 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して [コピー] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号リストのいちばん下の「クリップボード」に、コピーする信号が表示されます。
- 3 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して、コピーしたい項目へカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。
- 4 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して [貼付け] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
クリップボードの内容がコピーされます。

● 信号リストの項目をすべて削除する [全削除]

- 1 信号リストで、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。
- 2 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して [全削除] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
確認メッセージが表示されます。
- 3 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して [はい] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

注意

- 信号編集画面で「ロック」した信号は削除されません。

6-4. 調整

映像



●プリセット



映像ソースに最適な設定を選択する

投写した映像に最適な設定を選択します。

鮮やかな色調にしたり、淡い色調にしたり、ガンマ（階調再現性）を設定できます。本機の工場出荷時は、プリセット項目1～6に、あらかじめ次の設定がされています。また、お好みの色調およびガンマにするための細かな設定ができ、設定値をプリセット項目1～6に登録できます。

1：高輝度モード	明るい部屋で投写するときに適した設定にします。
2：プレゼンテーション	PowerPointなどでプレゼンテーションを行うときに適した設定にします。
3：ビデオ	テレビ番組や一般的な映像ソースを投写するときに適した設定にします。
4：ムービー	映画を投写するときに適した設定にします。
5：グラフィック	グラフィック画面に適した設定にします。
6：sRGB	sRGBに準拠した色が再現されます。

参考

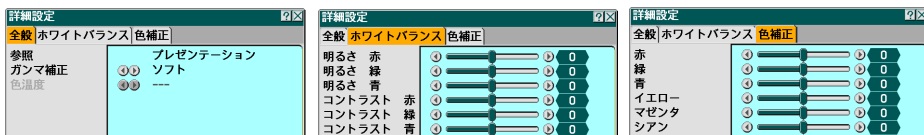
- 「sRGB」は、機器間の色再現の違いを統一するために、パソコンやモニタ、スキャナ、プリンタなどの色空間を規定・統一した国際標準規格です。1996年にHewlett-Packard社とMicrosoft社が策定し、1999年にIECの国際規格となりました。

詳細設定

お客様のお好みに調整した設定にします。

調整値を登録するには、プリセット項目1～6のいずれかを選択し、[詳細設定]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。

ガンマ補正、色温度、ホワイトバランス、色補正の項目について、細かな設定ができます。



全般 — 参照

[詳細設定] のもとになるモードを選択します。

全般 — ガンマ補正

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

ダイナミック	メリハリのある映像設定です。
ナチュラル	標準的な設定です。
ソフト	信号の暗い部分が鮮明になります。

全般 — 色温度

色 (R, G, B) のバランスを調整して色再現性を最良にします。

高い数値の色温度は青みがかった白になり、低い数値の色温度は赤みがかった白になります。

ホワイトバランス

信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

明るさ 赤 明るさ 緑 明るさ 青	画像の黒色を調整します。
コントラスト 赤 コントラスト 緑 コントラスト 青	画像の白色を調整します。

色補正

赤、緑、青、イエロー、マゼンタ(紫)、シアン(明るい青緑)の各色の色味を調整できます。

赤	赤色を中心とした赤色付近の色を調整します。 黄あるいはマゼンタがかった赤色に調整できます。
緑	緑色を中心とした緑色付近の色を調整します。 黄あるいはシアンがかった緑色に調整できます。
青	青色を中心とした青色付近の色を調整します。 マゼンタあるいはシアンがかった青色に調整できます。
イエロー	黄色を中心とした黄色付近の色を調整します。 赤あるいは緑がかった黄色に調整できます。
マゼンタ	マゼンタを中心としたマゼンタ付近の色を調整します。 赤あるいは青がかったマゼンタに調整できます。
シアン	シアンを中心としたシアン付近の色を調整します。 緑あるいは青がかったシアンに調整できます。



- [参照] で「高輝度モード」、「プレゼンテーション」を選択した場合は、[色温度] は選択できません。
- [ホワイトバランス] を操作した場合は、[色温度] の数値と実際の色合いが異なります。

●明るさ／コントラスト／シャープネス／カラー／色相

スクリーンに投写している映像の調整を行います。

明るさ	映像を明るくしたり、暗くします。
コントラスト	映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。 映像ソースに合わせて自動的に判別する場合は、(ENTER) ボタンを押し、コントラスト設定画面で「自動判別」を選択します。
シャープネス	映像をくっきりしたり、やわらかくします。
カラー	色を濃くしたり、淡くします。
色相	赤みがかった映像にしたり、緑がかった映像にします。



注意

●各調整項目は入力信号によって調整できない場合があります。

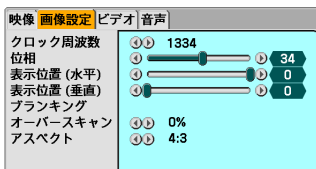
入力信号	明るさ	コントラスト	シャープネス	カラー	色相
コンピュータ (RGBアナログ)	○	○	×	×	×
コンピュータ (RGBデジタル)*	○	○	×	×	×
コンポーネント	○	○	○	○	○
ビデオ、S-ビデオ	○	○	○	○	○
ビューワ、LAN	×	×	×	×	×

(○：調整可、×：調整不可) ※印はLT380Jのみ

●リセット

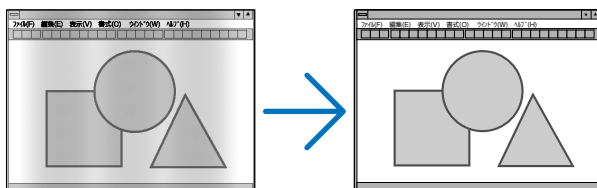
「映像」の調整および設定を工場出荷状態に戻します。ただし、[プリセット] の番号、およびその [プリセット] 内の [参照] はリセットされません。現在選択されていない [プリセット] の [詳細設定] もリセットされません。

画像設定



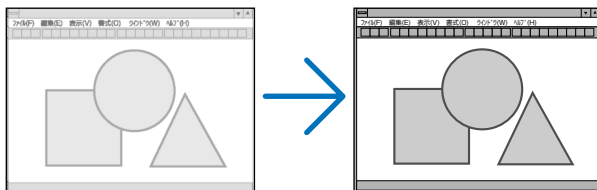
●クロック周波数

画面の明るさが一定になる（明暗の縦帯が出なくなる）ように調整します。



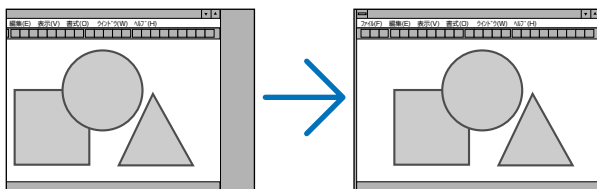
●位相

画面の色ずれ、ちらつきが最小になるように調整します。



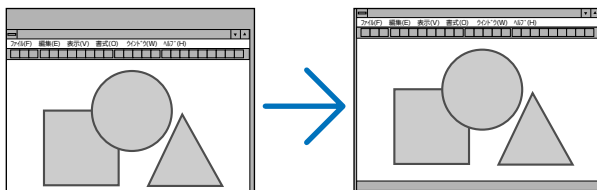
●表示位置 (水平)

画面を水平方向に移動します。



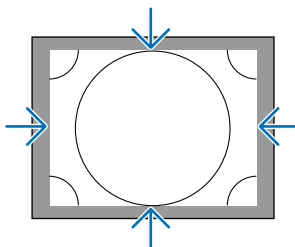
●表示位置 (垂直)

画面を垂直方向に移動します。



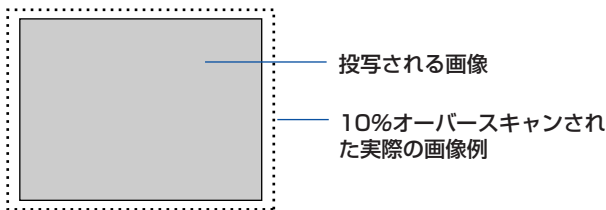
●ブランキング

映像信号の上端、下端、左端、右端の表示範囲 (ブランキング) を調整します。



●オーバースキャン

オーバースキャン（画面周囲のフレーム部分をカットする処理）の割合を設定します。

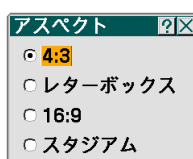
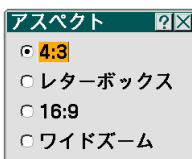


●入力信号によっては、0%が選択できない場合があります。

●アスペクト

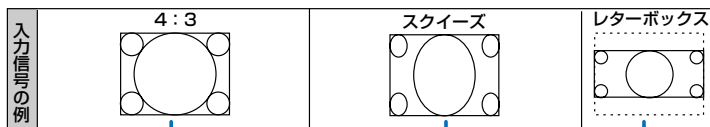
【スクリーンタイプ】が「4:3」のとき

【スクリーンタイプ】が「16:9」のとき



画面の縦横の比率を選択します。

4:3	通常の画面サイズです。4:3の入力信号を4:3の画面サイズで映します。
レターボックス	16:9のレターボックス信号を映します。
16:9	16:9のスクイーズ信号入力時、垂直方向を圧縮して16:9の画面サイズで映します。
ワイドズーム	【スクリーンタイプ】が「4:3」のときに選択できます。16:9のスクイーズ信号入力時、左右に引き伸ばして4:3の画面サイズで映します。そのため、左右の両端は表示されません。
スタジアム	【スクリーンタイプ】が「16:9」のときに選択できます。4:3の入力信号を左右に引き伸ばして16:9の画面サイズで映します。



アスペクト選択項目	4:3	16:9	ワイドズーム	レターボックス
スクリーンタイプ 4:3 選択時の 投写イメージ				
アスペクト選択項目	4:3	スタジアム	16:9	レターボックス
スクリーンタイプ 16:9 選択時の 投写イメージ				

注意

- アスペクトを設定する前に、[スクリーンタイプ](4 : 3 / 16 : 9) を選択してください。
(▶119ページ)
- 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機を使って映像を投写する場合、[アスペクト] や [スクリーンタイプ] などの画面サイズ切り替え機能を使って画面の圧縮や引き伸ばしを行うと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがあります。
- 台形補正または4点補正で投写画面の台形歪みを調整している場合、[アスペクト] の設定を変更できないことがあります。そのときは、台形補正または4点補正の調整値をいったんクリアし、[アスペクト] の設定を変更したあと、再度台形補正または4点補正で投写画面を調整してください。
[アスペクト] の設定を変更した場合、台形補正および4点補正の調整範囲が狭くなる場合があります。

参考

- スクリーンタイプを16 : 9にしているときは、[表示位置] で垂直位置を調整できます。
(▶119ページ)
- ビデオ映像の標準アスペクト比4 : 3より横長の映像を、「レターボックス」と呼びます。映画フィルムのビスタサイズ1.85 : 1やシネマスコープ2.35 : 1のアスペクト比があります。
- アスペクト比16 : 9の映像を横方向にスクイーズ (圧縮) して4 : 3にした映像を、「スクイーズ」と呼びます。

ビデオ

映像	画像設定	ビデオ	音声
3D Y/C分離		🔘	オン
垂直輪郭補正		🔘	1
デインターレース		🔘	オン
テレシネモード		🔘	オフ

●3D Y/C分離

ビデオ映像入力端子から入力された映像を投写するとき、「オン」に設定すると高画質で投写することができます。

「オン」を選択した場合に、プルダウンリストから映像に応じた項目を選択します。

オフ	3次元の Y/C分離機能を切ります。	
オン	静止画	静止画を投写する場合に選択します。
	ノーマル	本機が映像を自動判別して補正します。
	ムービー	動画を投写する場合に選択します。

注意

- NTSC3.58のビデオ信号以外の場合は選択できません。

参考

- 画質が悪い映像を投写するときに [3D Y/C分離] を「オン」にしても画質が改善されない場合は、[デインターレース] を「オフ」にしてみてください。
または、[3D Y/C分離] を「オフ」にし、[デインターレース] を「ノーマル」にしてみてください。

●垂直輪郭補正

ビデオ信号のときに、垂直方向のエッジ（輪郭）を強調します。

●デインターレース

インターレース信号が入力された場合、インターレースとデインターレース（インターレース解除）を切り替えることができます。

オフ	インターレース（飛び越し走査）で投写します。	
オン	静止	静止画を投写するときに選択します。 動画を投写すると映像がちらつきます。
	ノーマル	動画と静止画を自動判別して鮮明な状態にします。 ジッターやノイズが目立つ場合は、「ムービー」を選択してください。
	ムービー	動画を投写するときに選択します。 ジッターやノイズが多い信号に適しています。

注意 ●RGB信号と1080iコンポーネント信号のときは、「ムービー」は選択できません。

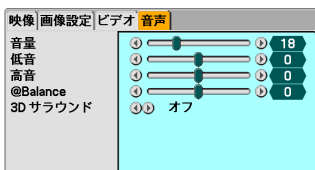
参考 ●工場出荷時、ビデオ/S-ビデオ映像入力は「ノーマル」に設定されています。

●テレシネモード

映画を映しているとき、画面のちらつきやノイズを軽減させる場合に選択します。テレビ映像（インターレース信号）のときに動作します。

オフ	テレシネモードを切ります。	
オン	2-2/2-3 自動	プルダウン変換方式を自動で検出します。
	2-2	2-2方式のプルダウン変換を適用します。
	2-3	2-3方式のプルダウン変換を適用します。

音声



●音量

本機の内蔵スピーカ、および音声出力端子（AUDIO OUT）から出される音声の音量を調整します。

参考 ●工場出荷時、音量は18に設定されています。
●音量は、メニューが表示されていないとき、本体操作部の (SELECT ◀▶) ボタン、およびリモコンの (VOLUME +/-) ボタンでも調整できます。

●低音

本機の内蔵スピーカ、および音声出力端子 (AUDIO OUT) から出される音声の低音を調整します。

●高音

本機の内蔵スピーカ、および音声出力端子 (AUDIO OUT) から出される音声の高音を調整します。

●バランス

音声出力端子 (AUDIO OUT) から出される音声の左右の音量バランスを調整します。

参考

- 本機内蔵スピーカは左チャンネルと右チャンネルの音量が合成されて聞こえます。
- ビデオ/S-ビデオ/コンポーネント音声入力端子の「L/MONO」のみ接続している場合、音量バランスは働きません。音声出力端子 (AUDIO OUT) から出力される音声は、右チャンネルと左チャンネルは同じモノラル音声を出力します。

●3Dサラウンド

コンサートホールのような臨場感(反響音)を疑似的に作ります。

音声出力端子 (AUDIO OUT) から出力される音声に3Dサラウンドが働きます。

参考

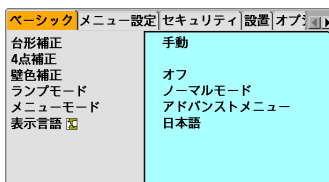
- 音声調整は音声出力端子 (AUDIO OUT) とアンプ内蔵の簡易ステレオスピーカと接続する場合に効果的です。

注意

- 本機の音声出力端子 (AUDIO OUT) を外部機器に接続した場合、外部機器で音質の調整を行ったときに、本機の低音/高音/3Dサラウンドの調整によっては、音が割れたり歪むことがあります。このようなときは、本機の調整を工場出荷状態 (低音 : 0 / 高音 : 0 / 3Dサラウンド : 0) に戻してください。

6-5. セットアップ

ベーシック



● 台形補正

台形補正を行います。

垂直	自動判別	垂直方向の自動台形補正を行います。(▶49ページ) 水平方向の歪みを補正する場合は、下の[調整]にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押してください。
	手動	手動で台形補正を行います。(▶49ページ) 下の[調整]にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押してください。
調整		[台形補正]画面を表示して、投写画面の台形歪みを調整します。 操作について詳しくは、「3-5.台形歪みを調整する」(▶49ページ)をご覧ください。

注意

- 本機の電源を入れたとき、本機の傾きを変えても前回使用時の台形補正の調整値を保持しています。前回使用時から本機の傾きが変わっているとき、自動的に台形歪みを補正するには、[台形補正]を「自動判別」に設定してください。[自動判別]に設定すると、前回使用時の台形補正の調整値は一度クリア(工場出荷時に戻す)され、あらかじめ自動的に台形歪みを補正しなおします。本機の傾きが前回と同じであれば、台形補正の調整値は保持されます。
- [4点補正]で画面調整している場合は、[調整]は灰色になり選択できません。

● 4点補正

[4点補正]画面を表示して、投写画面の台形歪みを調整します。

操作について詳しくは、「4-8.台形歪みを調整する(4点補正)」(▶62ページ)をご覧ください。

注意

- [台形補正]で画面を調整している場合は、灰色表示になり選択できません。

● 壁色補正



画像を投写する面がスクリーンではなく、部屋の壁などの場合、メニューから壁の色に近い項目を選択すると、壁の色に適應した色合いに補正して投写できます。

●ランプモード

小さいスクリーンサイズで映して画面が明るすぎるときや、暗い室内で映す場合、ランプモードを「エコモード」にし、ランプ交換時間(目安)*を延ばすことができます。

ノーマルモード	ランプの輝度が100%になります。明るい画面になります。
エコモード	ランプの輝度が約80%になります。ランプ交換時間(目安)*が延びます。 ランプの輝度がさがるのと連動し、冷却ファンの回転数もさがります。

※保証時間ではありません。



- ノーマルモードで使用時、室温が高いことにより本機内部の温度が上昇すると、一時的にエコモードに切り替わることがあります。これは、本機の保護機能の一つで「強制エコモード」と呼びます。
強制エコモードになると、画面が少し暗くなり、LAMPインジケータが緑色で点灯します。
室温を下げたり、[ファンモード] (▶ 128ページ) を「高速」に設定したりすることにより、本機内部の温度が下がると、強制エコモードは解除され、ノーマルモードに戻ります。
強制エコモード中は、[ランプモード] の設定を変更しても、状態は変わりません。

●メニューモード

ベーシックメニューとアドバンストメニューを切り替えます。

ベーシックメニュー	基本的な項目に絞ったメニューです。
アドバンストメニュー	すべての項目を表示するメニューです。

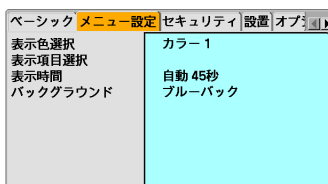
●表示言語

メニューに表示される言語を選択します。



- 表示言語は、[リセット] を行っても変更されません。

メニュー設定



●表示色選択

本機のオンスクリーンメニューの表示色を変更します。

●表示項目選択

入力端子	画面右上に入力端子を表示するか、しないかを選択します。 「オン」を選択した場合は、次の表示を行います。 <ul style="list-style-type: none">・入力信号を切り替えたときに、画面右上に[コンピュータ1]などの入力端子名を表示します。・信号が入力されていないとき、画面右上に[無信号]と表示されます。
メッセージ	投写画面下側に本機のメッセージを表示するか、しないかを選択します。 「オフ」を選択しても、次のメッセージは表示されます。 <ul style="list-style-type: none">・ランプ時間の警告（電源ON時のみ）・セキュリティロック中の警告 ただし、ランプ時間の警告は(EXIT) ボタンを押すと表示が消えます。また、セキュリティロック中の警告は、ロックを解除すると表示が消えます。



- 画面右上の端子表示は、[表示時間]で設定している時間だけ表示されます。[表示時間]で「手動」を選択している場合、画面右上の表示は消えません。

●表示時間

メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動的に閉じるまでの時間を選択します。



- メニューが自動的に画面から消えたあとに(MENU) ボタン、(ENTER) ボタン、(EXIT) ボタン、(SELECT ▼▲) ボタンのいずれかを押しすと、閉じる前に表示していた状態のメニューが表示されます。
ただし、メニューが閉じている間に入力信号を切り替えた場合は、閉じる前に表示していたメニューは表示されず、通常のメニュー操作と同様になります。

●バックグラウンド

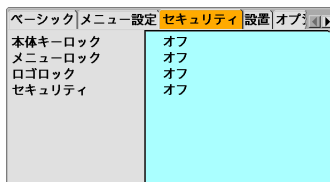
入力信号がないときの背景色を選択します。

ブルーバック	背景色が青
ブラックバック	背景色が黒
ロゴ	背景に画像を表示



- 「ロゴ」を選択すると、工場出荷状態ではNECロゴが表示されます。
- 自作の背景をバックグラウンドに設定するには、ビューワの「バックグラウンドロゴを登録する」(▶85ページ)をご覧ください。
- バックグラウンドは、[リセット]を行っても変更されません。

セキュリティ



●本体キーロック

プロジェクター本体にある操作ボタンを動作しないようにします。

オフ	本体操作部のボタンが働きます。
オン	本体操作部のボタンがきかなくなります（ロック）。

注意

- 本体キーロックの解除方法
本体の操作ボタンが「オン」に設定されているときに、本体の(EXIT) ボタンを約10秒間押し続けると、本体キーロックの設定が一時的に解除されます。

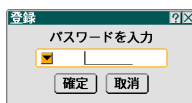
参考

- 本体の操作ボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。
- 本体キーロックは、[リセット]を行っても解除されません。

●メニューロック／ロゴロック

- メニュー用パスワードを設定すると、ベーシックメニューからアドバンスドメニューに切り替えるときにパスワード確認画面を表示します。
- ロゴ用パスワードを設定すると、バックグラウンドを「ロゴ」へ切り替えたり「ロゴ」から切り替えるとき(▶112ページ)、およびビューワでロゴデータを変更するとき(▶85ページ)に、パスワード確認画面を表示します。

登録



パスワードを登録します（英数字で最大15桁）。

1 パスワードを入力する。

- パスワード入力欄にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押すと、文字入力画面が表示されます。(▶93ページ)
- USBマウスで操作している場合は、パスワード入力欄左側の▼を左クリックします。
- 1文字入力するごとに、パスワード入力欄に「*」が表示されます。

重要

- パスワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

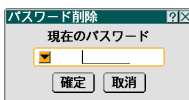
2 パスワードを入力したら、[確定]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。 パスワード確認画面が表示されます。

3 手順1で入力したパスワードを、再度入力する。

- 1文字入力するごとに、パスワード入力欄に「*」が表示されます。

4 [確定]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。 パスワードが登録されメニューに戻ります。

削除



登録しているパスワードを削除します。

1 パスワードを入力する。

- ・1文字入力するごとに、パスワード入力欄に「*」が表示されます。

2 [確定] にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押す。

パスワードが削除されメニューに戻ります。

参考

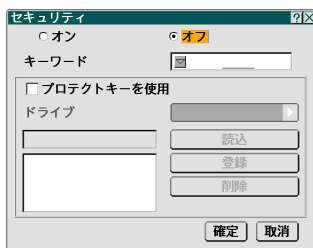
- 登録したロゴ用パスワードを忘れてしまった場合は、お客様問い合わせ窓口（NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター）にご連絡ください。
- メニューロックおよびロゴロックは、[リセット] を行っても解除されません。

●セキュリティ

キーワードを設定することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。また、フラッシュメモリカードやUSBメモリをプロテクトキーとして登録することで、本機の電源を入れたときに、登録したカードが本機にセットされていないと投写できないようにします。

詳しい操作は「4-10.セキュリティを設定して無断使用を防止する」をご覧ください。

(▶67ページ)



オン/オフ	セキュリティをオンにするか、オフにするかを選択します。				
キーワード	セキュリティを使用する際に必要なキーワードを入力します（最大10文字）。 キーワードを入力しないとセキュリティはオンになりません。				
プロテクトキーを使用	セキュリティロックの方法を設定します。 <table border="1"><tr><td><input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける)</td><td>キーワードとフラッシュメモリカード (またはUSBメモリ) の両方を登録してセキュリティロックをかけます。</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> (チェックマークを外す)</td><td>キーワードのみでセキュリティロックをかけます。</td></tr></table>	<input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける)	キーワードとフラッシュメモリカード (またはUSBメモリ) の両方を登録してセキュリティロックをかけます。	<input type="checkbox"/> (チェックマークを外す)	キーワードのみでセキュリティロックをかけます。
<input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける)	キーワードとフラッシュメモリカード (またはUSBメモリ) の両方を登録してセキュリティロックをかけます。				
<input type="checkbox"/> (チェックマークを外す)	キーワードのみでセキュリティロックをかけます。				
ドライブ	プロテクトキーの場所 (PCカードスロットまたはUSB) を切り替えます。				
読込	登録するフラッシュメモリカード (またはUSBメモリ) の情報を読み込みます。				

登録	読み込んだフラッシュメモリカード(またはUSBメモリ)の情報を登録します。 [プロテクトキーを使用]に <input checked="" type="checkbox"/> (チェックマーク) を付けた場合、フラッシュメモリカード(またはUSBメモリ)が1枚も登録されていないとセキュリティはオンになりません。 最大5枚のカードを登録できます。
削除	登録したフラッシュメモリカード(またはUSBメモリ)の情報を削除します。

セキュリティをオンにする

フラッシュメモリカード(またはUSBメモリ)を使用しない場合

1 (SELECT ▼/▲) ボタンで[キーワード]にカーソルを合わせ、キーワードを入力する。



● キーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

2 (SELECT ▼/▲) ボタンで [オフ] にカーソルを合わせ、(SELECT ◀/▶) ボタンで [オン] にカーソルを合わせる。

3 (SELECT ▼/▲) ボタンで [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
確認メッセージが表示されます。

4 (SELECT ◀/▶) ボタンで [はい] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
セキュリティがオンになります。

フラッシュメモリカード(またはUSBメモリ)をプロテクトキーとして使用する場合

準備：フラッシュメモリカードを本機のPCカードスロットにセットしてください。
(▶ 37ページ)

USBメモリを使用する場合は、本機のUSBポート(タイプA)にセットしてください。

1 (SELECT ▼/▲) ボタンで [プロテクトキーを使用] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

(チェックマーク) が付きます。

2 (SELECT ▼/▲) ボタンで [読込] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
フラッシュメモリカード(またはUSBメモリ)の情報が読み込まれます。

3 (SELECT ▼/▲) ボタンで [登録] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
読み込まれたフラッシュメモリカードの(またはUSBメモリ)情報が登録され、登録リストに表示されます。

4 (SELECT ▼/▲) ボタンで [キーワード] にカーソルを合わせ、キーワードを入力する。



● キーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

5 (SELECT ▼/▲) ボタンで [オフ] にカーソルを合わせ、(SELECT ◀/▶) ボタンで [オン] にカーソルを合わせる。

6 (SELECT ▼/▲) ボタンで [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
確認メッセージが表示されます。

7 (SELECT ◀/▶) ボタンで [はい] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
セキュリティがオンになります。

セキュリティをオンにしているときの電源の入れかた

フラッシュメモリカード(またはUSBメモリ)を使用しない場合

- 1 POWER (ON/STAND BY) ボタンを2秒以上押す。
 - ・リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを2秒以上押します。本機の電源が入り、セキュリティロック中のメッセージが表示されます。
- 2 (MENU) ボタンを押す。
 - ・キーワード入力画面が表示されます。
- 3 キーワード入力画面にキーワードを入力する。
 - ・セキュリティロックが一時解除され、選択されている信号を投写します。

フラッシュメモリカード(またはUSBメモリ)をプロテクトキーとして使用する場合

準備：情報を登録したフラッシュメモリカードを本機のPCカードスロットにセットしてください。(▶ 37ページ)
USBメモリを使用する場合は、本機のUSBポート(タイプA)にセットしてください。

- 1 POWER (ON/STAND BY) ボタンを2秒以上押す。
 - ・リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを2秒以上押します。電源が入り、フラッシュメモリカード(またはUSBメモリ)が認識されると入力信号を投写します。
電源が入ったあとはフラッシュメモリカード(またはUSBメモリ)を抜いてもそのまま動作します。

注意

- 本機は、NTFS形式でフォーマットされたフラッシュメモリカードやUSBメモリを認識できません。
本機にセットしたフラッシュメモリカードやUSBメモリが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。
本機のビューワやセキュリティで使用するフラッシュメモリカードやUSBメモリは、FAT32形式、FAT16形式またはFAT形式でフォーマットしてください。
フォーマット方法については、お使いのWindowsの取扱説明書またはヘルプファイルを参照してください。
- 本機の電源を入れたとき、情報を登録したフラッシュメモリカード(またはUSBメモリ)が本機にセットされていないと、セキュリティロック中のメッセージが表示され画面が投写されません。その場合は、情報を登録したフラッシュメモリカード(またはUSBメモリ)を本機にセットすると、セキュリティロックを解除することができます。
- セキュリティロックの解除状態は、主電源をOFFする(主電源スイッチを「O(切)」にするか、電源コードを抜く)まで保持されます。
次の場合に、プロテクトキーのチェック、もしくはキーワードの要求を行います。
 - (1) セキュリティ設定画面で「確定」して電源をOFFしたあと電源をONしたとき。
 - (2) セキュリティ「オン」中に主電源をOFFしたあと再び主電源をONにし電源をONしたとき。
 - (3) セキュリティ「オン」中にセキュリティ設定画面を表示しようとしたとき。
- キーワードに空白(スペース)は使用できません。

登録したカード情報を削除する

- 1 (SELECT ▼/▲) ボタンで [削除] にカーソルを合わせ、(SELECT ◀) ボタンで登録リスト内にカーソルを移動する。
- 2 (SELECT ▼/▲) ボタンで削除したいフラッシュメモリカード (またはUSBメモリ) の情報を選択する。
- 3 (SELECT ▶) ボタンで [削除] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。フラッシュメモリカード (またはUSBメモリ) の情報が削除されます。

注意

- フラッシュメモリカード、USBメモリによってはプロテクトキーとして登録できないものもあります。
- 登録したフラッシュメモリカード (またはUSBメモリ) が破損、紛失したときのために、複数のフラッシュメモリカード (またはUSBメモリ) を登録しておくことをおすすめします。最大5つまで登録できます。
- プロテクトキーとして登録したあと、フラッシュメモリカード (またはUSBメモリ) をフォーマットすると、プロテクトキーとして認識できなくなります。

参考

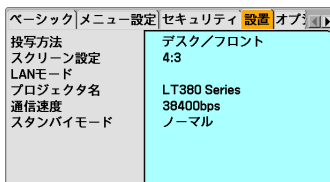
- プロテクトキーとして登録したカードを紛失してしまったときの対応
 - 1 POWER (ON/STAND BY) ボタンを2秒以上押す。
 - ・リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを2秒以上押します。本機の電源が入り、セキュリティロック中のメッセージが表示されます。
 - 2 (MENU) ボタンを押す。

キーワード入力画面と一緒にお問い合わせコード (Request Code) (英数字24文字) が表示されます。

- セキュリティ設定画面で登録したキーワードと、表示されたお問い合わせコードの2つをお客様お問い合わせ窓口 (NECプロジェクター・カスタマサポートセンター) にご連絡ください。解除コード (Release Code) をお知らせします。
 - 3 キーワード入力画面に解除コードを入力する。

セキュリティロックが解除されます。
- キーワードを忘れたときの対処
お客様お問い合わせ窓口 (NECプロジェクター・カスタマサポートセンター) にご連絡ください。
- セキュリティは、[リセット] を行っても解除されません。

設置



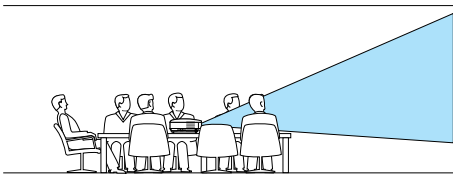
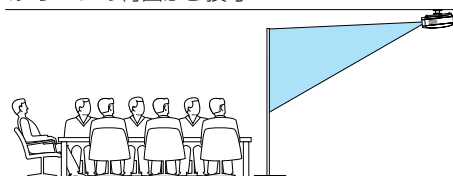
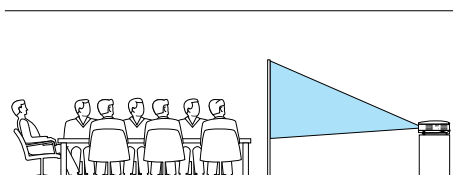
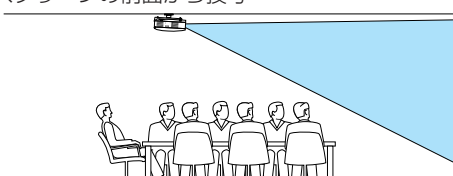
●投写方法

本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。



警告

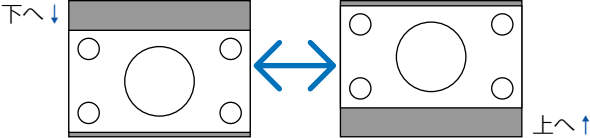
天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買い上げの販売店にご相談ください。
お客様による設置は絶対にしないでください。
落下してけがの原因となります。

デスク/フロント	テーブルに設置してスクリーンの前面から投写 
天吊り/リア	天井に設置してスクリーンの背面から投写 
デスク/リア	テーブルに設置してスクリーンの背面から投写 
天吊り/フロント	天井に設置してスクリーンの前面から投写 



●「デスク/フロント」以外を選択すると、「自動台形補正」は動きません。

●スクリーン設定

スクリーンタイプ	投写するスクリーンの比率を設定します。 <table border="1"> <tr> <td>4 : 3</td> <td>縦横比が4 : 3のスクリーンの場合</td> </tr> <tr> <td>16 : 9</td> <td>縦横比が16 : 9のスクリーンの場合</td> </tr> </table>	4 : 3	縦横比が4 : 3のスクリーンの場合	16 : 9	縦横比が16 : 9のスクリーンの場合
4 : 3	縦横比が4 : 3のスクリーンの場合				
16 : 9	縦横比が16 : 9のスクリーンの場合				
表示位置	[スクリーンタイプ]が「16 : 9」のときに、表示領域の垂直位置を調整します。 				

注意

- スクリーンタイプを変更したら、必ず [アスペクト] の設定を確認してください。
([106ページ](#))
- [スクリーンタイプ]が「4 : 3」のとき、および [アスペクト]が「レターボックス」のときは、[表示位置]は灰色の文字になり選択できません。
- 台形補正または4点補正で投写画面の台形歪みを調整している場合、[スクリーンタイプ]および [表示位置]の設定を変更できないことがあります。そのときは、台形補正または4点補正の調整値をいったんクリアし、[スクリーンタイプ]や [表示位置]の設定を変更したあと、再度台形補正または4点補正で投写画面を調整してください。[スクリーンタイプ]や [表示位置]の設定を変更した場合、台形補正および4点補正の調整範囲が狭くなることがあります。

●LANモード

重要

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- 本機のLANポート (LAN) にLANケーブル (Ethernetケーブル) を接続してください。
([34ページ](#))
- 無線LANを使用する場合は、添付の無線LANカード (形名NWL-100E) を本機のPCカードスロットにセットしてください。
- PCカードスロットへのセット方法は、「2-8. 無線LANカードやフラッシュメモリカードを本機にセットする」([37ページ](#))をご覧ください。
- 無線LANカードのセット/取り出しは、本機の主電源スイッチが「○ (切)」のときに行ってください。
本機の電源が入っているときやスタンバイ状態のときに無線LANカードのセット/取り出しを行うと、無線LANカードが壊れたり、本機が誤動作することがあります。万一本機が誤動作した場合は、本機の主電源スイッチを切り、電源を入れなおしてください。

参考

- LANモードの各設定は、[リセット]を行っても変更されません。

本機にLANの設定を行うヒント

- **LANの設定を行うには？（設定を本機のメモリに記憶するには？）**

[内蔵] または [PCカード] ページを表示し、[プロファイル] のリストから、設定を記憶するプロファイル番号を選択します。

本機では、内蔵のLANポートを使用する設定を2通り、また無線LANカードを使用する設定を2通り、メモリに記憶することができます。

続いて、同じページで、[DHCP] の有効/無効、[IPアドレス]、[サブネットマスク] などの設定後、[確定] にカーソルを合わせ(ENTER) ボタンを押します。(▶121ページ)
- **プロファイル番号に記憶した設定を呼び出すには？**

[内蔵] または [PCカード] ページの [プロファイル] のリストから呼び出すプロファイル番号を選択します。続いて [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。(▶121ページ)
- **DHCPサーバに接続するには？**

[内蔵] または [PCカード] ページで [DHCP] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。

チェックマークが付きます。[DHCP] にカーソルを合わせ、もう一度(ENTER) ボタンを押すと、チェックマークが外れます。DHCPサーバを使用せず直接IPアドレスを設定する場合は、[DHCP] のチェックマークを外してください。(▶121ページ)
- **無線LAN特有の設定（通信モードやWEP(セキュリティ通信)）を行うには？**

[PCカード] ページの [プロファイル] で、「プロファイル1」または「プロファイル2」を選択します。

続いて、同じページの [詳細設定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。[詳細設定] 画面が表示されます。(▶122ページ,123ページ)
- **接続するSSIDを選択するには？**

[PCカード] ページの [詳細設定] → [通信モード] ページで [サイトサーベイ] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。リストの中から、接続するSSIDにカーソルを合わせます。(SELECT▶) ボタンを押して [確定] にカーソルを移動し(ENTER) ボタンを押します。

[サイトサーベイ] を使用しない場合は、同じ [通信モード] ページで、[SSID] を直接入力し、「インフラストラクチャ」または [802.11アドホック] を選択します。(▶122ページ)
- **プロジェクターのランプ交換時期や各種のエラーをEメールで受け取るには？**

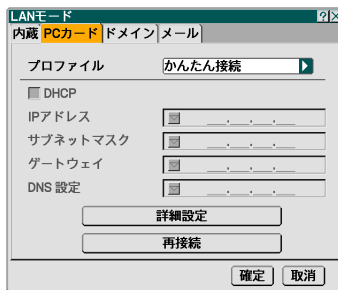
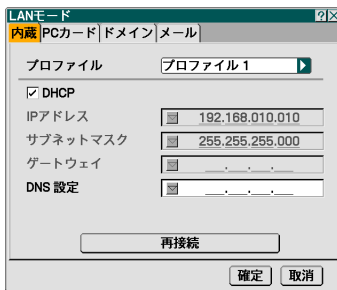
[メール] ページで [メール通知] にカーソルを合わせ(ENTER) ボタンを押します。チェックマークが付きます。続いて、[差出人アドレス] や [SMTPサーバ名]、[宛先アドレス] などを設定し、[確定] にカーソルを合わせ(ENTER) ボタンを押します。(▶125ページ)
- **Image Express Utility 2.0 を使って “かんたん接続” を行うには？**

添付のUser Supportware 3 CD-ROMに収録しているImage Express Utility 2.0 では、無線LANを使ったパソコンとプロジェクターの接続を少ない手順で行う “かんたん接続” モードがあります。

“かんたん接続” を行う場合は、[PCカード] ページの [プロファイル] のリストの中から “かんたん接続” を選択します。

(注) パソコン側の無線LANカードによっては、“かんたん接続” が動作しないことがあります。

内蔵 または PCカード



プロファイル	<ul style="list-style-type: none"> 本機に内蔵のLANポートを使用する場合の設定を2通り、またPCカード(無線LANカード)を使用する場合の設定を2通りの合計4通りを、本機のメモリに記憶することができます。 「プロファイル 1」、「プロファイル 2」を選択し、[DHCP]以下の項目の設定を行います。設定が終わったら、画面下の[確定]にカーソルを合わせ(ENTER)ボタンを押します。設定内容が本機のメモリに記憶されます。 本機のメモリに記憶した設定を呼び出す場合は、[プロファイル]から選んで画面下の[確定]にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押します。 添付のUser Supportware 3 CD-ROMに収録しているImage Express Utility 2.0を使って“かんたん接続”を行う場合は、[PCカード]ページの[プロファイル]のリストから「かんたん接続」を選択します。 	—
DHCP	<p>本機を接続するネットワークが、DHCPサーバによってIPアドレスを自動的に割り当てる場合は、チェックマーク(☑)を付けます。自動的に割り当てられない場合は、チェックマークを付けずに、下の「IPアドレス」と「サブネットマスク」を設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☑ (チェックマークを付ける) ……DHCPサーバによってIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが自動的に割り当てられます。 ☐ (チェックマークを外す) ……ネットワーク管理者から割り当てられたIPアドレスやサブネットマスクを設定します。 	—
IPアドレス	[DHCP]のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークにおける本機のIPアドレスを設定します。	数字 12文字
サブネットマスク	[DHCP]のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。	数字 12文字

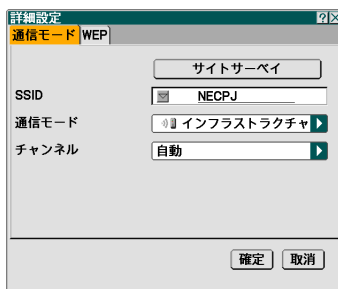
ゲートウェイ	[DHCP] のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。	数字 12文字
DNS設定	本機を接続するネットワークのDNSサーバのIPアドレスを設定します。	数字 12文字
詳細設定 (注)	無線LANに接続するための詳細設定 (通信モード、WEP) を行います。	—
再接続	ネットワークの接続を試みます。[プロファイル] を変更したときなどに実行してください。	—

(注) [詳細設定] ボタンは、[PCカード] ページのときに表示されます。



- [プロファイル] で「かんたん接続」を選択した場合は、DHCP以下の項目の設定を変更できません。ただし、[詳細設定] の [チャンネル] の設定は変更できます。

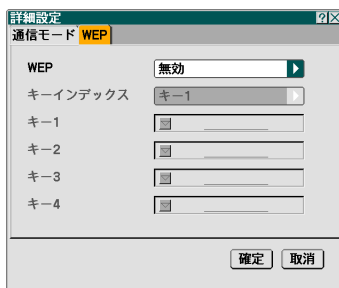
詳細設定 (通信モード) (無線LAN使用時のみ設定が必要)



サイトサーベイ	<p>その場所で接続可能な無線LANのSSIDをリスト表示し、リストの中から接続するSSIDを選択します。SSIDを選択するには、SSIDにカーソルを合わせ、(SELECT ▶) ボタンを押して [確定] にカーソルを移動し、(ENTER) ボタンを押します。リストに表示されるアイコンは、次の意味を持っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> : アクセスポイント : パソコン (アドホック) : WEPの設定あり <p>注意 ● チャンネルが14のSSIDはリストに表示されないため、接続することができません。</p>	—
SSID	無線LANの識別名 (SSID) を入力します。SSIDが一致する機器とのみ、通信が行えます。	英数字 最大32文字 注：大文字と小文字は区別されます。

通信モード	無線LANを使用するときの通信方式を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・インフラストラクチャ……アクセスポイントを経由して、有線LANや無線LANで接続されている複数の機器と通信を行うときに選択します。 ・802.11アドホック……通信手段として無線LANのみを使って、本機とパソコンをピアツーピア (peer to peer) で通信する際に選択します。 	—
チャンネル	自動、1～13の値を設定できます（国によって使用できるチャンネルが異なります）。 通常は「自動」にしてください。 無線LANが接続できないときに相手と同じチャンネルを設定してください。	—

詳細設定 (WEP) (無線LAN使用時のみ設定が必要)



WEP	WEP (暗号キー化) をするかないかを選択します。 暗号化する場合は、暗号キーを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・無効 ……WEPを行いません。他人から通信内容を傍受されるおそれがあります。 ・64bit ……秘密鍵に64bit長のデータを使います。 ・128bit ……秘密鍵に128bit長のデータを使います。 ・152bit ……秘密鍵に152bit長のデータを使います。 64bit < 128bit < 152bit というようにbit数が大きくなるにつれセキュリティが強化されます。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● WEPは、無線をする相手の機器 (パソコンやアクセスポイント) と同じ設定にしてください。 ● WEPを使用すると、画像転送速度が低下します。 </div>
キーインデックス	[WEP] で64bit、128bit、152bit を選択した場合、下のキー1～キー4のどの暗号キーを使うかを選択します。

キー1/キー2/ キー3/キー4	[WEP] で64bit、128bit、152bit を選択した場合、暗号キーを入力します。 ●最大入力文字数												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>英数文字 (ASCII)</th> <th>16進数 (HEX)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>64bit</td> <td>5文字</td> <td>10文字</td> </tr> <tr> <td>128bit</td> <td>13文字</td> <td>26文字</td> </tr> <tr> <td>152bit</td> <td>16文字</td> <td>32文字</td> </tr> </tbody> </table>	選択	英数文字 (ASCII)	16進数 (HEX)	64bit	5文字	10文字	128bit	13文字	26文字	152bit	16文字	32文字
選択	英数文字 (ASCII)	16進数 (HEX)											
64bit	5文字	10文字											
128bit	13文字	26文字											
152bit	16文字	32文字											



●暗号キーの入力（英数文字入力と16進数入力の切り替え）

[キー1]～[キー4]に暗号キーを入力する場合は、次のように操作します。

- 1 カーソルが [キー1] ～ [キー4] に合っているときに **(ENTER)** ボタンを押す。
文字入力画面が表示されます。



- 2 **(SELECT ▼▲◀▶)** ボタンを押して、文字などにカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。

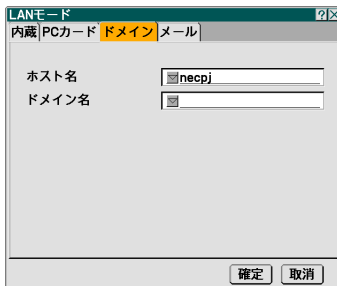
文字が入力されます。

- ・文字入力画面の操作については、[93ページ](#)をご覧ください。
- ・暗号キーを入力する場合は、英数文字 (ASCII) と16進数 (HEX) の2通り、事前共有キーの場合は、英数文字 (ASCII) の入力が行えます。次のようにして切り替えます。
- ・文字入力画面の左下に「HEX」と表示されているときは、英数文字 (ASCII) が入力できます。
- ・16進数を入力する場合は、「HEX」にカーソルを合わせ **(ENTER)** ボタンを押します。「HEX」表示が「ASCII」表示に変わります。
- ・文字入力画面の左下に「ASCII」と表示されているときは、16進数が入力できます。
- ・16進数入力の場合は、入力欄の先頭に自動的に「0x (ゼロエックス)」と表示されます。

- 3 暗号キーを入力したら、**(SELECT ▼▲◀▶)** ボタンを押して、[確定] にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。

入力した文字が確定して、文字入力画面が閉じます。

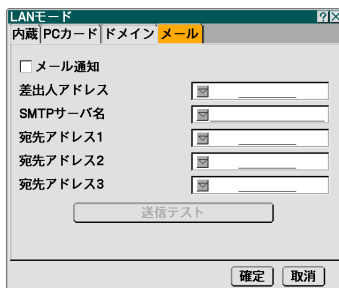
●ドメイン



本機のホスト名とドメイン名を設定します。

ホスト名	本機のホスト名を設定します。	英数字 最大60文字
ドメイン名	本機のドメイン名を設定します。	英数字 最大60文字

●メール



メール通知	<p>本機をLANに接続して使用する場合、本機のランプ交換時期や各種エラーが発生したときに、本機の状態をEメールでパソコンなどへ通知します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) ……以下の設定に基づいてメール通知機能が働きます。 • <input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……メール通知機能は停止します。 <p>【本機から送信されるEメールの例】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ランプの交換時期です。新しいランプに交換してください。 プロジェクト名：xxxx フィルタ使用時間：xxxx ランプ使用時間：xxxx [H] 機器使用時間：xxxx [H]</p> </div>	
差出人アドレス	<p>本機からEメールを送信する際の差出人アドレスを設定します。 Eメールの「from」にあたるアドレスです。</p>	英数字、記号 最大60文字

SMTPサーバ名	本機が接続をするネットワークのSMTPサーバを設定します。	英数字 最大60文字
宛先アドレス1 宛先アドレス2 宛先アドレス3	本機からメールを送信する際の宛先のアドレスを設定します。宛先は3つまで設定できます。Eメールの「to」にあたるアドレスです。	英数字、記号 最大60文字
送信テスト	Eメールの設定を確認するために、テストメールを送信します。 注意 ● 送信テストを行って、送信エラーになったりメールが届かない場合は、LANモードの設定を確認してください。 ● 宛先アドレスが間違っている場合は、送信テストでエラーにならないことがあります。テストメールが届かない場合は、宛先アドレスの設定を確認してください。	

注意

- 無線LANでメール通知を使用する場合は、[通信モード]で「インフラストラクチャ」を選択してください。
- 次の3つの項目が設定されていないと[送信テスト]は選択できません。「差出人アドレス」、「SMTPサーバ名」、「宛先アドレス1~3 (のいずれか)」
- 「メール」以外のLANモードの設定を変更した場合は、[確定]を選んで変更した設定を決定したあとで、[送信テスト]を行ってください。

●プロジェクト名

本機を含む複数のプロジェクトがLANに接続されている場合、パソコン側でプロジェクトを識別するのに使います。

英数字および記号が使用でき、最大16文字まで入力できます。

参考

- プロジェクト名は、[リセット]を行っても変更されません。

●通信速度

PCコントロール端子(PC CONTROL)のデータ転送速度の設定を行います。接続する機器と転送速度を合わせてください。

参考

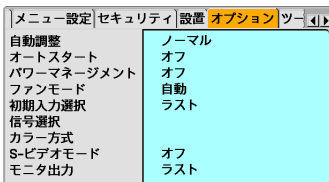
- 通信速度は、[リセット]を行っても変更されません。

●スタンバイモード

本機のスタンバイ状態をノーマルまたは省電力に切り替えます。

ノーマル	本機の電源を切ったときにノーマルになります。 ノーマルではモニタ映像出力端子(MONITOR OUT)から映像信号が出力されます。
省電力	本機の電源を切ったときに省電力になります。 省電力では、ノーマルのときと比べ消費電力が低くなります。

オプション



●自動調整

調整されていないRGB信号に切り替わったときに、表示位置と画素のずれについて調整方法を設定します。

オフ	自動調整を行いません。 本体の (AUTO ADJUST) ボタン、またはリモコンの (AUTO ADJ.) を押して表示を調整してください。 または、オンスクリーンメニューを表示して、クロック周波数や位相を調整してください
ノーマル	簡易的な自動調整を行います。
ファイン	より精密な自動調整を行います。 「ノーマル」よりも処理時間がかかるため、信号を切り替えたあと映像が表示されるまで時間がかかります。

参考

- 工場出荷時は「ノーマル」に設定されています。
- 本体の (AUTO ADJUST) ボタン、またはリモコンの (AUTO ADJ.) を押したときは、「ファイン」と同じ調整処理を行います。

●オートスタート

本機の電源プラグに電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。

オフ	スタンバイ状態になります。
オン	オートスタートが動作し本機の電源が入ります。

注意

- オートスタートを有効にする場合は、本機の主電源スイッチを常に「入」にしておいてください。

●パワーマネージメント

入力選択がコンピュータ1、コンピュータ2、コンピュータ3*、コンポーネント、ビデオ、S-ビデオのとき、設定した時間以上信号入力がないと自動的に本機の電源を切ります。(※コンピュータ3はLT380Jのみ)

オフ	パワーマネージメント機能は働きません
0:05/0:10/ 0:20/0:30	設定した時間 (5分/10分/20分/30分) 以上信号入力がないと自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。

●ファンモード

本機内部の温度を下げるため冷却ファンを、常に高速で回転させます。

自動	本機内部の温度センサにより、適切な速度で回転します。
高速	常に高速で回転させます。



- 数日間連続して本機を使用する場合は、必ず「高速」にしてください。

●初期入力選択

本機の電源を入れたとき、どの入力信号(入力端子)にするかの設定を行います。

ラスト	最後に映した入力信号を映します。
自動	入力信号の自動検出を行い、最初に見つかった入力信号を映します。
選択	選択した入力信号を映します。 この選択項目の下のプルダウンリストの中から、目的の入力信号を選択します。

●信号選択

本機の各映像入力端子の信号モードを選択します。

コンピュータ1、2	DVDプレーヤなどのコンポーネント信号を、コンピュータ1映像入力端子(COMPUTER 1 IN)およびコンピュータ2映像入力端子(COMPUTER 2 IN)に専用ケーブルで接続する場合に選択します。 (▶ 32ページ) また、コンピュータ1映像入力端子(COMPUTER 1 IN)には、ヨーロッパで使用されているSCARTケーブルを接続することができます。
コンポーネント	ビデオデッキなどのビデオ信号を、コンポーネント映像入力端子(COMPOONENT IN)の「Y」端子に入力している場合は「ビデオ」を選択します。

●カラー方式

NTSCやPALなど、国によって異なるテレビジョン映像信号方式を選択します。

●S-ビデオモード

S-ビデオ入力信号に含まれているS2識別信号を検知して、16:9のスクイーズ信号を適切なアスペクト比で表示できます

オフ	S2識別信号を判別しません。
S2	S2識別信号を判別します。



- S2識別信号を検知しているときは、[アスペクト]を切り替えることができません。

●モニタ出力

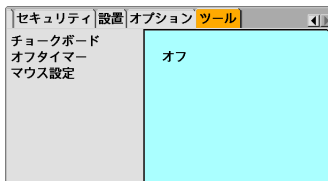
本機がスタンバイ状態のときにモニタ出力端子 (MONITOR OUT) から出力する信号を選択します。

ラスト	コンピュータ1、コンピュータ2、コンポーネントのうち、スタンバイ状態になる前に出力していた信号を出力します。
コンピュータ1	コンピュータ1映像入力端子 (COMPUTER 1 IN) の信号を出力します。
コンピュータ2	コンピュータ2映像入力端子 (COMPUTER 2 IN) の信号を出力します。
コンポーネント	コンポーネント映像入力端子 (COMPONENT) の信号を出力します。

注意

- 本機の [スタンバイモード] を「省電力」に切り替えると、本機の電源が入っていないとき (POWERインジケータがオレンジ色で点灯し、STATUSインジケータが消灯しているとき) にモニタ出力端子 (MONITOR OUT) から映像信号が出力されなくなります。

ツール



●チョークボード

市販のUSBマウスを本機に接続すると「チョークボード」機能が使用できます。操作について詳しくは、「4-9.投写画面に文字や図形を描く(チョークボード)」(64ページ)をご覧ください。

●オフタイマー

オフタイマーを設定しておく、本機の電源の切り忘れ防止になり、省エネになります。[登録時間]後に本機の電源が切れます(スタンバイ状態になります)。[残り時間]には、本機の電源が切れるまでの残り時間が表示されます。

●マウス設定

市販のUSBマウスを本機と接続すると、マウスを使用してメニュー操作ができます。(59ページ)このときのマウスの設定です。

マウスポインタ	投写画面に表示されるマウスポインタの形状(デザイン)を選択します。			
ボタン設定	マウスの左右ボタンの役割を入れ替えます。			
	<table border="1"><tr><td>右手用</td><td>マウスボタンが右手用の動作をします。</td></tr><tr><td>左手用</td><td>マウスボタンが左手用の動作をします。</td></tr></table>	右手用	マウスボタンが右手用の動作をします。	左手用
右手用	マウスボタンが右手用の動作をします。			
左手用	マウスボタンが左手用の動作をします。			
スピード設定	マウスを動かしたときのポインタの速度を3つのレベルから選択します。			

6-6. 情報

使用時間	信号 ページ1	信号 ページ2	LAN 内蔵	LAN PCカード
ランプ残量				
ランプ使用時間	00000[時間]			
フィルタ使用時間	00000[時間]			
機器使用時間	00000[時間]			

使用時間	信号 ページ1	信号 ページ2	LAN 内蔵	LAN PCカード
入力端子	コンピュータ1			
信号形式	RGB			
ビデオ標準	---			
信号名	SVGA			
登録番号	1			

使用時間	信号 ページ1	信号 ページ2	LAN 内蔵	LAN PCカード
水平同期周波数	60.00[KHz]			
垂直同期周波数	75.03[Hz]			
同期形態	セパレート			
同期極性	H(+)/V:(+)			
走査方式	ノンインターレース			

使用時間	信号 ページ1	信号 ページ2	LAN 内蔵	LAN PCカード
IPアドレス	192.168. 10. 10			
サブネットマスク	255.255.255. 0			
ゲートウェイ	. . .			
MACアドレス	00-02-70-00-00-04			

使用時間	信号 ページ1	信号 ページ2	LAN 内蔵	LAN PCカード
IPアドレス	. . .			
サブネットマスク	. . .			
ゲートウェイ	. . .			
MACアドレス	- - - - -			

信号 ページ1	信号 ページ2	LAN 内蔵	LAN PCカード	LAN 無線	Ver
SSID	---				
通信モード	---				
WEP	---				
チャンネル	---				
信号レベル	---				

信号 ページ2	LAN 内蔵	LAN PCカード	LAN 無線	Version
Firmware	1.00			
Data	1.00			

ランプ使用時間、本機の使用時間、入力選択されている入力信号の詳細、内蔵のLANポートおよびPCカード（無線LANカード）のLAN設定の状態、およびバージョン情報を表示します。

- 信号ページ1、信号ページ2は、色が極端におかしかったり、画面が流れたり、映像が映らない場合、入力信号が本機に適しているかの確認に使用します。「対応解像度一覧」(151ページ)もあわせてご覧ください。

参考

● ランプ残量／ランプ使用時間の表示について

本機にはエコモード機能があります。ノーマルモードとエコモードではランプ交換時間(目安)*が異なります。

[ランプ使用時間] はランプの通算使用時間を示し、[ランプ残量] はランプの使用時間に対する残量をパーセントで表示しています。

- 0%になると画面上に「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」のメッセージが表示されます(メッセージは、投写中も表示され続けます)。新しいランプと交換してください。交換のしかたは「7-4. ランプとフィルタの交換」(136ページ)をご覧ください。
- ランプ交換時間(目安)*に到達(ランプ残量0%)後、[ランプ残量]表示は赤色の時間表示に変わります。このとき、[ランプ残量]表示は「100時間」と表示され、そのあとランプを投写しただけ時間がマイナスされていきます。そして[ランプ残量]表示が「0時間」になると、本機の電源が入らなくなります。

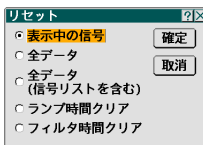
	ランプ使用時間		ランプ残量
	ノーマルモードでのみ使用 (最小)	エコモードでのみ使用 (最大)	
工場出荷時	0000時間		100%
ランプ交換時間 (目安)*	2000時間	3000時間	0%

※保証時間ではありません。

- 機器使用時間は、[リセット]を行っても変更されません。



6-7. リセット



本機に記憶されている全調整・設定値、または表示中の信号について、調整した調整値を工場出荷状態に戻します。

リセットの処理には多少時間がかかります。

●表示中の信号

表示中の信号について、調整した調整値が工場出荷状態に戻ります。

注意 ● 信号リストでロックされている信号調整値は変更されません。

●全データ

すべての調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。

【リセットされないデータ】

[信号リスト]・[表示言語]・[バックグラウンド]・[本体キーロック]・[メニューロック]・[ロゴロック]・[セキュリティ]・[LANモード]・[プロジェクト名]・[通信速度]・[ランプ残量]・[ランプ使用時間]・[フィルタ使用時間]・[機器使用時間]・[スタンバイモード]

●全データ (信号リストを含む)

信号リストに登録されている内容を含め、すべての調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。

【リセットされないデータ】

[表示言語]・[バックグラウンド]・[本体キーロック]・[メニューロック]・[ロゴロック]・[セキュリティ]・[LANモード]・[プロジェクト名]・[通信速度]・[ランプ残量]・[ランプ使用時間]・[フィルタ使用時間]・[機器使用時間]・[スタンバイモード]

注意 ● 信号リストでロックされている信号の調整値は削除されません。

●ランプ時間クリア

ランプ交換を行ったときに[ランプ残量]と[ランプ使用時間]をクリアします。

注意 ● ランプ時間は、[データリセット]ではクリアされません。

●フィルタ時間クリア

フィルタの清掃または交換を行ったときに[フィルタ使用時間]をクリアします。

注意 ● フィルタ時間は、[データリセット]ではクリアされません。

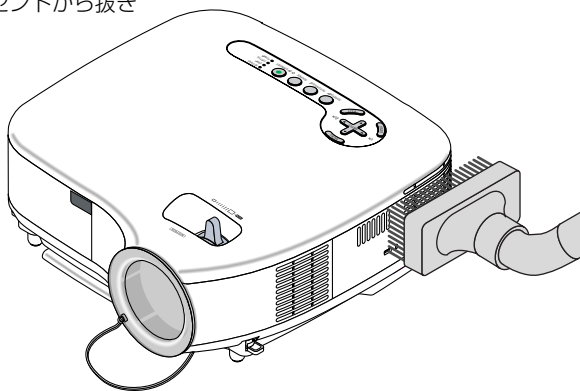
7. 本体のお手入れ／ランプの交換

7-1. フィルタの清掃

吸気口のフィルタはプロジェクター内部をほこりや汚れから守っています。フィルタにほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに掃除をしてください。設置場所にもよりますが100時間を目安に掃除をしてください。

1 フィルタを掃除する。

フィルタは本体右側面に1個あります。電源を切り電源プラグをコンセントから抜きます。掃除機で吸気口越しにフィルタの清掃を行ってください（フィルタカバーを外す必要はありません）。

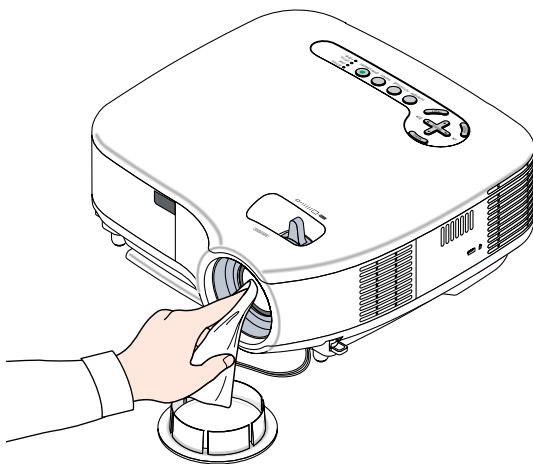


2 フィルタ使用時間をクリアする。

電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。メニューの[リセット]の「フィルタ時間クリア」を選択してください。
(👉 [前ページ](#))

7-2. レンズの清掃

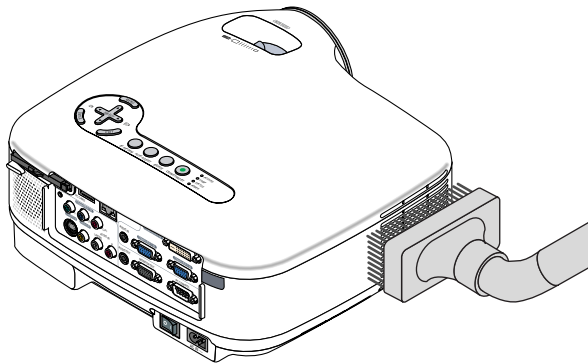
カメラのレンズと同じ方法で（市販のカメラ用ブローワーやメガネ用クリーニングペーパーを使って）クリーニングしてください。その際レンズを傷つけないようにご注意ください。



7-3. キャビネットの清掃

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 毛羽立ちの少ないやわらかい乾いた布でふいてください。
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風孔やスピーカ部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用して吸い取ってください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。



側面の通気孔と背面のスピーカ部のほこりを吸い取ります。

- 通風孔にほこりがたまると、空気のとおりが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに掃除をしてください。設置環境にもよりますが100時間を目安に掃除をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の掃除については、お買い上げの販売店またはNECプロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

注意

- キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるとの原因となります。

7-4. ランプとフィルタの交換

光源に使われているランプの使用時間がランプ交換時間(目安)* (👉 130ページ) を超えるとLAMPインジケータが赤く点滅し、メッセージ「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」が画面上に表示されます。

この場合は光源ランプの交換時期ですので、新しいランプと交換してください。

なお、エコモードで使用している割合が多いとランプ交換時間(目安)*が延びます。したがってこの場合ランプ使用時間は延びることになります。現在のランプ使用残量の目安はオンスクリーンメニューの[情報(使用時間)] (👉 130ページ) をご覧ください。

- 交換用ランプは販売店でお求めください。ご注文の際は交換用ランプ形名VT75LPとご指定ください。
- 交換用ランプにはフィルタが添付されていますので、ランプを交換したあとにフィルタも交換してください。
- 指定のネジ以外は外さないでください。
- ランプハウスには、ランプ保護のためガラスが付いています。誤って割らないよう取り扱いには注意してください。
また、ガラス表面には触れないでください。輝度にかかわる性能劣化の原因となります。
- メッセージが表示されてもなお使用を続けると、ランプが切れることがあります。ランプが切れるときには、大きな音をともなって破裂し、ランプの破片がランプハウス内に散らばります。この場合は、NECプロジェクター・カスタマサポートセンターまたは販売店に交換を依頼してください。
- 本機を天吊りで設置した状態でランプ交換を行う場合は、本機の下部に人が入らないように注意してください。ランプが破裂している場合に、ランプの破片が飛散するおそれがあります。
- ランプ交換時間(目安)*に到達後100時間を超えて使用すると、LAMPインジケータが赤く点灯するとともにスタンバイ状態になり電源が入らなくなります。

※保証時間ではありません。



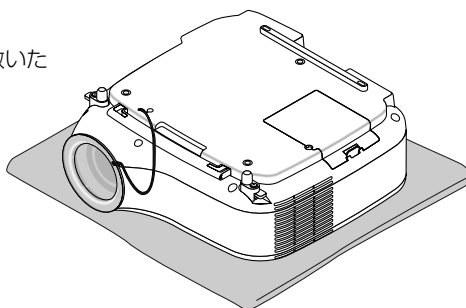
ランプの交換は、電源を切りしばらく待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、約60分おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。

ランプの交換

準備：プラスドライバーを用意してください。

1 本機を裏返しにする。

傷つかないように、やわらかい布などを敷いた上に静かに置いてください。

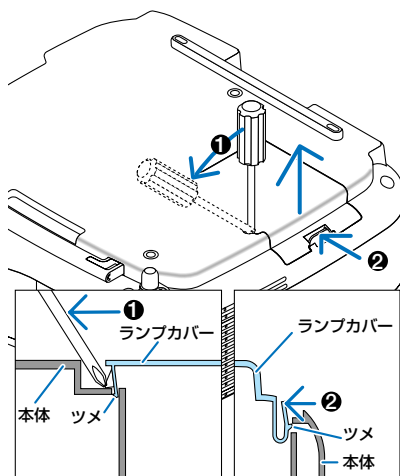


2 ランプカバーを外す。

ランプカバーは2箇所のツメを外した状態でランプカバーを持ち上げます。

①ドライバーをランプカバーの穴に差し込み、ツメを押したまま ②フックを押します。これで両方のツメが本体から外れます。

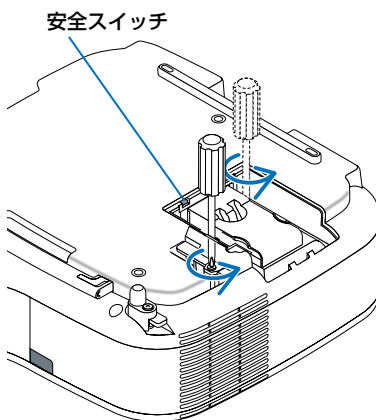
そのまま、ランプカバーを上を持ち上げます。



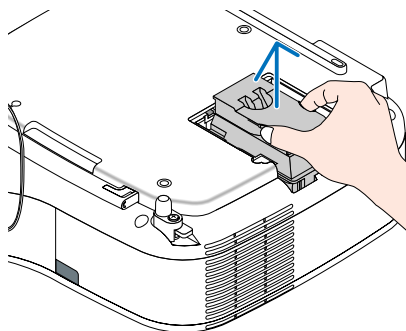
2 ランプハウスを外す。

①ランプハウス固定のネジ(2箇所)を左に空転するまでゆるめる。

- ・ネジは外れません。
- ・本機には安全スイッチが付いています。安全スイッチには触れないでください。

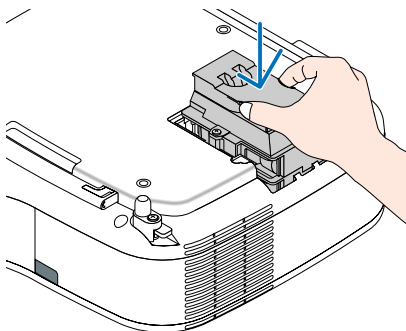


- ② ランプハウスのつまみを指で挟んで持ち上げる。

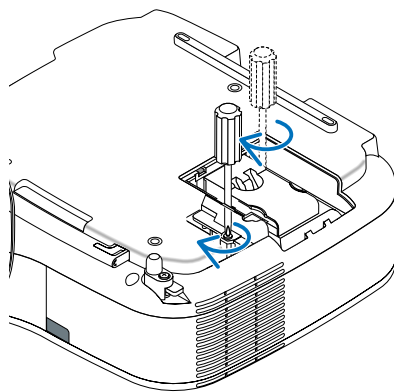


4 新しいランプハウスを取り付ける。

- ① ランプハウスを静かに入れる。

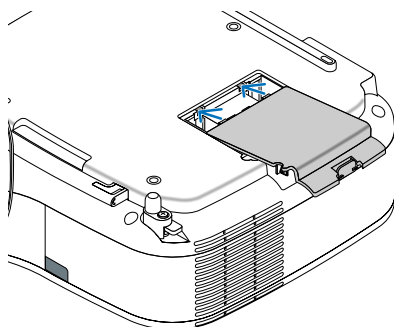


- ② ランプハウス固定のネジ (2箇所) を右に回してしめる。
・ネジは確実にしめてください。

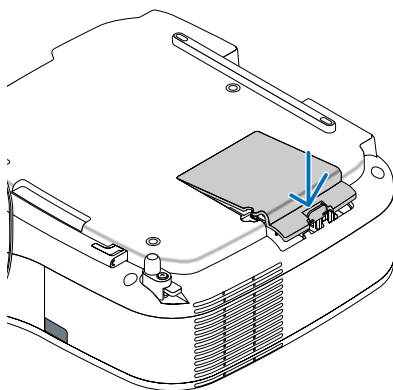


5 ランプカバーを取り付ける。

- ① ランプカバーのツメを本体のガイドに入る。



- ② ランプカバーをしめる。
- ・ 「カチッ」と音がしてランプカバーが固定されるまで押します。



- ⑥ 本機をもとの状態に戻し、電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる。

- ⑦ ランプ残量とランプ使用時間をクリアする。

オンスクリーンメニューの [リセット] で、「ランプ時間クリア」を実行してください。

(▶ 132ページ)

これで、ランプ交換が終わりました。

参考

- ランプ交換時間 (目安) * (▶ 130ページ) に到達後100時間を超えて使用すると、電源が入らなくなります。その場合は、スタンバイ状態でリモコンの (HELP) ボタンを10秒以上押すことでランプ残量とランプ使用時間をクリアできます。クリアされたかどうかは、LAMPインジケータが消灯することで確認できます。
※保証時間ではありません。

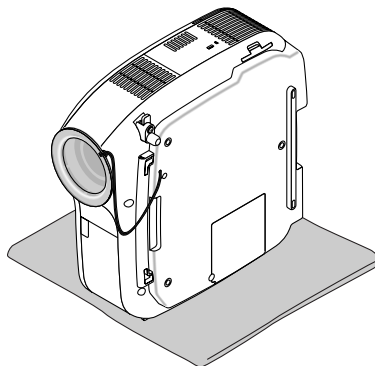
フィルタの交換

注意

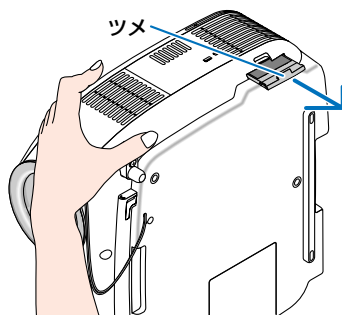
- フィルタを交換するときは、プロジェクター本体のほこりをよくふき取ってから行ってください。
- プロジェクターは精密機器ですので、内部にほこりが入らないようにご注意ください。
- フィルタは水洗いしないでください。目詰まりの原因となります。

準備：先にランプの交換を行ってください。(▶ 137ページ)

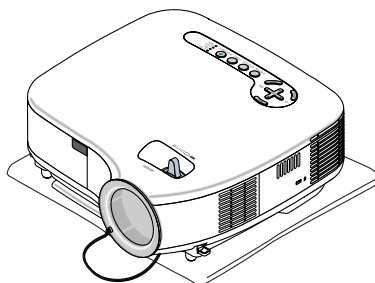
- 1** フィルタ部分が上になるよう、本体左側面を下にして本体を立てる。
傷を付けないように、やわらかい布などを敷いた上に静かに立ててください。
また、本体が倒れないよう手でしっかりと固定してください。



- 2** ツメに指をかけ、矢印の方向にフィルタカバーを引き抜いて外す。

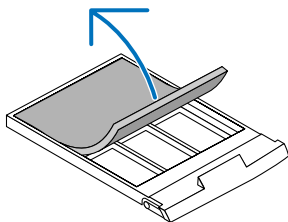


- 3** 本体を水平位置に戻す。



4 フィルタを交換する。

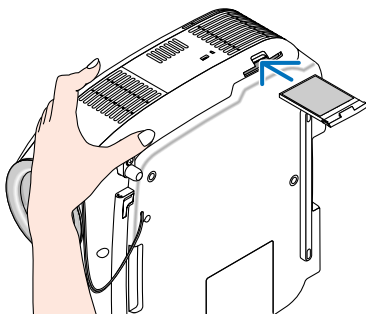
- 1 フィルタを外して、フィルタカバーを清掃する。
- 2 新しいフィルタの両面テープをはがし、フィルタカバーに取り付ける。



5 もう一度、本体左側面を下にして本体を立てる。

6 フィルタカバーを取り付ける。

- ・「カチッ」と音がしてフィルタカバーが固定されるまで差し込みます。



7 本体を水平位置に戻す。

8 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる。

9 フィルタ使用時間をクリアする。

オンスクリーンメニューの[リセット]の「フィルタ時間クリア」を選択してください。

(▶132ページ)

8. 付 録

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときはお買い上げの販売店またはNECプロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	39
	主電源スイッチは「I (入)」になっていますか。	41
	ランプカバーが正しく取り付けられていますか。	138
	ランプ交換時間(目安)*を超えて使用していませんか。 新しいランプに交換してください。 交換後、本機をスタンバイ状態にして、リモコンの (HELP) ボタンを10秒以上押し続けてください。本機内部で管理しているランプ時間の値がクリアされ電源が入るようになります。 ※保証時間ではありません。	130
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	147
使用中に電源が切れる	オンスクリーンメニューの「パワーマネージメント」を「オン(時間を選択)」にしていますか。	127
映像が出ない	接続している入力を選んでいませんか。	43
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	27 ~ 34
	[調整]の明るさ、コントラストが最小になっていませんか。	104
	DVDプレーヤをコンピュータ1または2映像入力端子と接続しているとき、RGB/コンポーネントの選択を行っていますか。	128
	RGB (コンピュータ1,2) 入力の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 パソコンの解像度を確認してください。	151
	RGB (コンピュータ1,2) 入力の場合、画面調整を正しく行っていますか。	51
	パソコンの画面がうまく投写できない場合は、144ページをご覧ください。	—
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	95

	それでも解決しない場合は、[リセット]を行ってみてください。	132
	セキュリティがオンになっている場合は、本機の電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたキーワードを入力しないと映像は投写されません。	116
映像が歪む	正しく設置されていますか。	46
	台形状に歪む場合は台形補正を行ってください。	49
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	48
	投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。	46
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	148 ~ 150
	レンズなどが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとレンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	—
映像の画質が悪い	RGB (コンピュータ1,2) の場合は、本体の (AUTO ADJUST) ボタンまたはリモコンの (AUTO ADJ.) ボタンを押してください。	51
水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない	RGB (コンピュータ1,2) 入力の場合、[表示位置 (水平、垂直)] を正しく調整しましたか。	105
	RGB (コンピュータ1,2) 入力の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 パソコンの解像度を確認してください。	151
RGB (コンピュータ1,2) 入力 で文字がちらついたり色がずれている	(AUTO ADJ.) ボタンを押してください。改善されない場合は、オンスクリーンメニューの [クロック周波数] と [位相] を調整してください。	51 104
リモコンで操作できない	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	24
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	24
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。	24
	リモコンの有効範囲 (7m) を超えていませんか。	24
	本機のリモコンを使って、パソコンのマウス操作を行う場合は、添付のマウスレシーバをパソコンに接続してください。	60
インジケータが点滅する	インジケータ表示一覧をご覧ください。	146
USBマウスが動作しない	USBマウスが正しく取り付けられていますか。マウスによっては使用できないものもあります。	59

パソコンの画面がうまく投写できない場合

パソコンを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

●パソコンの起動のタイミング

パソコンと本機をRGB信号ケーブルで接続し、本機とコンセントを電源コードで接続して本機をスタンバイ状態にしてから、パソコンを起動してください。

特にノートパソコンの場合、接続してからパソコンを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。

参考

- 本機のオンスクリーンメニューを表示して、[情報]の[水平同期周波数]を確認してください。
水平同期周波数が「---」と表示されているときは、パソコンから外部出力信号が出力されていません。(🔄 130ページ)

●パソコンの起動後に操作が必要な場合

ノートパソコンの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります（ノートパソコン自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません）。

参考

- Windowsのノートパソコンの場合は、ファンクションキーを使って「外部」に切り替えます。

[Fn]キーを押したまま(⇧/⇩)などの絵表示や(LCD/VGA)の表示があるファンクションキーを押すと切り替わります。しばらく(プロジェクターが認識する時間)すると投写されます。

【パソコンメーカーとキー操作の例】

[Fn] + [F3]	NEC、Panasonic、GATEWAY、SOTEC
[Fn] + [F4]	HP
[Fn] + [F5]	TOSHIBA、SHARP、MITSUBISHI
[Fn] + [F7]	SONY、IBM、HITACHI
[Fn] + [F8]	DELL、EPSON
[Fn] + [F10]	FUJITSU

通常、キーを押すごとに「外部出力」→「パソコン画面と外部の同時出力」→「パソコン画面」…と繰り返します。

表に記載されていないメーカーのノートパソコンをお使いの場合は、ノートパソコンのヘルプ、または取扱説明書をご覧ください。

●ノートパソコンの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートパソコンの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。

多くの場合、ノートパソコンの制限（パソコン自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない）によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整を行っても正常に表示されないことがあります。

上記の場合は、ノートパソコンの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする（液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い）操作を行うと、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

●Macintoshを起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Macintosh用信号アダプタ（市販品）を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Macintoshおよび本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなることがあります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを13インチ固定モードに設定し、Macintoshを再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

●PowerBookと本機を同時に表示させる場合

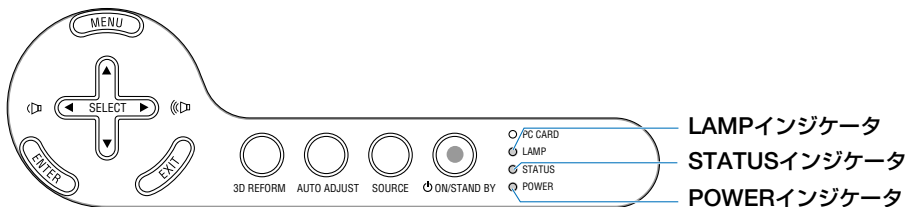
PowerBookディスプレイの「ビデオミラーリング」を「切」にしないと外部出力を1024×768ドットに設定できないことがあります。

●Macintoshの投写画面からフォルダなどが切れている場合

Macintoshに接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、MacintoshのFinder画面で「option」キーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。

インジケータ表示一覧

本体操作部の3つのインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。



●POWERインジケータ

インジケータ表示	本機の状態	行ってください	
消灯	主電源OFF	—	
点滅	緑色(短い点滅)	電源ON準備中	しばらくお待ちください。
	緑色(長い点滅)	オフタイマー(有効状態)	—
	オレンジ色	本体冷却中	しばらくお待ちください。
点灯	緑色	電源ON状態	—
	オレンジ色	スタンバイ状態、省電力状態	—

●STATUSインジケータ

インジケータ表示	本機の状態	行ってください	
消灯	異常なし	—	
点滅	赤色(1回周期)	カバー異常	ランプカバーが正しく取り付けられていません。正しく取り付けください。(▶138ページ)
	赤色(2回周期)	温度異常	温度プロテクタが動作しています。室温が高い場合は、本機を涼しい場所へ移動してください。(▶147ページ)
	赤色(3回周期)	電源異常	電源が正常に動作していません。販売店へ修理を依頼してください。
	赤色(4回周期)	ファン異常	冷却ファンの回転が停止しています。販売店へ修理を依頼してください。
	赤色(6回周期)	ランプ不点灯	ランプが点灯しません。1分以上待って再度電源を入れてください。それでも点灯しない場合は販売店にご相談ください。
	緑色	ランプ点灯失敗後の再点灯準備中	しばらくお待ちください。
	オレンジ色	ネットワークの競合	本機の内蔵LANと無線LANを同時に同じネットワークに接続することはできません。本機の内蔵LANと無線LANを同時にネットワークに接続する場合は、異なるネットワークに接続してください。(▶121ページ)
点灯	緑色	スタンバイ状態(スタンバイモードが「ノーマル」のとき)	—
	オレンジ色	本体キーロック中にボタンを押したとき	本体キーロック中です。操作する場合は、設定を解除する必要があります。(▶113ページ)

●LAMPインジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		異常なし	—
点滅	赤色	ランプ交換猶予時間中	ランプ残量が0%になり、ランプ交換の猶予時間(100時間)中です。すみやかにランプを交換してください。(🔗136ページ)
点灯	赤色	ランプ使用時間超過	ランプ使用時間を超過しています。ランプを交換するまで本機の電源は入りません。(🔗136ページ)
	緑色	ランプエコモード	—

●温度プロテクタが働いたときは

本機内部の温度が異常に高くなると、ランプが消灯し、STATUSインジケータが点滅します(2回点滅の繰り返し)。

同時に本機の「温度プロテクタ」機能が働いて、本機の電源が切れることがあります(この場合インジケータは点灯しません)。

このようなときは、以下のことを行ってください。

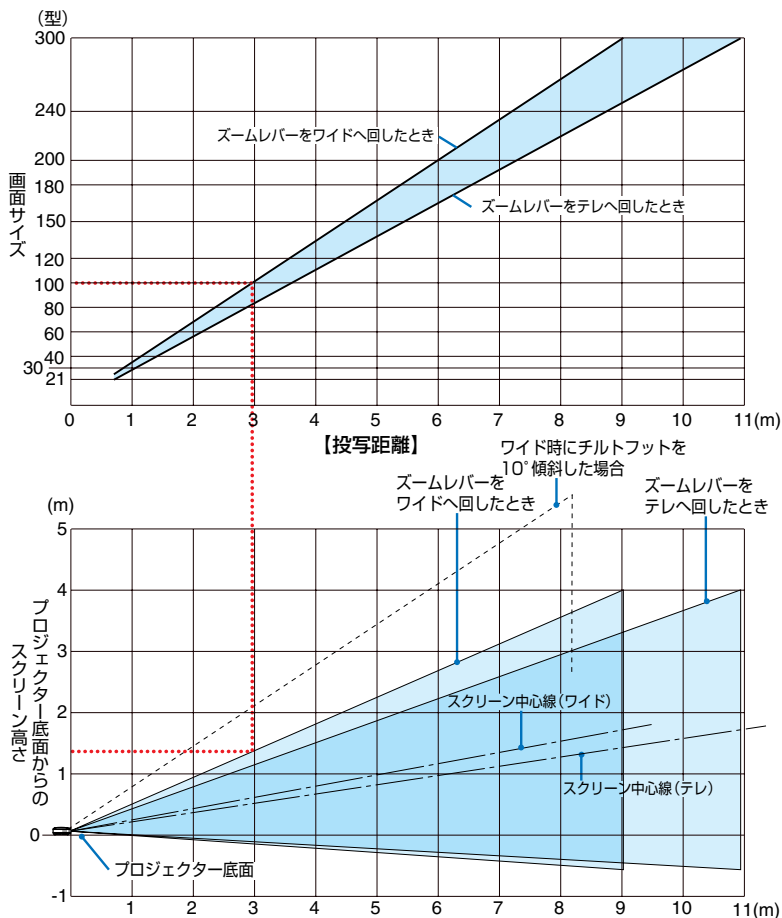
- 冷却ファンの回転が終了したら、主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- 通風孔にほこりがたまっていたら、掃除してください。(🔗135ページ)
- 本機内部の温度が下がるまで、約60分間そのままにしてください。

投写距離とスクリーンサイズ

この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、どのくらいのスクリーンを用意すればいいのか、また、目的の大きさで映すにはどのくらいの距離が必要かを知らりたいときの目安にしてください。

LT380Jの投写距離

フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から0.7m（21型の場合）～10.9m（300型の場合）です。この範囲で設置してください。

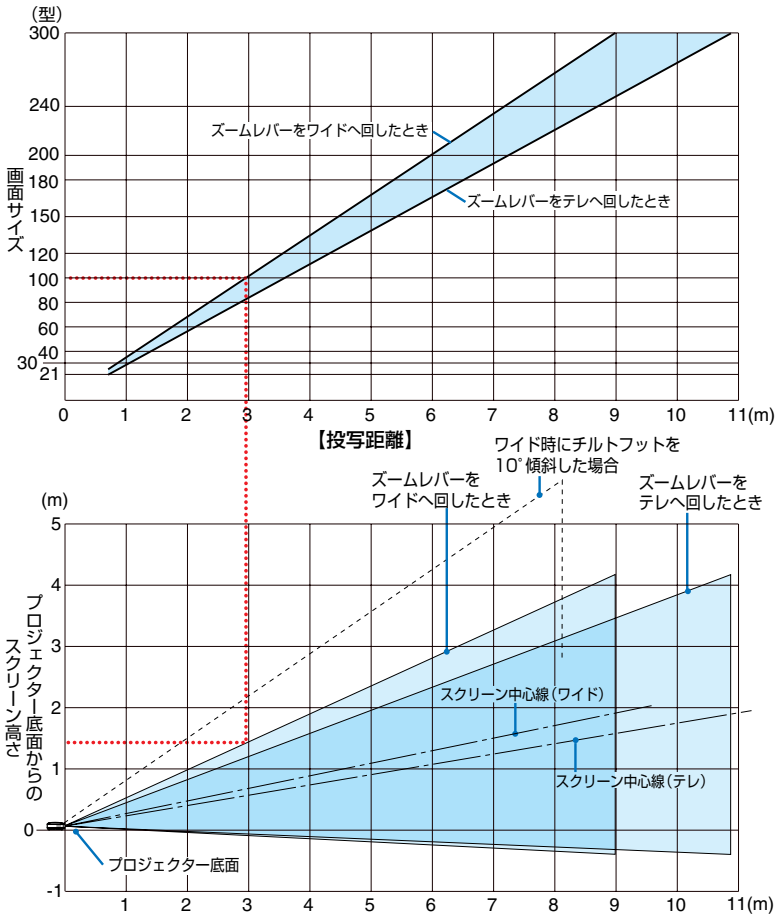


【表のみかた】

100型スクリーンにワイドで映すには表より、3m付近に設置することになります。また、下の表はプロジェクター底面からスクリーンの上端までが約1.3m必要となりますので、プロジェクターを置いた台から天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。(図はプロジェクターを水平に調整したとき) チルトフットにより上へ最大約10°上げることができます。

LT280Jの投写距離

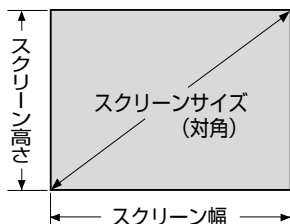
フォーカス(焦点)の合う投写距離は、レンズ前面から0.7m (21型の場合)～10.9m (300型の場合)です。この範囲で設置してください。



【表のみかた】

100型スクリーンにワイドで映すには表より、3m付近に設置することになります。また、下の表はプロジェクター底面からスクリーンの上端までが約1.4m必要となりますので、プロジェクターを置いた台から天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。(図はプロジェクターを水平に調整したとき) チルトフットにより上へ最大約10°上げることができます。

スクリーンサイズと寸法表

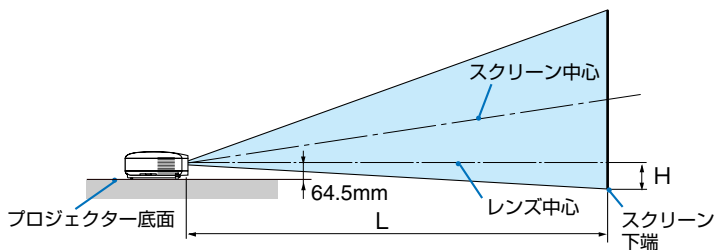


サイズ (型)	スクリーン幅 (cm)	スクリーンの高さ (cm)
21	42.7	32.0
25	50.8	38.1
30	61.0	45.7
40	81.3	61.0
60	121.9	91.4
80	162.6	121.9
100	203.2	152.4
120	243.8	182.9
150	304.8	228.6
180	365.8	274.3
200	406.4	304.8
240	487.7	365.8
300	609.6	457.2

デスクトップの例

下の図はデスクトップで使用するときの例です。
 水平投写位置……レンズを中心に左右均等
 垂直投写位置……（下表参照）

スクリーン サイズ (型)	LT380J			LT280J		
	投写距離 L (m)		寸法 H (cm)	投写距離 L (m)		寸法 H (cm)
	ワイド時	テレ時		ワイド時	テレ時	
21	—	0.71	4.5	—	0.72	3.3
25	0.69	0.85	5.4	0.71	0.86	3.9
30	0.84	1.04	6.4	0.86	1.05	4.7
40	1.15	1.40	8.6	1.16	1.41	6.2
60	1.75	2.14	12.9	1.76	2.14	9.3
80	2.36	2.87	17.1	2.36	2.87	12.5
100	2.97	3.60	21.4	2.96	3.59	15.6
120	3.57	4.34	25.7	3.57	4.32	18.7
150	4.48	5.44	32.2	4.47	5.41	23.4
180	5.39	6.54	38.6	5.37	6.51	28.0
200	6.00	7.27	42.9	5.97	7.23	31.1
240	7.21	8.74	51.4	7.18	8.69	37.4
300	9.03	10.94	64.3	8.98	10.87	46.7



参考

- 設計値のため、±5%の誤差があります。

対応解像度一覧

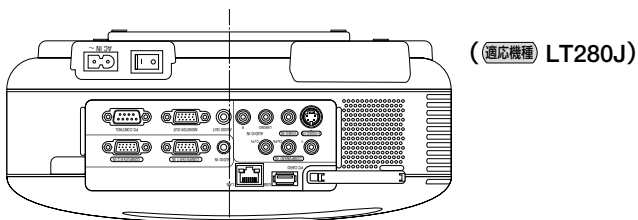
機種	解像度	走査周波数		対応状況	
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)		
ビデオ	NTSC/PAL60	—	15.73	60.0	◎
	PAL/SECAM	—	15.63	50.0	◎
IBM PC/AT互換機	640 × 350	37.9	85.1	◎	
	640 × 400	31.5	70.1	◎	
	640 × 400	37.9	85.1	◎	
	640 × 480	31.5	60.0	◎	
	640 × 480	37.9	72.8	◎	
	640 × 480	37.5	75.0	◎	
	640 × 480	39.4	75.0	◎	
	640 × 480	43.3	85.0	◎	
	720 × 350	31.5	70.1	◎	
	720 × 350	39.4	87.9	◎	
	720 × 400	39.4	87.9	◎	
	800 × 600	35.2	56.3	◎	
	800 × 600	37.9	60.3	◎	
	800 × 600	48.1	72.2	◎	
	800 × 600	46.9	75.0	◎	
	800 × 600	53.7	85.1	◎	
	1024 × 768	35.5	43.5	◎	
	1024 × 768	48.4	60.0	◎	
	1024 × 768	56.5	70.1	◎	
	1024 × 768	60.0	75.0	◎	
	1024 × 768	68.7	85.0	◎	
	1152 × 864	54.4	60.1	◎	
	1152 × 864	64.0	70.0	○	
	1152 × 864	67.5	75.0	○	
	1152 × 864	77.5	85.0	○	
	1280 × 960	60.0	60.0	○	
	1280 × 960	75.0	75.0	○	
	1280 × 960	85.9	85.0	○	
	1280 × 1024	46.4	43.4	○	
	1280 × 1024	64.0	60.0	○	
	1280 × 1024	80.0	75.0	○	
	1280 × 1024	91.2	85.0	○	
	1400 × 1050	—	60.0	○	
1600 × 1200*	75.0	60.0	○		
1600 × 1200*	81.3	65.0	○		
1600 × 1200*	87.5	70.0	○		
1600 × 1200*	93.8	75.0	○		
Apple Macintosh®	640 × 480	35.0	66.7	◎	
	832 × 624	49.7	74.6	◎	
	1024 × 768	60.2	74.9	◎	
	1152 × 870	68.7	75.1	◎	
	1280 × 1024	69.9	65.2	○	
SUN	1152 × 900	61.8	66.0	○	
SGI	1152 × 900	71.7	76.1	○	
HDTV	720p	45.00	60.0	○	
	1080i	28.13	50.0	○	
	1080i	33.75	60.0	○	
	1080i	67.50	60.0	○	
SDTV	480i	31.47	59.94	◎	
	YCbCr	720 × 480	15.37	59.94	◎
DVD	720 × 576	15.63	50.00	◎	
	720 × 480	31.47	59.94	◎	
	Progressive	720 × 480	31.25	50.00	◎

- ・出荷時はその表示解像度／周波数の標準的な信号に合わせていますが、パソコンの種類によっては調整が必要な場合があります。
- ・ワークステーションとの接続に関する詳細は、当社にお問い合わせください。
- ・コンポジット同期信号などの場合は、正常に表示できない場合があります。

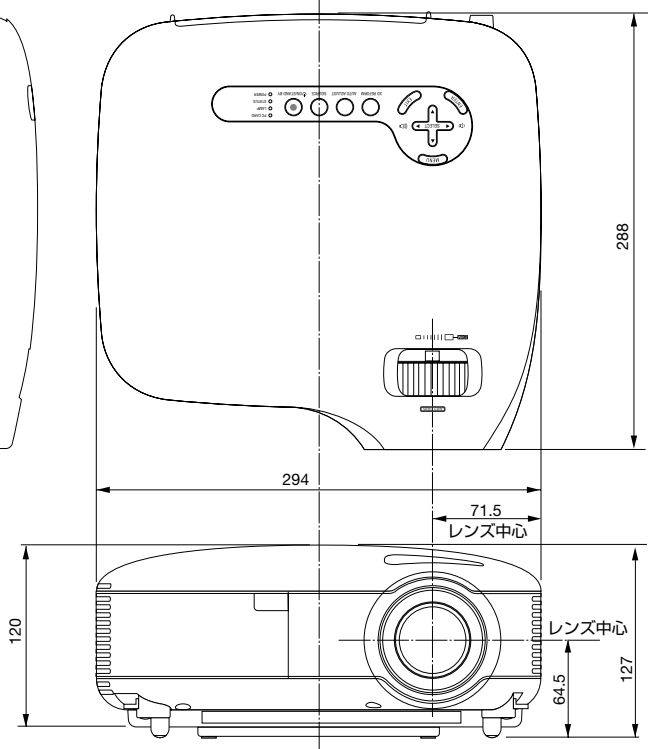
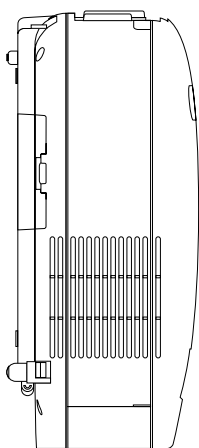
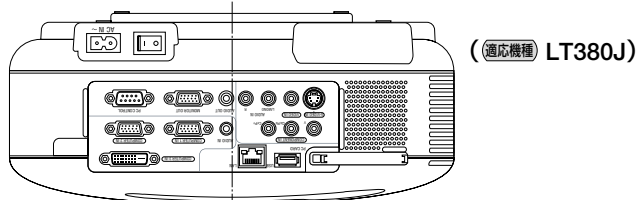
- ・アドバンスド・アキュブレンド表示の場合、文字や野線の太さなどが不均一になる場合があります。
- * U-XGAはセパレート信号のみ対応です。
- ◎：リアル表示
- ：アドバンスド・アキュブレンド対応

外觀図

LT380JとLT280Jのキャビネットの外觀および外形寸法は同じです。
接続端子部が異なります。



単位 : mm

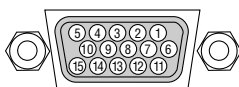


関連商品一覧

商 品 名		形 名
ランプ	交換用ランプ	VT75LP
天吊り金具	天井取付けユニット	NP04CM
スクリーン	100型広視野角スクリーン	VL-S100E
	80型広視野角スクリーン	VL-S80E
	60型広視野角スクリーン	VL-S60E
	40型広視野角スクリーン	VL-S40E
置き台	専用置き台	VL-T6
分配器	RGB信号分配ユニット	VL-DA102E
アダプタ	コンポーネントビデオ変換アダプタ	ADP-CV1E
	D端子変換アダプタ	ADP-DT1E
カード	無線LANカード	NWL-100E
ソフトウェア	NEC Projector User Supportware 3	NP02US

コンピュータ1,2 映像入力端子のピン配列と信号名

各ピンの接続と信号レベル



信号レベル

ビデオ信号：0.7Vp-p (アナログ)

同期信号：TTLレベル

ピン番号	RGB信号 (アナログ)	YCbCr 信号
1	赤	Cr
2	緑またはシンクオングリーン	Y
3	青	Cb
4	接 地	
5	接 地	
6	赤 接 地	Cr 接 地
7	緑 接 地	Y 接 地
8	青 接 地	Cb 接 地
9	非接続	
10	同期信号 接 地	
11	SCART同期入力*1	
12	Bi-directional DATA (SDA)*2	
13	水平またはコンポジット同期	
14	垂直同期	
15	Data Clock*2	

*1 コンピュータ1映像入力端子 (COMPUTER 1 IN) のみ対応 (欧州で使用されているSCARTケーブル用の同期入力です。)

*2 コンピュータ1映像入力端子 (COMPUTER 1 IN) のみ対応 (DDC 2対応)

仕様

●プロジェクター本体

形名		LT380J / LT280J	
方式		三原色液晶シャッタ投映方式	
主要部品仕様	液晶パネル	サイズ	LT380J : 0.8型MLA付き (アスペクト比 4:3) LT280J : 0.7型MLA付き (アスペクト比 4:3)
		画素数 ^(※1)	786,432画素 (1024ドット×768ライン)
	投写レンズ	ズーム	LT380J : マニュアル (1~1.2倍、f=24.2~29.0mm) LT280J : マニュアル (1~1.2倍、f=21.6~25.9mm)
		フォーカス	マニュアル
	光源	200W DCランプ (ランプエコモード時152W)	
光学装置	ダイクロイックミラーによる光分離・クロスダイクロプリズムによる合成方式		
画面サイズ (投写距離)		21~300型 (0.7~10.9m)	
色再現性		フルカラー1,677万色	
音声出力		1W モノラルスピーカ内蔵	
走査周波数	水平	15~100kHz (RGB入力は24kHz以上)	
	垂直	48~120Hz	
主な調整機能		マニュアルズーム、マニュアルフォーカス 入力信号切り替え (コンピュータ1/コンピュータ2/コンピュータ3 (LT380Jのみ) / ビデオ/S-ビデオ/ビューワ/LAN)、 画像自動調整、画面拡大、台形補正、4点補正、画面位置調整、 ミュート (映像/音声とも)、オンスクリーン表示/選択など	
最大表示解像度 (横×縦)		1600×1200 (圧縮表示による対応)	
入力信号	R,G,B,H,V		
	RGB : 0.7Vp-p / 75Ω 正極性 H/V Sync : 4.0Vp-p / TTL 正極性 / 負極性 Composite Sync : 4.0Vp-p / TTL 正極性 / 負極性 Sync on G : 0.3Vp-p / 75Ω 負極性		
	コンポジットビデオ		
	S-ビデオ		
	C : 75Ω 0.286Vp-p		
	コンポーネント		
	Y : 1.0Vp-p / 75Ω 正極性 (With Sync) Cb,Cr (Pb, Pr) : 0.7Vp-p / 75Ω DTV : 525i (480i)、625i (576i)、1125i (1080i)、525p (480p)、 625p (576p)、750p (720p)、1125p (1080p) DVDコンポーネントビデオ信号 (15kHz)		
音声			
0.5Vrms / 22kΩ以上			
入出力端子	コンピュータ	映像入力	ミニD-Sub 15ピン×2
		映像出力	ミニD-Sub 15ピン×1
		音声入力	ステレオミニジャック×1
		音声出力	ステレオミニジャック×1 (ビデオ、S-ビデオの音声出力端子と共通)
	DVI-D	映像入力	DVI-D 24ピン×1 (HDCP対応 ^(※2)) (LT380Jのみ)
		音声入力	(コンピュータの音声入力端子と共通)
	コンポーネント	映像入力	RCA(Y/Cb/Cr)×1
		音声入力	(ビデオの音声入力と共通)
	ビデオ	映像入力	RCA×1
		音声入力	RCA(L/MONO, R)×1
	S-ビデオ	映像入力	ミニDIN 4ピン×1
		音声入力	(ビデオの音声入力と共通)
	PCコントロール端子		D-Sub 9ピン×1
	USBポート		タイプA×1
LANポート		RJ-45×1	
PCカードスロット		TYPE II ×1、カードバス	
使用環境		動作温度 : 5~40℃ ^(※3) 動作湿度 : 20~80% (ただし結露しないこと) 保存温度 : -10~50℃ 保存湿度 : 20~80% (ただし結露しないこと)	
電源		AC 100V 50/60Hz ^(※4)	
消費電力		ランプノーマルモード時 292W、ランプエコモード時 230W	
スタンバイ時消費電力		ノーマル時 16W、省電力時 10W	
定格入力電流		3.3A	

外形寸法	294(幅)×120(高)×288(奥行)mm (突起部含まず)
質量	約3.5kg

(*1)：有効画素数は99.99%です。

(*2)：HDCP/HDCP技術とは？

HDCPとは"High-bandwidth Digital Content Protection"の略称で、DVIを経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCPの規格は、Digital Content Protection, LLCという団体によって、策定・管理されています。

LT380Jには、DVI-D入力端子を装備しています。

LT380JのDVI-D入力端子は、HDCP技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを投写することができます。

ただし、HDCPの規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していても、DVI-D入力端子の映像が表示されることがあります。

(*3)：35～40℃は「強制エコモード」になります。

ただし、無線LANカード使用時の動作温度は5～35℃です。

(*4)：高調波電流回路 JIS C 61000-3-2 適合品です。

・USBポートはUSB規格Ver1.1に準拠。

・この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

●無線LANカード

形名	NWL-100E
動作電源電圧	3.3V
消費電流 (最大)	送信時：615mA (Max) 受信時：395mA (Max)
規格	IEEE802.11、IEEE802.11b、IEEE802.11g ARIB STD-T66
伝送方式	直交周波数分割多重 (OFDM方式) 直接スペクトラム拡散方式 (DS-SS方式)
変調方式	CCK/DQPSK/DBPSK/OFDM
無線通信速度	11b：11/5.5/2/1 11g：54/48/36/24/18/12/9/6 (Mbps)
送信周波数範囲	2412～2472MHz (中心周波数)
チャンネル	1ch～13ch
外形寸法	54 (幅) × 5 (高さ) × 88 (奥行) mm
質量	33g

保証と修理サービス(必ずお読みください)

保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

●保証期間

本体	お買い上げ日から1年間です。
本体に付属のランプ	次の(1)と(2)の早いほうまでです。 (1)お買い上げから6か月間。 (2)ランプ残量(🔵130ページ)が50%になるまで。
無線LANカード	お買い上げ日から1年間です。

補修用性能部品の保有期間

当社は、このプロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問はお買い上げの販売店またはNECプロジェクター・カスタマサポートセンターにお願いいたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(🔵142ページ)に従って調べていただき、あわせて「トラブルチェックシート」(🔵157、158ページ)で現象を確認してください。

その上でなお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはNECプロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

●保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	NECデータプロジェクター
形名	LT380J / LT280J
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

べんり メモ	お買い上げ 店名	☎() -
-----------	-------------	--------

修理料金の仕組み

- ・技術料
故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
+
- ・部品代
修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
+
- ・引取費用
製品を引き取りするための費用です。

トラブルチェックシート

本シートはトラブルに関するお問い合わせの際、迅速に故障箇所を判断させていただくためにご記入をお願いするものです。本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。それでもトラブルが回避できない場合、本シートをご活用いただき、具体的な症状をNECプロジェクター・カスタマサポートセンターの受付担当者へお伝えください。

※このページと次のページを印刷してお使いください。

発生頻度 常時 時々 (回中 回) その他 ()

電源関係

- 電源が入らない (POWERインジケータが緑色に点灯しない)。
 - 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
 - 主電源スイッチは「入」になっている。
 - ランプカバーは正しく取り付けられている。
 - ランプを交換した場合、ランプ時間をクリアした。
 - (POWER) ボタンを2秒以上押ししても電源が入らない。
- 使用中、電源が切れる。
 - 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
 - ランプカバーは正しく取り付けられている。
 - パワーマネージメント機能がある機種においてパワーマネージメントは「オフ」に設定されている。
 - オフタイマー機能がある機種においてオフタイマーは「オフ」に設定されている。

映像・音声関係

- パソコンの画面が映写されない。
 - パソコンと本機を接続したあとにパソコンを起動してもなおらない。
 - ノートパソコンにおいて外部出力信号が出力されている。
IBM PC/AT互換機の場合は、[Fn]キー+[F1]~[F12]キーのいずれかを押しと外部出力信号が出力されます(パソコンによって異なります)。
- 映像が出ない (ブルーバック・ロゴ・表示なし)。
 - (AUTO ADJUST) ボタンを押ししてもなおらない。
 - [リセット] を実行してもなおらない。
 - 入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。
 - 画面に何かメッセージが出ている。()
 - 接続している入力を選択している。
 - 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。
 - 入力是对応している解像度・周波数の信号である。
- 映像が歪む。
 - 台形に歪む (台形補正を実行してもなおらない)。
- 映像が切れる。
 - (AUTO ADJUST) ボタンを押ししてもなおらない。
 - [リセット] を実行してもなおらない。
 - 水平または垂直方向に映像がずれる。
 - コンピュータ映像入力の場合、水平位置・垂直位置は正しく調整されている。
 - 入力是对応している解像度・周波数の信号である。
 - 数ドット欠けている。
- 映像がちらつく。
 - (AUTO ADJUST) ボタンを押ししてもなおらない。
 - [リセット] を実行してもなおらない。
 - コンピュータ映像入力力で文字がちらついたり、色がずれている。
- 映像がぼやける・フォーカスが合わない。
- 音が出ない。
 - 音声入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。
 - 音量を調整してもなおらない。

その他

- リモコンが利かない。
 - リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。
 - 蛍光灯の近くに本体が設置されている。
- 本体操作パネルのボタンが利かない。
[本体キーロック] 設定のある機種において
 - 本体キーロック設定は「オフ」または「無効」に設定されている。
 - 本体の (EXIT) ボタンを10秒以上押ししてもなおらない。

症状を具体的に記入してください。

使用状況・環境

プロジェクター

形名： LT380J LT280J

製造番号：

購入時期：

ランプ使用時間：

ランプモード： ノーマル エコ

入力信号情報：

水平同期周波数 [kHz]

垂直同期周波数 [Hz]

同期極性 H (+) (-)

V (+) (-)

同期形態 セパレート コンボジット

シンク オン グリーン

STATUSインジケータの状態

点灯 (オレンジ・緑)

点滅 (回周期)

設置環境

スクリーンサイズ： 型

タイプ： ホワイトマット ビーズ 偏光

広視野角 ハイコントラスト

投写距離： m

投写方法： 天吊り 床置き

電源コンセントは？

壁からのコンセントを直接利用している。

電源用テーブルタップを利用している。
(他、接続機器の数： 台)

電源ドラム (ロール式) を利用している。
(他、接続機器の数： 台)

コンピュータ

メーカー：

形名：

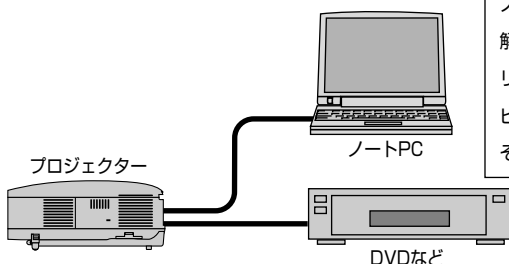
ノートPC・デスクトップ一体型

解像度：

リフレッシュレート：

ビデオボード：

その他：



信号ケーブル

純正・その他 (形名： 長さ： m)

分配器 形名：

スイッチャ 形名：

アダプタ 形名：

接続機器

ビデオ・DVD・カメラ・ゲーム・その他

メーカー：

形名：

海外でご使用になる場合:トラベルケアのご紹介

この商品には、NECディスプレイソリューションズの国際保証「トラベルケア」が適用されています。

なお、このトラベルケアの内容は、お買い上げ時に、本機に添付された保証書の記載内容とは一部異なります。

トラベルケアで受けられるサービス

本保証では、出張や旅行などの理由により一時的に海外に本機を持ち出した場合につき、本書に記載された国のNECディスプレイソリューションズ指定サービスステーションで下記のサービスを受けることができます。

本サービスをご利用の際は、本書記載のトラベルケア窓口リストの各サービスステーションに電話もしくはEメールにてご連絡いただいたあと、巻末に添付されている申し込み用紙"Application Sheet for TravelCare Service Program" に必要事項をご記入のうえ、FAXにて送信してください。

各サービスステーションのサービス内容については、トラベルケア窓口リストにてご確認ください。

1 修理サービス

輸送時間を除く、実働10日以内に修理してお届けいたします。

保証期間内の場合は、保守部品代、修理工賃、および各サービスステーションの対応地域内のお届けにかかる輸送費が保証範囲です。

2 代替機貸出サービス

お客様の製品修理の間、ご希望があれば有償にて代替機を貸し出しいたします。

料金：12日間 US\$ 200

料金は、現地のサービスステーションにて現金またはクレジットカードにてお支払いください。

代替機は、実働3日以内にお届けいたします。

ただし、本サービスが受けられない国または地域がございますので、トラベルケア窓口リストにてご確認ください。

また、保証期間を経過している場合は、代替機貸出サービスは受けられません。

輸出に関する注意事項

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、日本国および外国の法に基づいて許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、NECプロジェクター・カスタマサポートセンター（[161ページ](#)）にお問い合わせください。

保証期間

1 a お買い上げ時の保証書またはレシートをご提示いただいた場合：

保証書に記載された期間、もしくはご購入された国の通常の保証期間まで有効。

b 本機のみ持ち込まれた場合：

本機に貼付されている製造番号（SERIAL NO.）の製造年月より14 か月以内。

2 保証期間を経過した製品を持ち込まれた場合：

有償にて修理対応いたします。ただし、代替機貸出サービスは受けることはできません。

3 次のような場合には、保証期間中でも有償修理になる場合があります。

- 1) 保証書に、お買い上げ日、形名、および製造番号（SERIAL NO.）、販売店名の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
- 2) お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損傷の場合。
- 3) お客様による使用上の誤り、あるいは不当な改造、修理による故障および損傷。
- 4) 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
- 5) 高温・多湿の場所、車輛、船舶等で使用された場合に生ずる故障および損傷。
- 6) 本機に接続している当社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損傷。
- 7) 正常なご使用状態のもとで部品が自然消耗、磨耗、劣化により故障した場合。
- 8) ランプなどの消耗品、および添付品、別売品が故障および損傷した場合。
- 9) その他、本機に添付された保証書の保証規定が適用されます。

注意

海外でご使用になる場合は、使用する国の規格・電源電圧に適合する電源コードを使用することにより100-240Vで使用可能です。
使用する国の規格・電源電圧に適合する電源コードを必ず使用してください。
詳細に関しては、NECプロジェクター・カスタマサポートセンター（次ページ参照）までお問い合わせください。

トラベルケア窓口リスト

このリストは、2007年4月1日現在のものです。

最新の連絡先に関しては、トラベルケア窓口リストに記載されている各国のサービスステーションのホームページもしくは当社**ViewLight CLUB ホームページ**<http://www.nec-display.com/support/projector/vlclub/> をご覧ください。

また、詳細に関しては、NECプロジェクター・カスタマサポートセンターまでお問い合わせください。

NECプロジェクター・カスタマサポートセンター 0120-610-161

(受付 9:00~12:00、13:00~17:00、土・日・祝祭日、および当社指定日は除く)

【欧州】 In Europe

NEC Europe, Ltd / European Technical Centre

Address: Unit G, Stafford Park 12, Telford TF3 3BJ, U.K.

Telephone: +44 1952 237000

Fax Line: +44 1952 237006

Email Address: AFR@uk.neceur.com

WEB Address: <http://www.neceur.com>

(対応地域) <Regions Covered>

EU: Austria *, Belgium *, Denmark *, Finland *, France *, Germany *, Greece *, Ireland *, Italy *, Luxembourg *, The Netherlands *, Portugal *, Spain *, Sweden * and the United Kingdom *

EEA: Norway *, Iceland and Liechtenstein

【北米】 In North America

NEC Display Solutions of America, Inc.

Address: 500 Park Boulevard, Suite 1100, Itasca, Illinois 60143, U.S.A.

Telephone: +1 800 836 0655

Fax Line: +1 800 356 2415

Email Address: vsd.tech-support@necsam.com

WEB Address: <http://www.necdisplay.com>

(対応地域) <Regions Covered>

U.S.A. *, Canada *

【大洋州】 In Oceania

NEC Australia Pty., Ltd.

New South Wales;

Address: 184 Milperra Road, Reversby NSW 2212

Telephone: +61 2 9780 8688

Fax Line: +61 2 9780 8659

Victoria;

Address: Unit 1/6 Garden Road, Clayton VIC 3168

Telephone: +61 3 8562 6245

Fax Line: +61 3 8562 6220

Newcastle;

Address: 120 Parry Street Newcastle West NSW 2300

Telephone: +61 2 4926 2466

Queensland;

Address: Unit 4/305 Montague Road West End QLD 4101

Telephone: +61 7 3840 5858

Fax Line: +61 7 3840 5866

Goldcoast QLD;

Address: Shop1 48 Ferry Road Southport QLD 4215

Telephone: +61 7 5591 3670

South Australia;

Address: 84A Richmond Road, Keswick SA 5035

Telephone: +61 8 8375 5707

Fax Line: +61 8 8375 5757

Western Australia;

Address: 45 Sarich Court Osborne Park WA 6017

Telephone: +61 8 9445 5901

Fax Line: +61 8 9445 5999

WEB Address: <http://www.nec.com.au>

(対応地域) <Regions Covered>

Australia *, New Zealand

* : 代替機貸出サービスが受けられます。

[アジア・中近東] In Asia and Middle East

NEC Hong Kong Ltd.

Address: 25/F.,The Metropolis Tower, 10 Metropolis Drive, Hungghom,
Kowloon, Hong Kong

Telephone: +852 2369 0335

Fax Line: +852 2795 6618

Email Address: nechksc@nechk.nec.com.hk
esmond_au@nechk.nec.com.hk

WEB Address: <http://www.nec.com.hk>

(対応地域) <Regions Covered>

Hong Kong

NEC Taiwan Ltd.

Address: 7F, No.167, SEC.2, Nan King East Road, Taipei, Taiwan, R.O.C.

Telephone: +886 2 8500 1714

Fax Line: +886 2 8500 1420

Email Address: chenguanfu@nec.com.tw

WEB Address: <http://www.nec.com.tw>

(対応地域) <Regions Covered>

Taiwan

NEC Solutions Asia Pacific Pte. Ltd

Address: 401 Commonwealth Drive, #07-02, Haw Par Technocentre,
Singapore 149598

Telephone: +65 6 273 8333

Fax Line: +65 6 274 2226

Email Address: tehgh@rsc.ap.nec.com.sg

WEB Address: <http://www.nec.com.sg/ap>

(対応地域) <Regions Covered>

Singapore

NEC Systems Integration Malaysia Sdn Bhd

Address: Ground Floor, Menara TA One, 22, Jalan P. Ramlee,
50250 Kuala Lumpur, Malaysia

Telephone: +6 03 2178 3600 (ISDN)

Fax Line: +6 03 2178 3789

Email Address: necare@nsm.nec.co.jp

WEB Address: <http://www.necarecenter.com>

(対応地域) <Regions Covered>

Malaysia

Hyosung ITX Co., Ltd

Address: 2nd Fl., Ire B/D. #2, 4Ga, Yangpyeng-Dong,
Youngdeungpo-Gu, Seoul, Korea 150-967
Telephone: +82 2 2163 4193
Fax Line: +82 2 2163 4196
Email Address: moneybear@hyosung.com

(対応地域) <Regions Covered>
South Korea

Lenso Communication Co., Ltd.

Address: 292 Lenso House 4, 1st Floor, Srinakarín Road, Huamark,
Bangkapi,
Bangkok 10240, Thailand
Telephone: +66 2 375 2425
Fax Line: +66 2 375 2434
Email Address: pattara@lenso.com
WEB Address: <http://www.lenso.com>

(対応地域) <Regions Covered>
Thailand

ABBA Electronics L.L.C.

Address: Tariq Bin Ziyad Road, P.O.Box 327, Dubai, United Arab Emirates
Telephone: +971 4 371800
Fax Line: +971 4 364283
Email Address: ABBA@emirates.net.ae

(対応地域) <Regions Covered>
United Arab Emirates

Samir Photographic Supplies

Address: P.O.Box 599, Jeddah 21421, Saudi Arabia
Telephone: +966 2 6828219
Fax Line: +966 2 6830820
Email Address: asif@samir-photo.com

Riyadh;
Address: P.O.Box 5519, Riyadh 11432, Saudi Arabia
Telephone: +966 1 4645064
Fax Line: +966 1 4657912
Email Address: bhimji@samir-photo.com

Alkhobar;
Address: P.O.Box 238, Alkhobar 31952, Saudi Arabia
Telephone: +966 3 8942674
Fax Line: +966 3 8948162
Email Address: chamsedin@samir-photo.com

(対応地域) <Regions Covered>
Saudi Arabia

Date: / / ,

P-1 / ,

TO: NEC Display Solutions Authorized Service Station:

FM:

(Company & Name with signature)

Dear Sir (s),

I would like to apply your TravelCare Service Program and agree with your following conditions, and also the Service fee will be charged to my credit card account, if I don't return the Loan units within the specified period. I also confirm the following information is correct.

Regards.

Application Sheet for TravelCare Service Program

Country, product purchased:	
User's Company Name:	
User's Company Address:	
Phone No., Fax No.:	
User's Name:	
User's Address:	
Phone No., Fax No.:	
Local Contact office:	
Local Contact office Address:	
Phone No., Fax No.:	
User's Model Name:	
Date of Purchase:	
Serial No. on cabinet:	
Problem of units per User:	
Required Service:	(1) Repair and Return (2) Loan unit
Requested period of Loan unit:	
Payment method:	(1) Credit Card (2) Travelers Cheque (3) Cash
In Case of Credit Card: Card No. w/Valid Date:	

Condition of your TravelCare Service Program

Enduser is requested to understand the following conditions of TravelCare Service Program and fill necessary information into the application sheet.

1. Service Options:

There are 3 types of "Service" available. Enduser has to understand the following conditions and is required to fill in the Application sheet.

(1). Repair and Return:

The 'Faulty unit' is sent or collected from the customer. It is repaired and returned within 10 days to the customer, excluding transport time.

There may have a case, repair and return can't be done by Local Service Station, because of shortage of spare parts due to same model is not sold in the territory.

(2). Repair and Return with Loan: (This service is limited to some Service Stations)

This service is offered to the Enduser, who cannot wait until their unit is repaired.

The customer can borrow a unit for US\$ 200 up to 12 days. Customer then sends in inoperable unit to nearest NEC Display Solutions Authorised Service Station for service. In order to prevent collection problem, Enduser is required to fill in Application Sheet.

Enduser needs to confirm the availability of the Service to Local Service Stations.

(3). Loan Only:

For this service, the local NEC Display Solutions Authorised Service Station supplies the customer with a loan unit for US\$ 200 up to 12 days. Customer keeps the inoperable unit and when customer returns home, customer arranges to have the projector serviced in the home country.

2. Warranty Exclusions:

This program does not apply if the Projector's serial number has been defaced, modified or removed.

If, in the judgement of the NEC Display Solutions Authorised Service Station or its agent the defects or failures result from any cause other than fair wear and tear or NEC Display Solutions neglect, or fault including the following without limitation:

- 1) Accidents, transportation, neglect, misuse, abuse, water, dust, smoke or default of or by the Customer its employees or agents or any third party;
- 2) Failure or fluctuation of electrical power, electrical circuitry, air conditioning, humidity control or other environmental conditions such as use it in smoking area;
- 3) Any fault in the attachments or associated products or components (whether or not supplied by NEC Display Solutions or its agents which do not form part of the Product covered by this warranty);
- 4) Any act of God, fire, flood, war, act of violence or any similar occurrence;
- 5) Any attempt by any person other than any person authorised by NEC Display Solutions to adjust, modify, repair, install or service the product.
- 6) Any Cross-border charges such as, duty, insurance, tax etc.

3. Charges for Warranty Exclusions and Out of Warranty Case:

In case faulty unit is under warranty exclusions case or under Out of Warranty period, Local Service Station will inform estimation of actual service cost to the Enduser with reason.

4. Dead on Arrival (DOA):

Enduser must take this issue up with their original supplier in the country of purchase.

Local Service Station will repair the DOA unit as a Warranty repair, but will not exchange DOA unit with new units.

5. Loan Service Charges and Conditions:

Upon acceptance of this NEC Projector, Customer agrees to assume liability for this "loan" replacement unit.

The current cost of use of this loan unit is US\$ 200 for 12 calendar days.

If Customer does not return the unit within the 12 calendar days, Customer will be charged the next highest cost up to and including the full list price to Credit Cards, which price will be informed by NEC Display Solutions Authorized Service Stations.

Please see the attached listing of contacts for each country to arrange for pickup of the 'loan' unit.

If you return to their country of origin with the 'loan' unit, you will be charged additional freight to return the unit to the loaning country.

Thank you for your understanding of this program.

索引

数字／アルファベット

3D Y/C分離	107
3Dサラウンド	109
4点補正	62, 110
802.11アドホック	36, 123
AC IN 端子	18, 39
CD-ROM	15
Desktop Control Utility 1.0	34, 75
DHCP	121
HDCP	155
HTTP	72
Image Express Utility 2.0	21, 34
IPアドレス	121
LAMPインジケータ	19, 147
LAN	34
LANモード	119
PC Control Utility 3.0	21, 34
PCカードアクセスインジケータ	19, 38
PCカードスロット	21, 37
PCカード取り出しボタン	21, 38
PCカードロック	15, 38
POWERインジケータ	19, 146
RGB信号ケーブル	14, 27
sRGB	102
SSID	122
STATUSインジケータ	19, 146
Ulead Photo Explorer 8.0	34, 81
USBマウス	59
USBメモリ	80
User Supportware 3 CD-ROM	15
WEP	123

五十音

【ア行】

明るさ	104
アスペクト	106
アドバンスド・アキュブレンド	16
アドバンスドメニュー	88, 95
位相	105
色温度	103
色補正	103
英数字の入力方法	93
インフラストラクチャ	35, 123

エコモード	57, 111, 130
オートスタート	127
オーバースキャン	106
オプション	86, 127
オフタイマー	129
オンスクリーンメニュー	88
温度プロテクタ	147
音量	52, 108

【カ行】

解像度	151
拡大	57
画像設定	104
壁色補正	110
カラー	104
カラー方式	128
ガンマ補正	103
キーワード	114
キャリングハンドル	17
吸気口	17
強制エコモード	111
クロック周波数	104
高音	109
コントラスト	104

【サ行】


サイトサーベイ	122
サムネイル画面	82
参照	103
色相	104
自動調整	51, 127
シャープネス	104
主電源スイッチ	18, 41, 54
情報	130
初期入力選択	128
信号選択	128
信号リスト	99
垂直輪郭補正	108
ズームレバー	17, 48
スクエアショット	46
スクリーンサイズ	26, 148
スクリーン設定	119
スクロールホイール	60, 64
スクロールボタン	60, 64

スピーカ	18,	52	フィルタの交換	140
スライド画面		82	フォーカスリング	17, 48
スライドショー		85	フラッシュメモ리카ード	37
静止画		56	ブランキング	105
セキュリティ	67,	113	プリセット	102
接続端子部	18,	20	ベーシックメニュー	91, 95, 111
設置		118	ヘルプ	58
セットアップ		110	ポインタ	129
ソフトケース		15	ホワイトバランス	103
			本体キーロック	113
			本体操作部	17, 19
【タ行】			【マ行】	
台形歪み	49,	62	マウス設定	129
台形補正		110	マウスレシーバ	14, 60
単3乾電池	14,	24	無線LANカード	15, 37, 119
調整		102	メール	125
チャンネル		123	メニュー設定	111
チョークボード	64,	129	メニューモード	111
チルトフット	17,	47	メニューロック/ロゴロック	113
チルトレバー	17,	47	モニタ出力	129
通信速度		126		
通信モード		122	【ヤ行】	
ツール		129	有線LAN	35
低音		109		
テレシネモード		108	【ラ行】	
電源コード	14,	39	ランプカバー	18, 137
投写距離	26,	148	ランプ時間クリア	132
投写方法		118	ランプ使用時間	130
盗難防止用ロック		17	ランプの交換	137
ドメイン		125	ランプモード	57, 111
			リセット	104, 132
【ナ行】			リモコン	14, 22
入力端子		98	リモコン受光部	17, 24
ノーマルモード	111,	130	レーザーポインタ	22, 53
			レンズ	17
【ハ行】			レンズキャップ	17
排気口		18	ロゴ	112, 113
バックグラウンド		112		
バランス		109		
パワーマネージメント		127		
ビデオ		107		
ビューワ		80		
ビューワオプション		86		
表示位置	105,	119		
表示言語		111		
表示項目選択		112		
表示色選択		111		
表示時間		112		
ファンモード		128		
フィルタ時間クリア		132		

輸出に関する注意事項

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、日本国および外国の法に基づいて許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、NECプロジェクター・カスタマサポートセンター（ 裏表紙）にお問い合わせください。

NECデータプロジェクター

LT380J／LT280J

取扱説明書

2007年4月 3版

NECディスプレイソリューションズ株式会社

© NEC Display Solutions, Ltd. 2005 - 2007
NECディスプレイソリューションズ株式会社の許可なく
複製・改変などを行うことはできません。

プロジェクターに関するお問い合わせから修理のご依頼まで プロジェクターの
トータルサポート窓口

NECプロジェクター・カスタマサポートセンター

- NEC製プロジェクターに関するお問い合わせや修理のご依頼を専任スタッフがお待ちいたします。

TEL **0120-610-161** FAX 0120-134-516

受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00 (土・日・祝日、その他特定日を除く)
通話料無料：携帯電話／PHS からでもご利用いただけます。

ホームページ <http://www.nec-display.com/support/projector/>

法人様向けユーザーサポートクラブ

ViewLight CLUB ビューライトクラブ

入会金・年会費 無料



- より「安心」で「快適」に ViewLight をお使いいただくために様々なサポートを行うユーザーサポートクラブです。

入会方法 本機に添付しているチラシをご参照ください。

ホームページ <http://www.nec-display.com/support/projector/vlclub/>

NECディスプレイソリューションズ株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目13番23号 (MS芝浦ビル)